

府中市インフラマネジメント白書
(2017年度)

平成30年3月

府 中 市

目 次

第 1 章 インフラマネジメント白書について.....	1
1.1 インフラマネジメント白書とは.....	2
1.2 位置付け.....	3
第 2 章 管理数量・人口・財政運営について.....	5
2.1 管理数量.....	6
2.2 人口.....	8
2.3 財政運営の考え方.....	10
第 3 章 インフラの現状について.....	11
3.1 インフラ充足度.....	12
3.2 インフラの整備状況.....	14
3.2.1 地域の区分.....	14
3.2.2 根拠一覧.....	15
3.2.3 車道.....	16
3.2.3.1 全体数量.....	16
3.2.3.2 道路位置.....	18
3.2.3.3 車道の状況.....	19
3.2.3.4 地域別集計.....	35
3.2.4 歩道・植樹ます.....	51
3.2.4.1 全体数量.....	51
3.2.4.2 歩道・植樹ます位置.....	52
3.2.4.3 歩道・植樹ますの整備状況.....	53
3.2.5 案内標識.....	61
3.2.5.1 全体数量.....	61
3.2.5.2 案内標識位置.....	62
3.2.5.3 案内標識の整備状況.....	64
3.2.5.4 地域別集計.....	64
3.2.6 警戒標識・その他標識.....	66
3.2.6.1 全体数量.....	66
3.2.6.2 警戒標識・その他標識位置.....	68
3.2.6.3 警戒標識・その他標識の整備状況.....	69
3.2.6.4 地域別集計.....	69
3.2.7 街路灯.....	70
3.2.7.1 全体数量.....	70
3.2.7.2 街路灯の整備状況.....	72
3.2.7.3 地域別集計.....	78

3.2.8	道路反射鏡	81
3.2.8.1	全体数量.....	81
3.2.8.2	道路反射鏡位置.....	82
3.2.8.3	道路反射鏡の整備状況.....	83
3.2.8.4	地域別集計.....	84
3.2.9	街路樹	85
3.2.9.1	全体数量.....	85
3.2.9.2	街路樹位置.....	87
3.2.9.3	街路樹の整備状況.....	88
3.2.9.4	地域別集計.....	89
3.2.10	橋りょう	92
3.2.10.1	全体数量.....	92
3.2.10.2	橋りょう位置.....	95
3.2.10.3	橋りょうの整備状況.....	100
3.2.10.4	橋りょうの劣化状況.....	104
3.2.10.5	地域別集計.....	107
3.2.11	立体横断施設等	109
3.2.11.1	全体数量.....	109
3.2.11.2	立体横断施設等位置.....	110
3.2.11.3	立体横断施設等の整備状況.....	111
3.2.12	大型構造物	112
3.2.12.1	全体数量.....	112
3.2.12.2	大型構造物位置.....	113
3.2.12.3	大型構造物の整備状況.....	114
3.2.13	公園緑地等	115
3.2.13.1	全体数量.....	115
3.2.13.2	公園緑地等位置.....	129
3.2.13.3	公園緑地等の現況.....	132
3.2.13.4	公園緑地等の整備状況.....	146
3.2.13.5	地域別集計.....	160
3.2.14	法定外公共物	193
3.2.14.1	全体数量.....	193
3.2.14.2	法定外公共物の整備状況.....	193
3.2.15	下水道	194
3.2.15.1	下水道の全体数量.....	194
3.2.15.2	下水道施設の位置.....	197
3.2.15.3	下水道の現況.....	198
3.2.15.4	下水道の整備状況.....	202
3.3	インフラ管理の現状	203
3.4	インフラ管理ボランティア制度（府中まちなかきらら）の推移	206
3.4.1	インフラ管理ボランティア制度の推移.....	206
3.5	インフラに係る決算の推移	207

3.5.1	管理費用位置付け.....	207
3.5.2	維持管理費及び補修更新費の推移.....	208
3.5.2.1	インフラ経費の推移.....	208
3.5.2.2	道路/道路付属物/橋りょう/公園緑地等/立体横断施設等/大型構造物/法定外公共物.....	208
3.5.2.3	下水道.....	210
3.5.3	維持管理に係る経費.....	214
3.5.3.1	車道.....	214
3.5.3.2	歩道・植樹ます.....	215
3.5.3.3	街路灯.....	215
3.5.3.4	道路反射鏡.....	216
3.5.3.5	街路樹.....	216
3.5.3.6	橋りょう.....	217
3.5.3.7	立体横断施設等.....	217
3.5.3.8	大型構造物.....	218
3.5.3.9	公園緑地等.....	218
3.5.3.10	法定外公共物.....	219
3.5.3.11	下水道.....	219
3.5.4	補修更新に係る経費.....	220
3.5.4.1	道路/道路付属物/橋りょう/公園緑地等/立体横断施設等/大型構造物/法定外公共物.....	220
3.5.4.2	車道.....	221
3.5.4.3	歩道・植樹ます.....	221
3.5.4.4	街路灯.....	222
3.5.4.5	道路反射鏡.....	222
3.5.4.6	街路樹.....	223
3.5.4.7	橋りょう.....	223
3.5.4.8	大型構造物.....	224
3.5.4.9	公園緑地等.....	224
3.5.4.10	法定外公共物.....	225
3.5.5	人件費.....	226
3.5.6	歳入の推移.....	227
3.5.6.1	市歳入.....	227
3.5.6.2	地方譲与税.....	227
3.5.6.3	下水道.....	228
3.5.6.4	歳入と歳出の比較.....	229
第4章	将来の管理費用の予測について.....	231
4.1	経費予測の条件.....	232
4.2	将来経費の予測額.....	236
4.2.1	将来経費の予測額の内訳（維持管理）.....	236
4.2.1.1	車道.....	236
4.2.1.2	歩道・植樹ます.....	236
4.2.1.3	標識.....	236

4.2.1.4	街路灯	236
4.2.1.5	道路反射鏡	236
4.2.1.6	街路樹	236
4.2.1.7	橋りょう	237
4.2.1.8	立体横断施設等	237
4.2.1.9	大型構造物	237
4.2.1.10	公園緑地等	237
4.2.1.11	法定外公共物	237
4.2.1.12	下水道	238
4.2.1.13	維持管理費の将来経費の予測	239
4.2.2	将来経費の予測額の内訳（補修更新）	240
4.2.2.1	車道	240
4.2.2.2	歩道・植樹ます	244
4.2.2.3	標識	244
4.2.2.4	街路灯	244
4.2.2.5	道路反射鏡	244
4.2.2.6	街路樹	244
4.2.2.7	橋りょう	245
4.2.2.8	立体横断施設等	245
4.2.2.9	大型構造物	245
4.2.2.10	公園緑地等	246
4.2.2.11	法定外公共物	250
4.2.2.12	下水道	250
4.2.2.13	補修更新費の将来経費の予測	252
4.2.3	将来経費の予測額の内訳（人件費）	253
4.2.4	将来経費の予測額全体	254
4.2.5	歳入の予測	256
4.2.6	『前白書』と『本白書』の経費比較	260
4.3	予測結果の評価	261
4.3.1	合計額	261
4.3.2	車道	261
4.3.3	歩道・植樹ます	261
4.3.4	標識	261
4.3.5	街路灯	262
4.3.6	道路反射鏡	262
4.3.7	街路樹	262
4.3.8	橋りょう	262
4.3.9	立体横断施設等	262
4.3.10	大型構造物	263
4.3.11	公園緑地等	263
4.3.12	法定外公共物	263
4.3.13	人件費	263

4.3.14 下水道.....	263
4.3.15 歳入.....	264
第5章 インフラマネジメントの関心.....	265
5.1 インフラマネジメントの関心.....	266
5.2 アンケート結果及び評価.....	273
第6章 参考資料（用語の解説）.....	275

※ 年度（年）の表記について

新天皇の即位に伴う改元が行われたときは、本書に記載している「平成」の元号を用いた年度（年）の表記は、それぞれに対応する新元号を用いた年度（年）を表すものとします。

※ 本白書におけるインフラ管理に掛かる経費などの数値については、端数処理を行っているため、合計と内訳が一致しない場合があります。

第1章 インフラマネジメント白書について

第1章 インフラマネジメント白書について

1.1 インフラマネジメント白書とは

市は、主に昭和30年代から昭和40年代までの高度経済成長期に、道路、橋りょう、公園緑地等、下水道などの多くの都市基盤施設（以下「インフラ」という。）を整備し、市民生活の根幹を担うものとして管理してきました。

しかし、これらのインフラの多くが整備後40年以上を経過し老朽化していることや新たに整備するインフラもあるため、今後の管理に係る経費は膨大なものとなり、現状の市の財政事情では、これまでと同様に管理し続けていくことができません。

そこで市は、インフラの現在の劣化状況、経費などをまとめるため、平成24年10月に『府中市インフラマネジメント白書（以下『前白書』という。）』を作成しました。また、この前白書を根拠資料として、市民生活の安全確保のため、今後の管理に関するマネジメント方針を示す『府中市インフラマネジメント計画（以下『前計画』という。）』を平成25年1月に策定しました。

引き続きインフラマネジメントを進めていくためには、インフラ管理に係る現状や課題の把握などを的確に行った上で取組む必要があります。そのため、『府中市インフラマネジメント白書（2017年度）（以下『本白書』という。）』は、今後のインフラ管理に係る方針を示す『府中市インフラマネジメント計画（2018年度）（以下『計画』という。）』を策定するため、現状の劣化状況、管理経費などを改めて整理し、更新するものです。

1.2 位置付け

『本白書』は、『第6次府中市総合計画』を上位計画とする今後のインフラ管理に関するマネジメント方針を示す『計画』を策定するために、改めて現状調査を行い『前白書』を更新したものです。なお、『本白書』と『計画』の位置付けは次のとおりです。

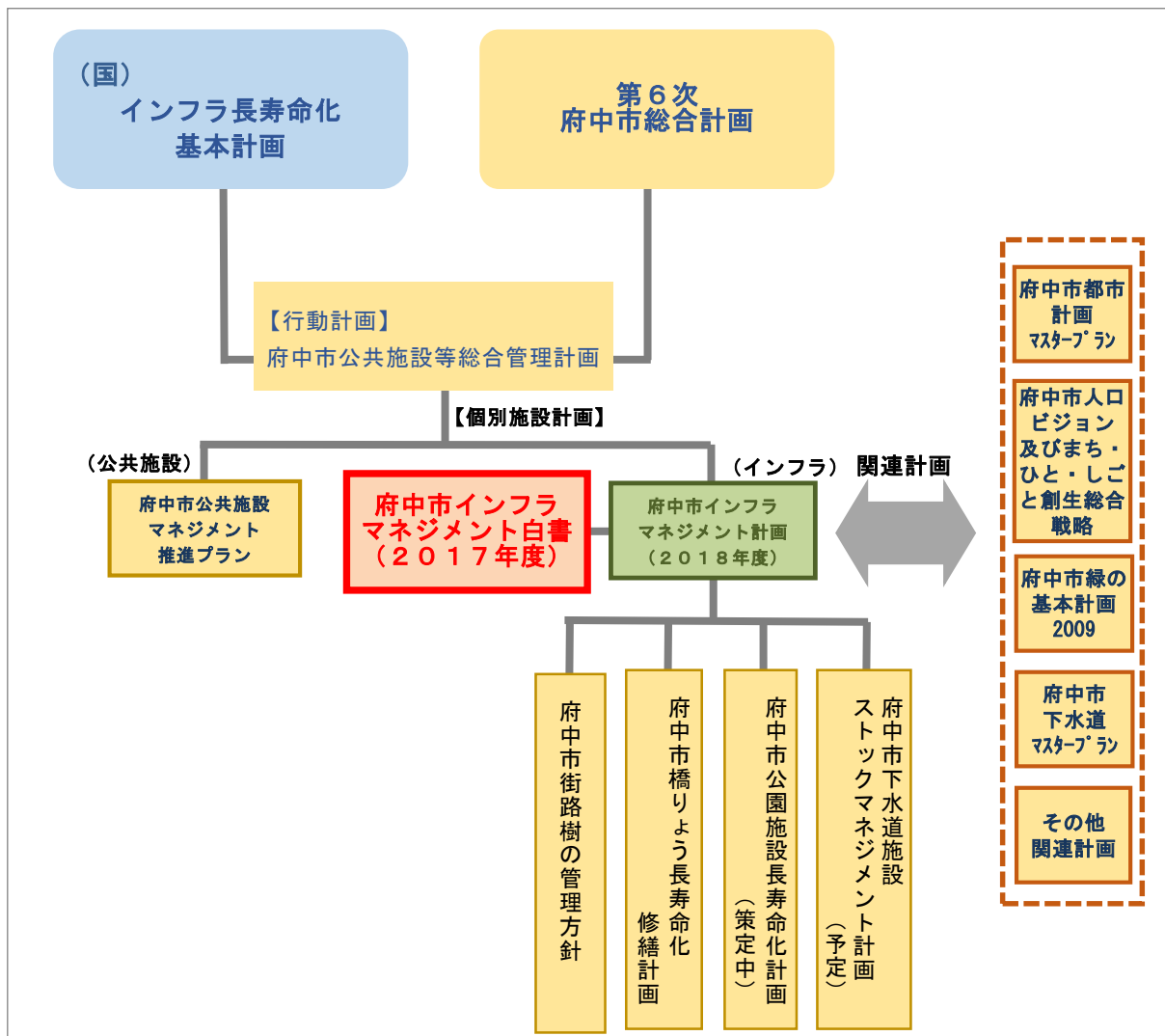


図 1-2-1 『本白書』の位置付け

第2章 管理数量・人口・財政運営について

第2章 管理数量・人口・財政運営について

2-1

管理数量

2.1 管理数量

市が管理する平成29年3月末時点のインフラの規模及び数量は、次のとおりです。

表2-1-1 「本白書」対象施設 一覧表

施設項目		数量	延長	面積	備考	
道路	車道	幹線市道	61 路線	88.540km	987,299 m ²	
		一般市道	2,369 路線	343.166km	1,685,811 m ²	
		合計	2,430 路線	431.706km	2,673,110 m ²	
	歩道等	歩道	—	170.283km	473,534 m ²	
		植樹ます	2,532 箇所	—	—	
道路附属物	標識	施設案内標識	833 基	—	—	
		警戒標識	283 基	—	—	
		その他標識	122 基	—	—	
		合計	1,238 基	—	—	
	街路灯	交通安全灯	7,188 基	—	—	
		防犯灯	10,456 基	—	—	
		合計	17,644 基	—	—	
	道路反射鏡	3,113 基	—	—		
	街路樹	10,488 本 (239 路線)	—	—		

施設項目		数量	延長	備考
橋りょう	道路橋	21 橋	405m	
	歩道橋	15 橋	402m	
	合計	36 橋	807m	
立体横断施設等	ペDESTリアンデッキ	2 箇所	—	府中駅、府中本町駅、西府駅及び分倍河原駅の各付近
	エレベーター	7 基	—	
	エスカレーター	4 基	—	
大型構造物	ボックスカルバート	10 箇所	—	
	擁壁	15 箇所	—	
	その他	1 箇所	—	西府駅自由通路
	合計	26 箇所	—	

施設項目		箇所数	面積	備考	
公園緑地等	市立公園	都市公園	274 箇所	1,299,063 m ²	
		スポットパーク	35 箇所	5,107 m ²	
		広場	40 箇所	16,094 m ²	
		府中多摩川かぜのみち	1 箇所	35,048 m ²	
	市立公園以外の管理地		46 箇所	80,992 m ²	
	合計		396 箇所	1,436,305 m ²	

施設項目	面積	備考
法定外公共物	赤道	86,759 m ²
	水路	169,467 m ²
	市有通路	55,596 m ²

施設項目	管きょ延長	区域面積	備考
下水道	北多摩一号処理区	734,354m	2,505.73ha
	野川処理区	18,054m	219.47ha
	合計	752,409m	2,725.20ha

※ 参考『府中市事務報告書（平成28年度）』、『市の管理道路に関する調書（平成28年度）』、『標識台帳』、『道路反射鏡台帳』、『公園緑地等関係資料（平成28年度）』、『府中市下水道マスタープラン』

2.2 人口

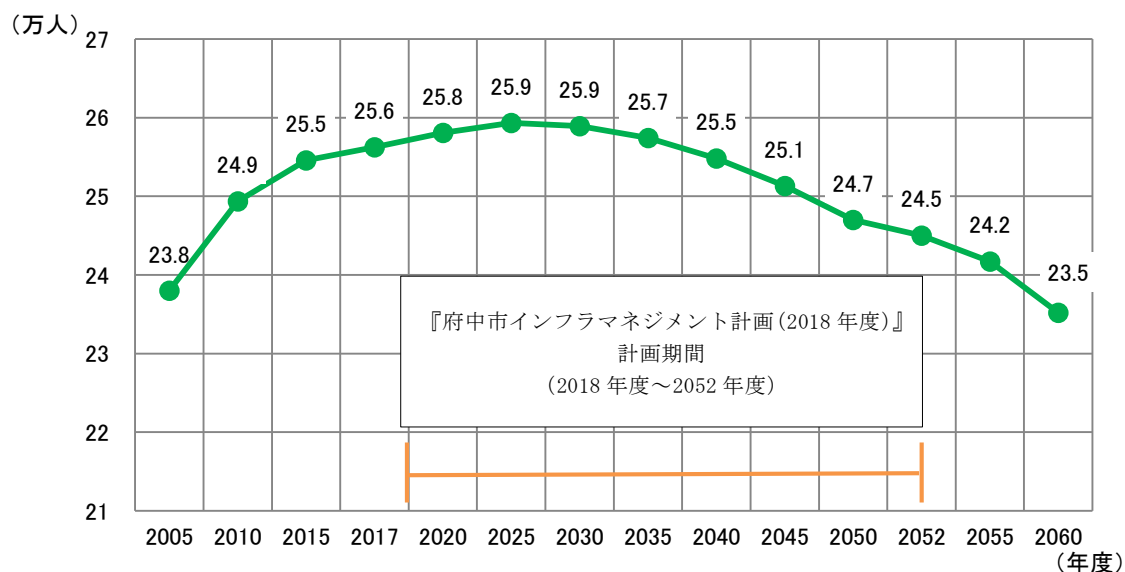
2-2

人口

平成28年1月に策定した『府中市人口ビジョン及び府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略』では、市の人口の将来展望を検討するに当たり、総人口及び人口構造を把握するため、将来人口のシミュレーションを実施し、市の最上位計画である「第6次府中市総合計画」で示す将来人口推計と同様の考えに基づき、近年の合計特殊出生率及び社会移動の状況を踏まえた推計として「基本ケース」を設定しています。

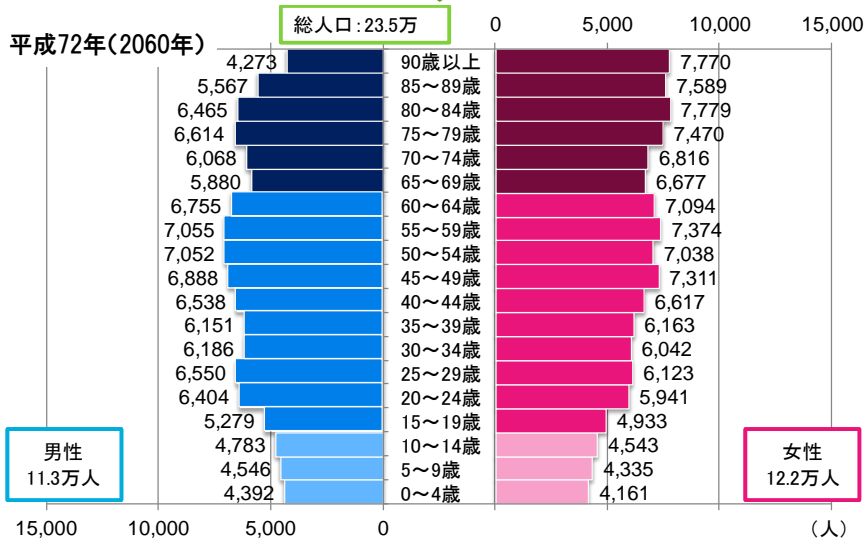
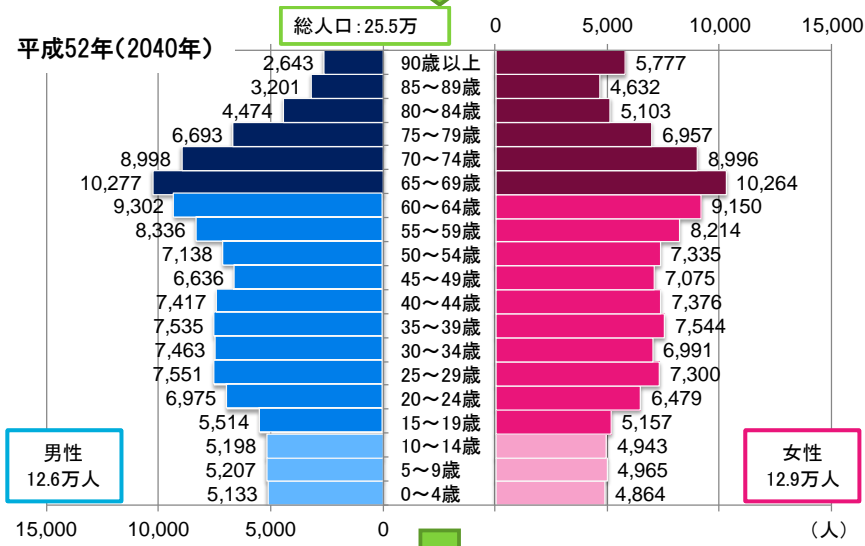
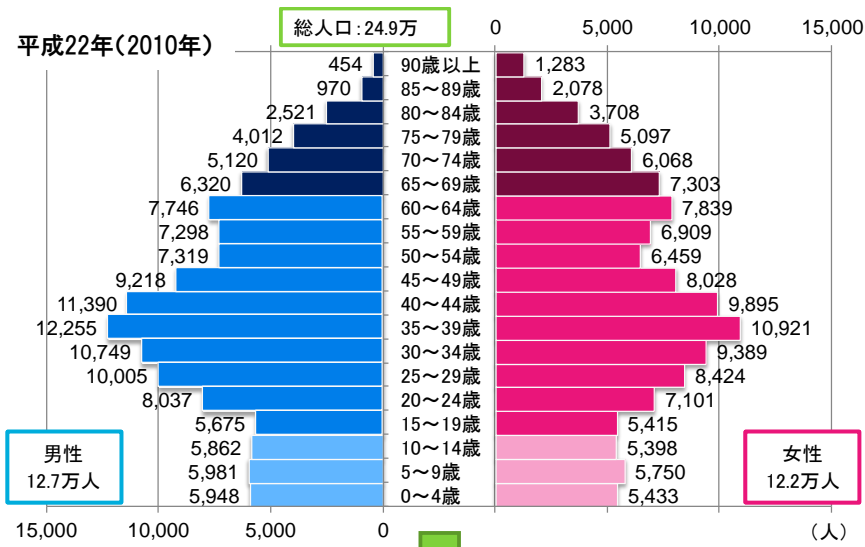
その中では、市の総人口は、平成37（2025）年頃、約25.9万人でピークを迎え、以降減少に転じ、平成72（2060）年には23.5万人で、ピークから2万人以上減少すると見込まれています。

また、人口構造に関するシミュレーション結果では、平成52（2040）年には、35歳から45歳までのいわゆる団塊ジュニア世代が高齢者となり、急激に高齢化が進むことが見込まれています。さらに、平成72（2060）年には、団塊ジュニア世代のような極端なピークを形成する年齢層はなくなるものの、年少人口の減少傾向が強まることが見込まれています。



出典：『府中市人口ビジョン』

図2-2-1 長期的な総人口の推移に関するシミュレーション結果



出典: 『府中市人口ビジョン』

図 2-2-2 人口構造に関するシミュレーション結果

2.3 財政運営の考え方

2-3

財政運営の考え方

『第6次府中市総合計画後期基本計画』によると、「本市では、近年の景気回復傾向を受け、歳入の根幹である市税は増加傾向にあるものの、今後の景気の動向が不透明な中、税制改正による影響なども考慮されることから、増収は見込めない状況です。

一方で、保育所需要や高齢者人口の増加などに伴い、扶助費をはじめとした社会保障関係経費のさらなる増加が予想されます。また、今後は、老朽化が進む施設の大規模修繕や更新にかかる費用が増大することが懸念されるほか、防災・減災対策や環境施策など、時代の要請に応じた施策も求められており、引き続き予断を許さない財政状況が続くことが想定されます。

このため、新たな歳入の確保や事務事業の見直し等の行財政改革に取り組むとともに、計画的に基金を積み立てるなど、将来に負担が転嫁されることのないよう、持続可能な財政運営を行う必要があります。多様化する市民ニーズに応えるためにも、引き続き効果的で効率的な市民サービスの提供に努めるとともに、十分に将来を見据えた上で、健全財政を維持していくことが求められます。」としています。

表2-3-1 財政見通し（普通会計）平成28年度～33（2021）年度

	平成28年度 (3月補正後予算)	平成29年度 (当初予算)	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	計画期間合計 (H30～H33)
歳入	1,098 億円	1,062 億円	940 億円	956 億円	1,011 億円	988 億円	3,895 億円
市税	507 億円	492 億円	489 億円	492 億円	491 億円	484 億円	1,956 億円
国庫・都支出金	323 億円	280 億円	279 億円	290 億円	281 億円	287 億円	1,137 億円
基金繰入金	21 億円	61 億円	15 億円	17 億円	47 億円	26 億円	105 億円
市債	57 億円	92 億円	11 億円	11 億円	30 億円	30 億円	82 億円
その他	190 億円	137 億円	146 億円	146 億円	162 億円	161 億円	615 億円
歳出	1,098 億円	1,062 億円	940 億円	956 億円	1,011 億円	988 億円	3,895 億円
義務的経費	436 億円	443 億円	453 億円	461 億円	468 億円	474 億円	1,856 億円
人件費	113 億円	114 億円	120 億円	121 億円	121 億円	120 億円	482 億円
扶助費	281 億円	287 億円	291 億円	299 億円	307 億円	316 億円	1,213 億円
公債費	42 億円	42 億円	42 億円	41 億円	40 億円	38 億円	161 億円
投資的経費	208 億円	216 億円	80 億円	86 億円	122 億円	103 億円	391 億円
その他経費	454 億円	403 億円	413 億円	422 億円	433 億円	427 億円	1,695 億円
削減目標額	- 億円	億円	▲ 6 億円	▲ 13 億円	▲ 12 億円	▲ 16 億円	▲ 47 億円

出典：『第6次府中市総合計画後期基本計画』

第3章 インフラの現状について

第3章 インフラの現状について

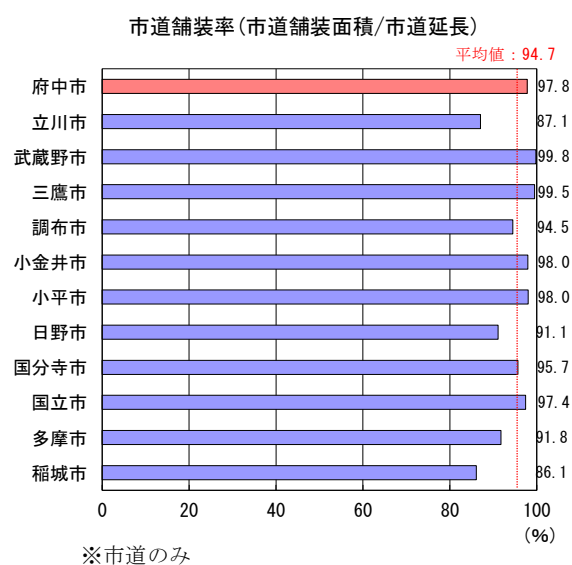
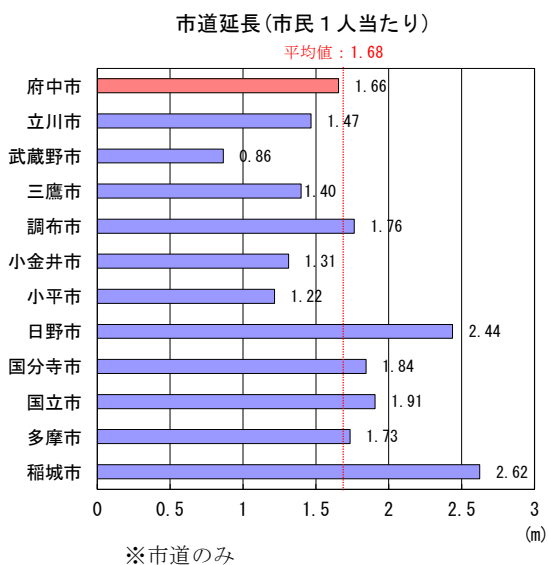
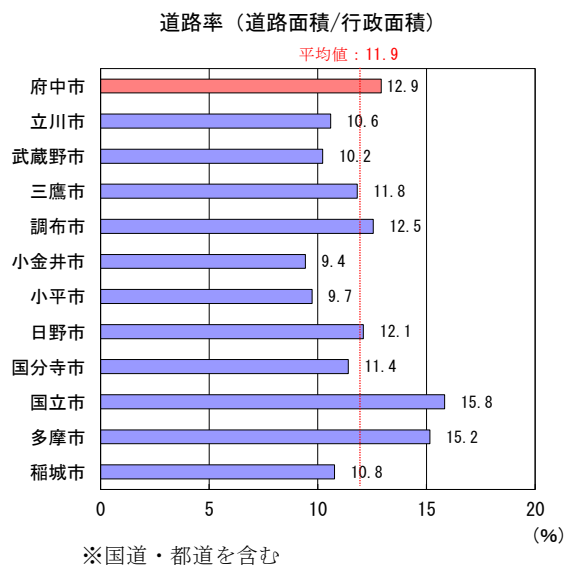
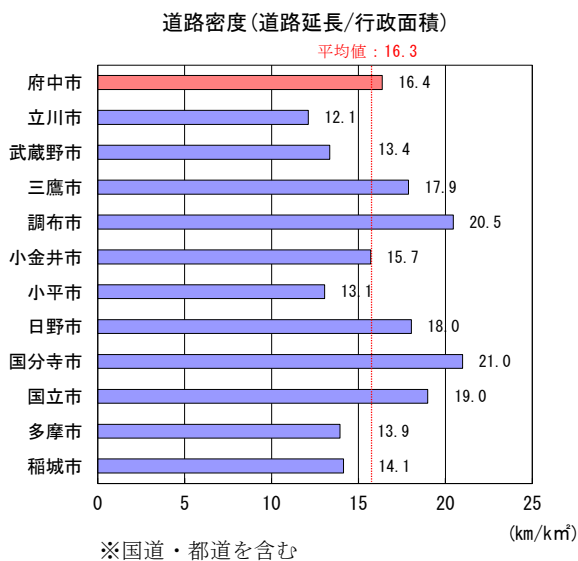
3-1

インフラ充足度

3.1 インフラ充足度

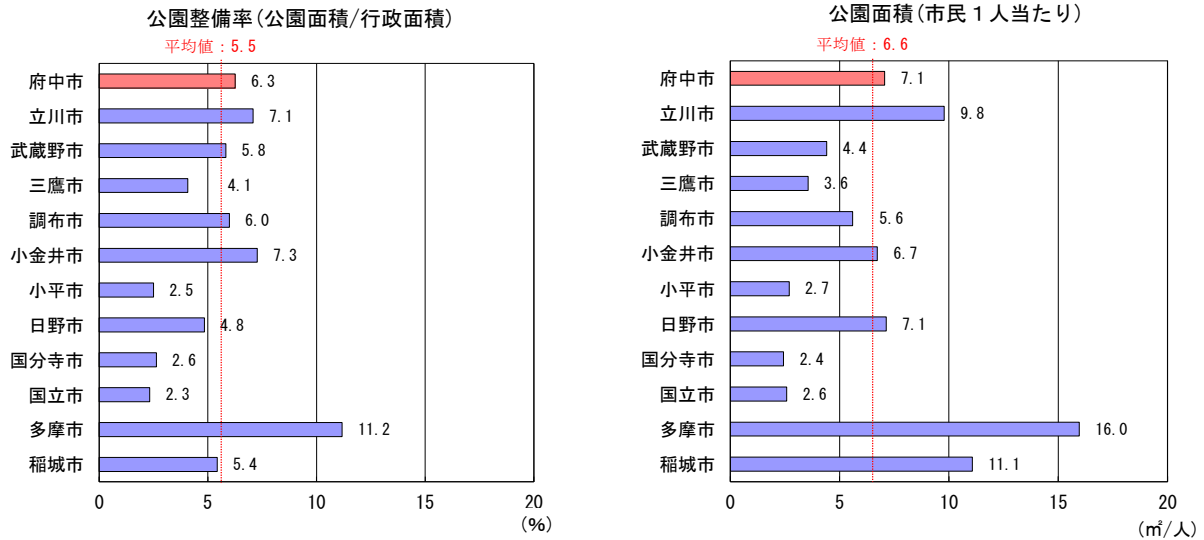
本市と近隣市のインフラ充足度を比較すると、本市のインフラ充足度は、同等又は高い状況にあります。

【道路】



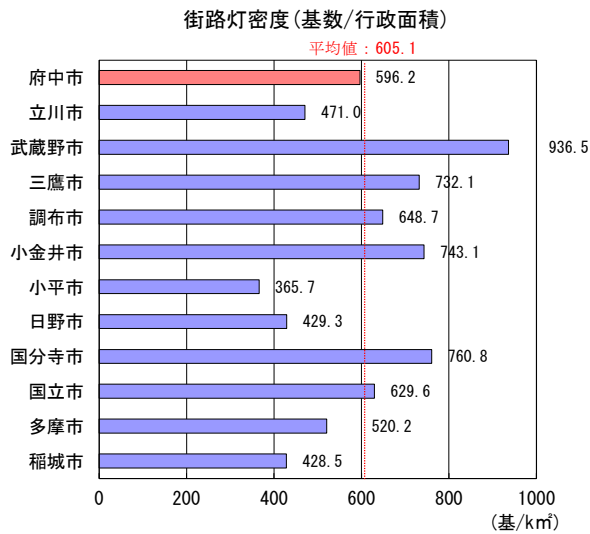
- ※ 出典【道路・人口】『東京都道路現況調書』(東京都建設局道路管理部)(平成28年度)
- ※ 出典【行政面積】『平成28年全国都道府県市区町村別面積調』(国土地理院)
- ※ 出典【市道舗装面積】各市のホームページ等

【公園緑地等】

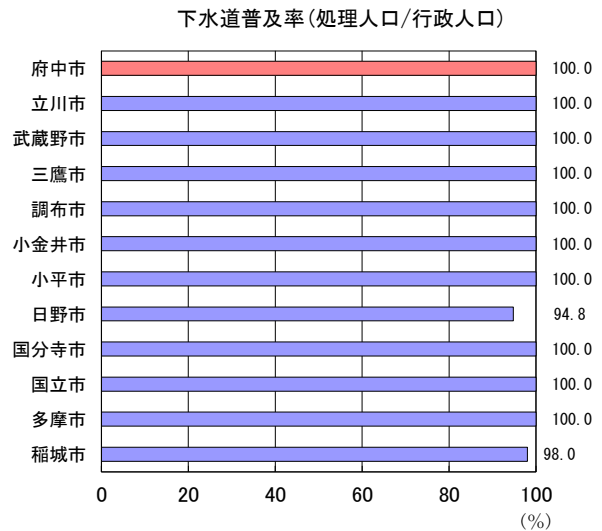


※ 出典【公園緑地等】『東京都都市公園等区市町村別面積・人口割比率表』(平成28年4月1日)

【街路灯】



【下水道】



※ 出典【街路灯】各市のホームページ等

※ 出典【下水道普及率】『全国市町村別下水道処理人口普及率一覧』(平成27年度末)(日本下水道協会)

3.2 インフラの整備状況

3-2-1

インフラの整備状況（地域の区分）

3.2.1 地域の区分

インフラの整備状況は、市全体での整理のほか、『府中市都市計画マスタープラン』で定める「地域別まちづくり方針」の地域区分ごとに整理します。地域区分は、次のとおりです。

表 3-2-1-1 地域区分一覧表

地域区分	面積 (ha)	地域範囲
第1地域	約 539ha	多磨町全域、朝日町全域、紅葉丘全域、 白糸台1～3丁目及び4～6丁目の一部、若松町3～5丁目
第2地域	約 594ha	白糸台4～6丁目の一部、押立町全域、小柳町全域、 若松町1～2丁目、清水が丘全域、是政1～5丁目、日吉町全域
第3地域	約 394ha	浅間町全域、天神町全域、新町全域、幸町全域、晴見町全域、 栄町全域
第4地域	約 227ha	府中町全域、緑町全域、宮町全域、八幡町全域、 本町1～2丁目、宮西町全域、寿町全域
第5地域	約 244ha	武蔵台1～3丁目、北山町1～4丁目、西原町1～4丁目、 東芝町の一部
第6地域	約 248ha	片町1～3丁目、日鋼町全域、東芝町の一部、 美好町1～3丁目、分梅町1丁目、本宿町1～4丁目、 西府町全域
第7地域	約 413ha	矢崎町全域、南町全域、本町3～4丁目、分梅町2～5丁目、 住吉町全域、是政6丁目
第8地域	約 271ha	四谷全域、日新町全域

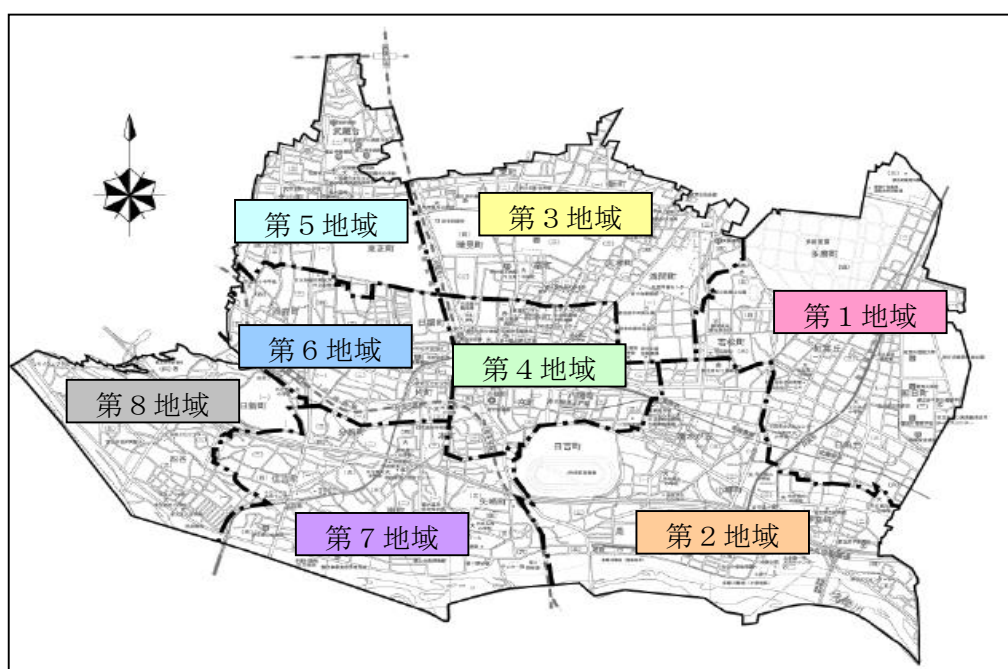


図 3-2-1-1 地域区分図

3.2.2 根拠一覧

『本白書』で整理している施設ごとの情報は、次の資料を根拠にしています。

表 3-2-2-1 根拠一覧

施設項目		調査・点検	調査方法
道路	車道	平成 28 年度現地調査	路面性状測定車 目視
	歩道	平成 28 年度現地調査	目視
道路付属物	施設案内標識	平成 28 年度整理	—
	警戒標識 その他標識	平成 28 年度過年度台帳整理	—
		一部現地調査	目視
	交通安全灯	平成 28 年度管理台帳整理	—
	防犯灯	平成 28 年度管理台帳整理	—
	道路反射鏡	平成 28 年度過年度台帳整理	—
		一部現地調査	目視
街路樹	平成 27 年度 航空写真	目視	
橋りょう	平成 27 年度、平成 28 年度 橋りょう定期点検結果	目視	
立体横断施設等	平成 28 年度整理	—	
大型構造物	平成 28 年度整理	—	
公園緑地等	公園緑地等関係資料(平成 28 年度)	—	
法定外公共物	平成 28 年度整理	—	
下水道	府中市下水道マスタープラン	—	

3-2-2

インフラの整備状況(根拠一覧)

3.2.3 車道

車道の全体数量及び状況は、次のとおりです。

3-2-3

インフラの整備状況（車道）

3.2.3.1 全体数量

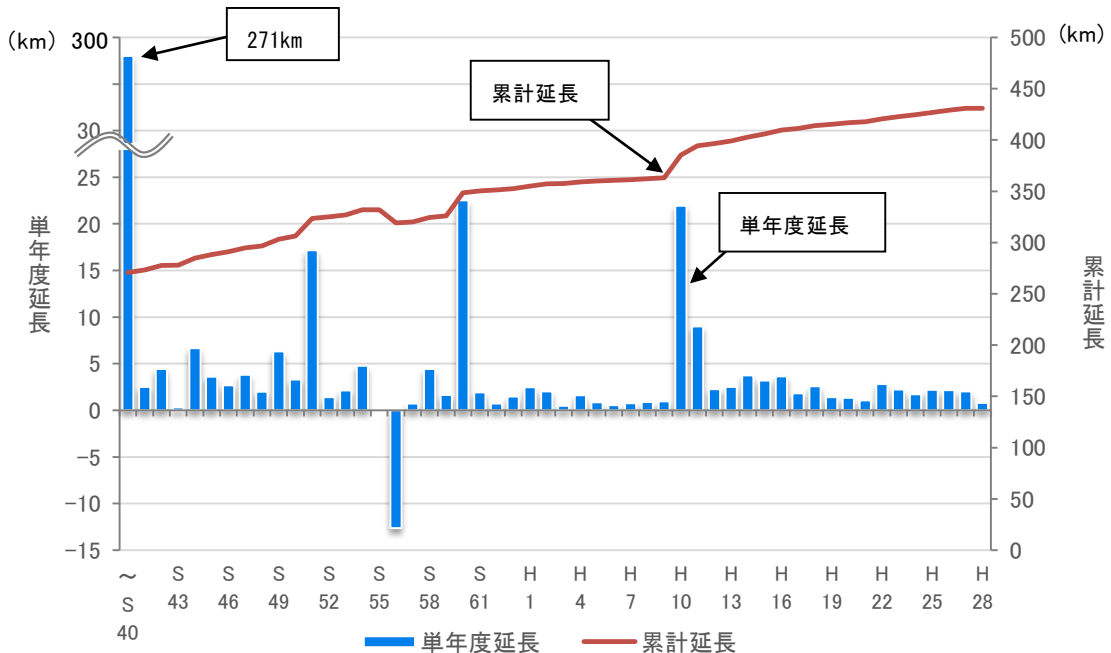
車道の全体数値は、次のとおりです。なお、この表の数値は、歩道を含む数量です。

表 3-2-3-1 車道（全体）の管理数値

項目	延長	面積
車道	431,706m	2,673,110 m ²
舗装	416,886m	2,633,087 m ²
舗装率	96.74%	98.75%

※ 出典『府中市事務報告書（平成28年度）』

市が管理する車道は、延長が約432km、面積が約267万m²です。このうち、道路延長の約63%が、また、道路面積の約37%が昭和40年度までに整備されたものです。なお、市街地への土地利用が進むことが想定されることから数量は今後も増えることを想定します。



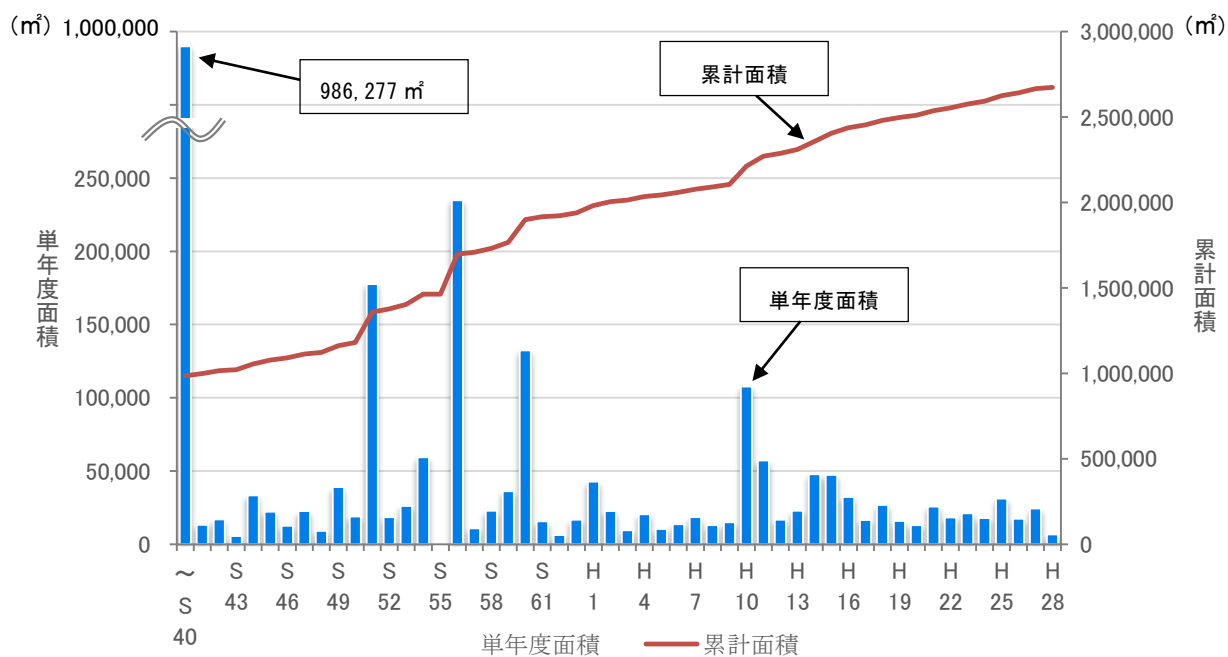
※ 昭和56年度の市道の再編成時に数値を整理しています。

※ 出典『府中市公共施設等総合管理計画』に追記

図 3-2-3-1 市道の認定状況（延長）

3-2-3

インフラの整備状況（車道）



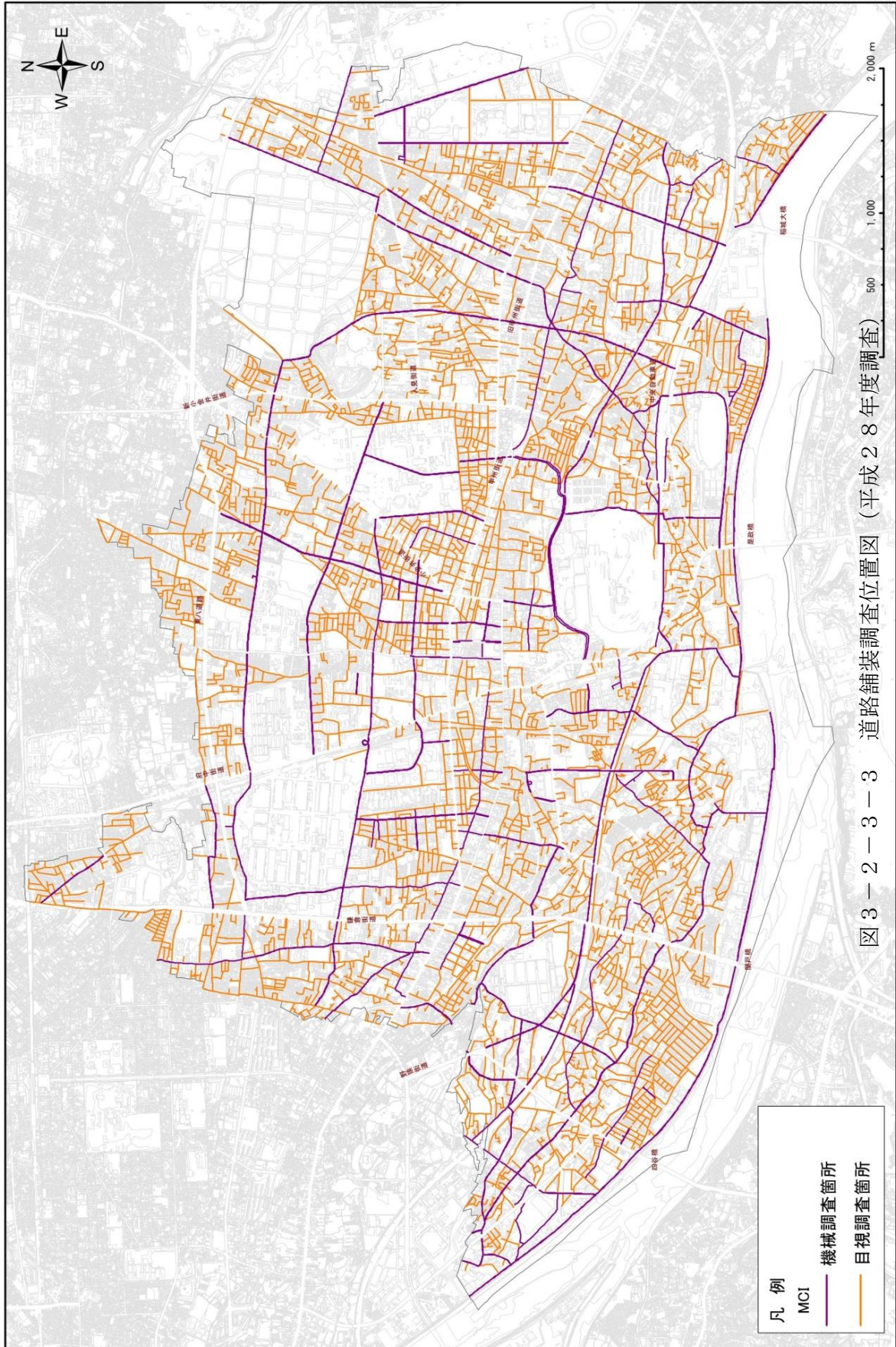
※ 昭和56年度の市道の再編成時に数値を整理しています。
 ※ 出典『府中市公共施設等総合管理計画』に追記

図3-2-3-2 市道の認定状況（面積）

3.2.3.2 道路位置

3-2-3

インフラの整備状況（車道）



3.2.3.3 車道の状況

(1) 点検条件

1) 指標

MC I 値を指標に、車道の評価を行います。

※ MC I 値（維持管理指数）

舗装の劣化状態を「ひび割れ率」、「わだち掘れ量」、「平坦性」の3つの組み合わせから数値化した指標。10を最大値として状態が悪いほど数値が下がっていく。

【説明写真：劣化状況例ごとのMC I 値】



図3-2-3-4 MC I 値=5
ひび割れが見える程度



図3-2-3-5 MC I 値=3.5~4
ひび割れが複数ある程度



図3-2-3-6 MC I 値=3
ひび割れが面状にひろがり、わだちが顕著



図3-2-3-7 MC I 値=2
ひび割れが全面にひろがり、わだち掘れが顕著

3-2-3

インフラの整備状況（車道）

2) 実施数量

調査した車道の延長は、次のとおりです。

表 3-2-3-2 車道調査数量一覧

調査方法	道路種別	調査延長 (m)	調査項目	評価単位	上下線	備考
機 械	幹線市道	153,374	ひび割れ	20mごと	上下	多車線区間は全車線調査（付加車線除く）としました
	一般市道	9,172	わだち掘れ			
目 視	一般市道	320,167	ひび割れ	街区ごと	下りのみ	
合 計		482,713	—	—	—	

- ※ 車道幅員6.5m以上の区間を含む路線は「機械調査」、それ以外は「目視調査」を行っています。
- ※ 目視調査路線は、大型車両が少なくわだち掘れが発生しにくいと判断し、ひび割れ調査のみを行っています。
- ※ 解析時、目地は劣化に含めないこととしました。
- ※ 路線の起点から終点に向かう方向を上り線としています。

3) 調査項目及び解析手法

【機械調査※】

路面性状測定車による機械調査は、「舗装調査・試験法便覧（社団法人日本道路協会平成19年6月）」に基づいて解析しました。

① ひび割れ率

車道の面積に対してどの程度ひび割れがあるのかを、0.1%単位で調査しました。

② わだち掘れ量

わだち掘れ量を、測定区間の進行方向10m毎にmm単位で調査しました。

※ 車道の劣化状態を把握するため、専用の「路面性状測定車」により調査を実施しました。なお路面性状測定車は、毎年行われる公的機関による性能確認試験で性能保証を受けた車両を使用しています。

【目視調査】

目視調査は、調査員が徒歩でひび割れのみを調査しました。なお、ひび割れの劣化程度は、次に示す判定基準に基づいて決定しました。

① ひび割れ率

不連続に単線でひび割れが発生している場合	5%以下
連続して単線でひび割れが発生している場合	5～15%
道路幅のおおむね1/8にひび割れが発生している場合	5～15%
道路幅のおおむね1/4にひび割れが発生している場合	15～30%
道路幅のおおむね1/3にひび割れが発生している場合	30～50%
道路幅のおおむね1/2にひび割れが発生している場合	50%以上

4) 評価方法と要補修判定基準

【評価方法】

評価には、MCI値を用いています。なお、MCI値は、次の式により算出しています。

$$MCI_0 = 10 - 1.51C^{0.3} - 0.30D^{0.7} \quad (1)$$

$$MCI_1 = 10 - 2.23C^{0.3} \quad (2)$$

$$MCI_2 = 10 - 0.54D^{0.7} \quad (3)$$

ここに C : ひび割れ率(%)
D : わだち掘れ量(mm)
MCI、MCI_i : 維持管理指数

機械調査は、上記(1)～(3)の式で算出した値のうち、最も小さい値を用いました。また、目視調査については、(2)の式で算出した値を用いました。

【補修判定基準】

補修の判定基準は、表3-2-3-3に示す値を用いました。

表3-2-3-3 MCI値の標準的な判定基準

評価ランク	評価の範囲	判定結果
水準Ⅰ	$0.0 \leq \text{MCI 値} \leq 3.0$	早急に修繕が必要
水準Ⅱ	$3.0 < \text{MCI 値} \leq 4.0$	修繕が必要
水準Ⅲ	$4.0 < \text{MCI 値} \leq 5.0$	修繕が望ましい
水準Ⅳ	$5.0 < \text{MCI 値}$	望ましい管理水準

※ 出典『第34回建設省技術研究会報告 昭和55年度』P40

※ 望ましい管理水準とは、軽微な劣化は含まれるものの、一般的に安全面で影響がないと判断できる健全な状況を指します。

5) 車道の補修間隔

昭和56年度から平成28年度までの「工事台帳」から、車道の補修実績を整理しました。

具体的には、過去の補修状況を工法別に集計し、平均経年数などの舗装補修の現状を把握しました。また、集計対象は、同一箇所に対して工事を2回以上行った区間と、補修工事を1回実施した後から現在に至っている区間とします。なお、舗装の更新サイクル≒劣化予測の算定ベースである耐用年数としました。

【舗装更新・補修の実績】		
幹線市道	打換え工事の平均更新間隔年数は	約19年
	オーバーレイ工事の平均補修間隔年数は	約12年
一般市道	打換え工事の平均更新間隔年数は	約21年
	オーバーレイ工事の平均補修間隔年数は	約10年

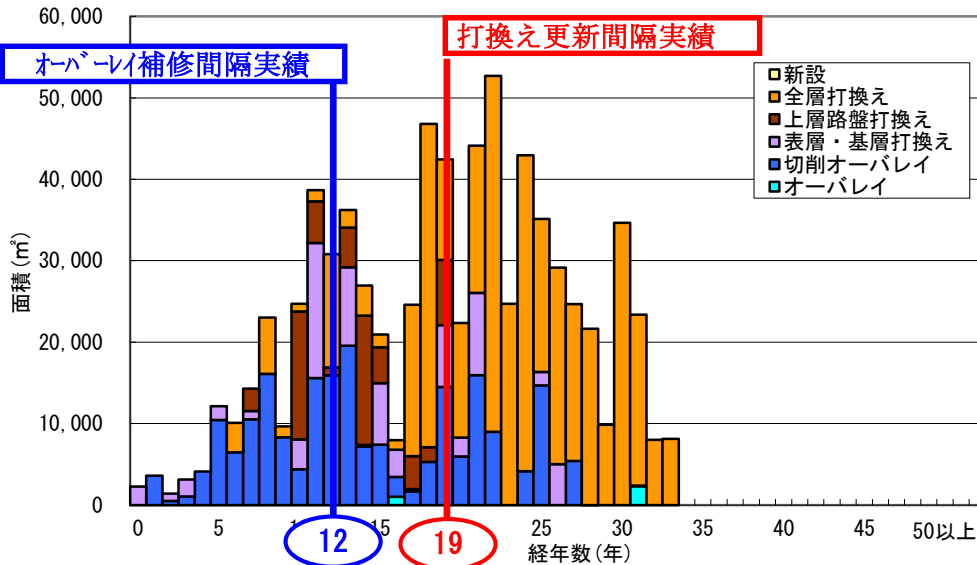


図3-2-3-8 幹線市道の舗装更新周期（実績）

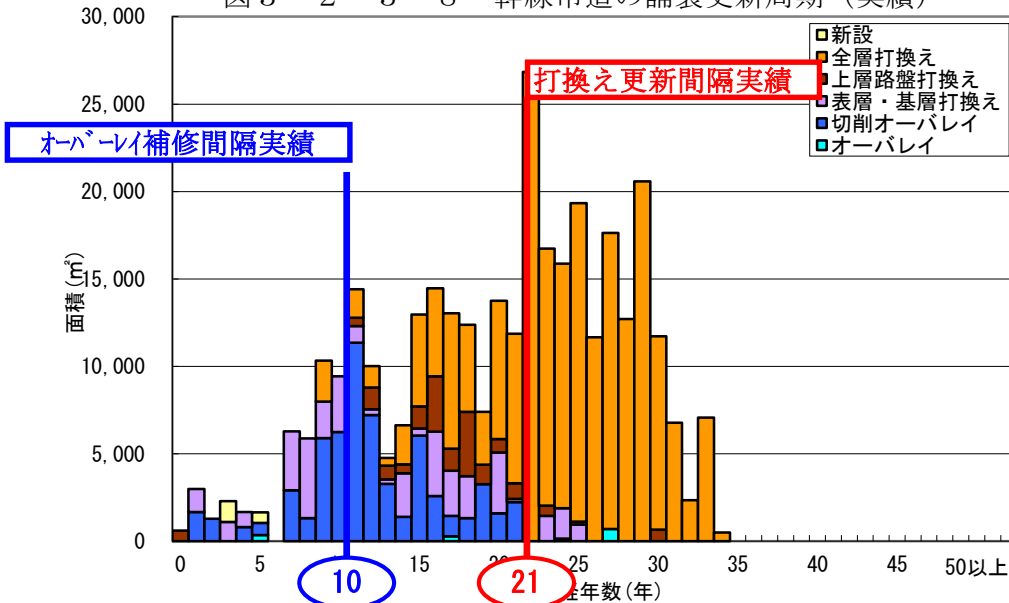


図3-2-3-9 一般市道の舗装更新周期（実績）

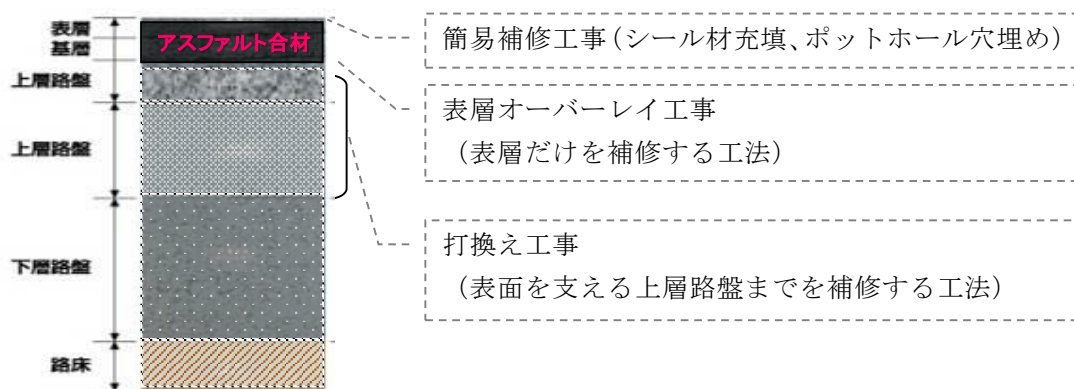


図 3 - 2 - 3 - 1 0 舗装の構造と補修工事のイメージ

(2) 点検結果（全体）

1) MCI値

調査結果から、地域別に平均MCI値を比較しました。なお、市全体での平均MCI値は6.7であり、平成23年度に実施した前回調査の平均MCI値6.9から0.2減少しています。

また、地域別の比較では第5地域、第8地域が最も低く、平均MCI値は6.5です。

表3-2-3-4 車道の劣化程度（地域区分別のMCI値）

地域区分	平成28年度		前回調査（平成23年度）		増減
	調査延長	平均MCI値	調査延長	平均MCI値	
市全体	482,713m	6.7	473,183m	6.9	-0.2
第1地域	75,160m	6.9	71,034m	7.1	-0.2
第2地域	91,131m	6.7	92,578m	7.1	-0.4
第3地域	62,712m	6.7	61,351m	6.9	-0.2
第4地域	46,885m	6.6	47,177m	6.4	0.2
第5地域	32,808m	6.5	32,584m	6.7	-0.2
第6地域	47,128m	6.7	44,557m	6.6	0.1
第7地域	68,233m	6.7	67,900m	6.9	-0.2
第8地域	58,656m	6.5	56,002m	6.7	-0.2

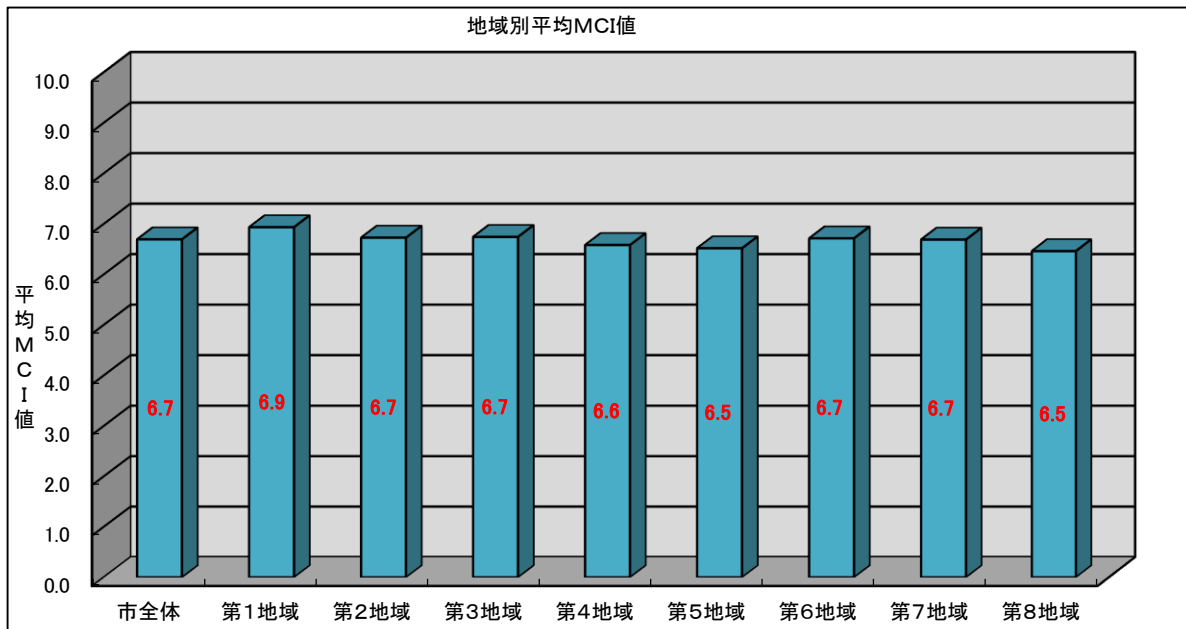


図3-2-3-11 平成28年度 地域別平均MCI値比較

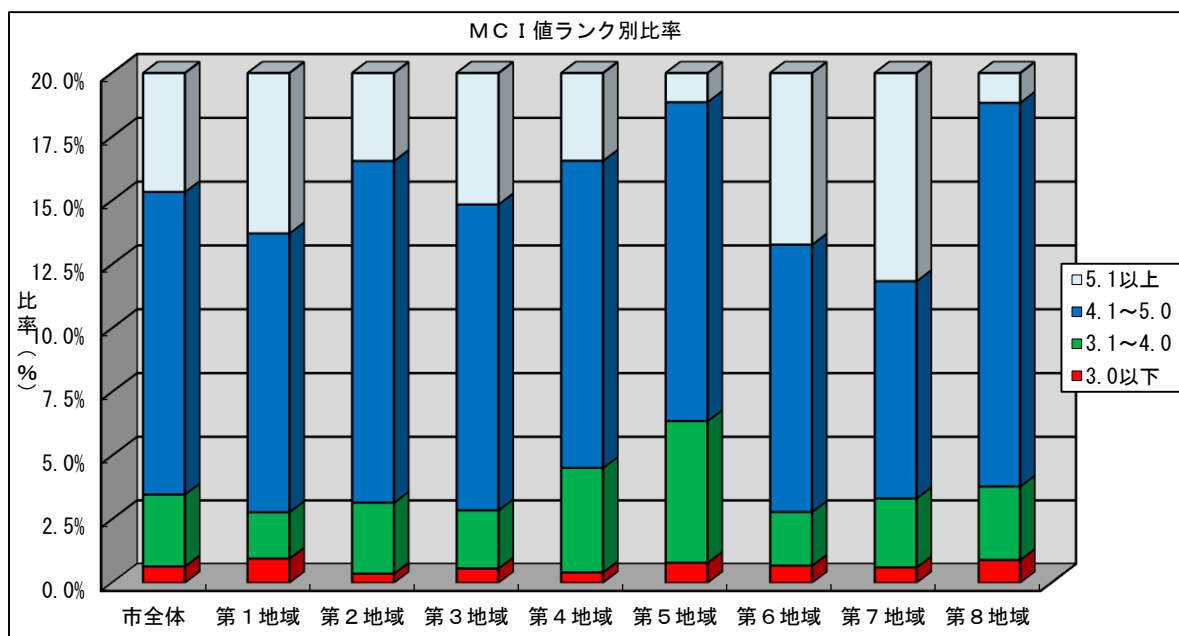
2) MCI 値ランク別割合

MCI 値の標準的な判定基準（表 3-2-3-3）に基づき、「MCI 値 3.0 以下（早急に修繕が必要）」、「MCI 値 3.1～4.0（修繕が必要）」、「MCI 値 4.1～5.0（修繕が望ましい）」、「MCI 値 5.1 以上（望ましい管理水準）」の 4 ランクに分類して延長割合を比較しました。

早急な修繕が必要な MCI 値 3.0 以下は、市全体で 0.6% でした。なお、地域ごとに比較すると第 1 地域、第 8 地域、第 5 地域の順となっています。

表 3-2-3-5 車道の劣化割合（地域区別の MCI 値）

MCI 値	3.0 以下	3.1～4.0	4.1～5.0	5.1 以上	合計
市全体	0.6%	2.8%	11.9%	84.7%	100%
第 1 地域	1.0%	1.8%	10.9%	86.3%	100%
第 2 地域	0.4%	2.8%	13.4%	83.4%	100%
第 3 地域	0.6%	2.3%	12.0%	85.1%	100%
第 4 地域	0.4%	4.1%	12.0%	83.4%	100%
第 5 地域	0.8%	5.6%	12.5%	81.1%	100%
第 6 地域	0.7%	2.1%	10.5%	86.7%	100%
第 7 地域	0.6%	2.7%	8.5%	88.2%	100%
第 8 地域	0.9%	2.9%	15.0%	81.2%	100%



※ ■ 早急に修繕が必要 ■ 修繕が必要 ■ 修繕が望ましい ■ 望ましい管理水準

図 3-2-3-12 MCI 値ランク別比率

3) ひび割れ率

調査結果から、地域別に平均ひび割れ率を比較しました。なお、市全体での平均ひび割れ率は7.1%であり、平成23年度に実施した前回調査の5.1%から2.0%増加しています。

また、地域別の比較では第5地域が最も高く、平均ひび割れ率は8.1%です。

表3-2-3-6 車道の劣化程度（地域区別のひび割れ率）

地域区分	平成28年度		前回調査（平成23年度）		増減
	調査延長	平均ひび割れ率	調査延長	平均ひび割れ率	
市全体	482,713m	7.1%	473,183m	5.1%	2.0%
第1地域	75,160m	6.8%	71,034m	4.8%	2.0%
第2地域	91,131m	6.9%	92,578m	4.3%	2.6%
第3地域	62,712m	7.2%	61,351m	5.4%	1.8%
第4地域	46,885m	7.9%	47,177m	6.7%	1.2%
第5地域	32,808m	8.1%	32,584m	5.0%	3.1%
第6地域	47,128m	7.1%	44,557m	5.9%	1.2%
第7地域	68,233m	6.3%	67,900m	4.6%	1.7%
第8地域	58,656m	7.7%	56,002m	5.1%	2.6%

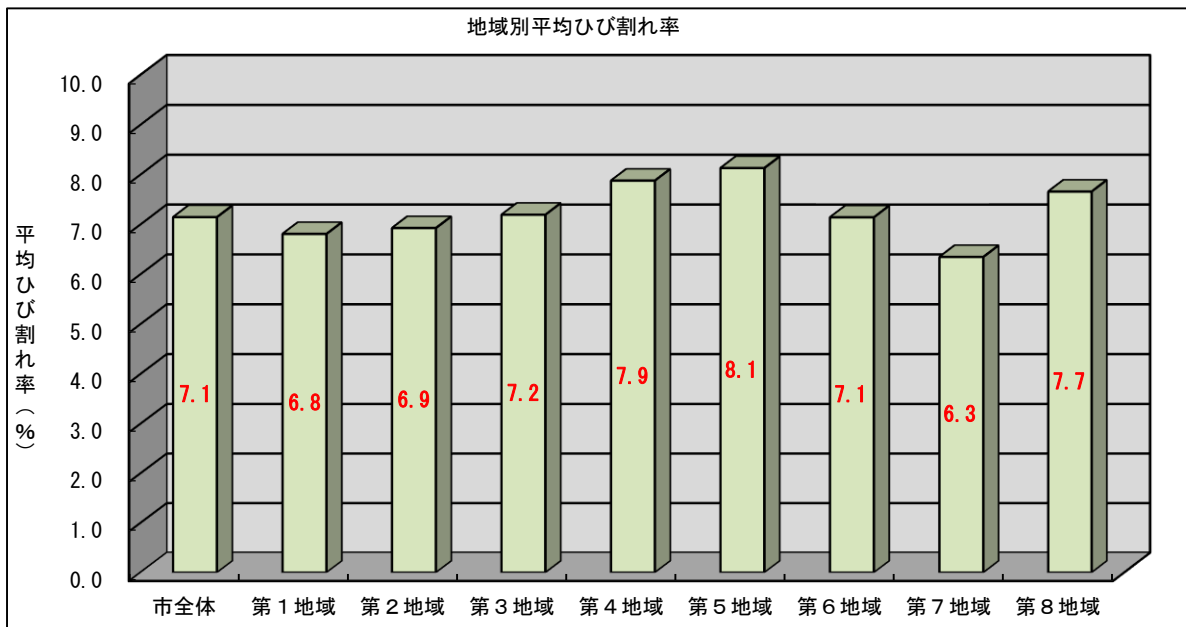


図3-2-3-13 平成28年度 地域別平均ひび割れ率

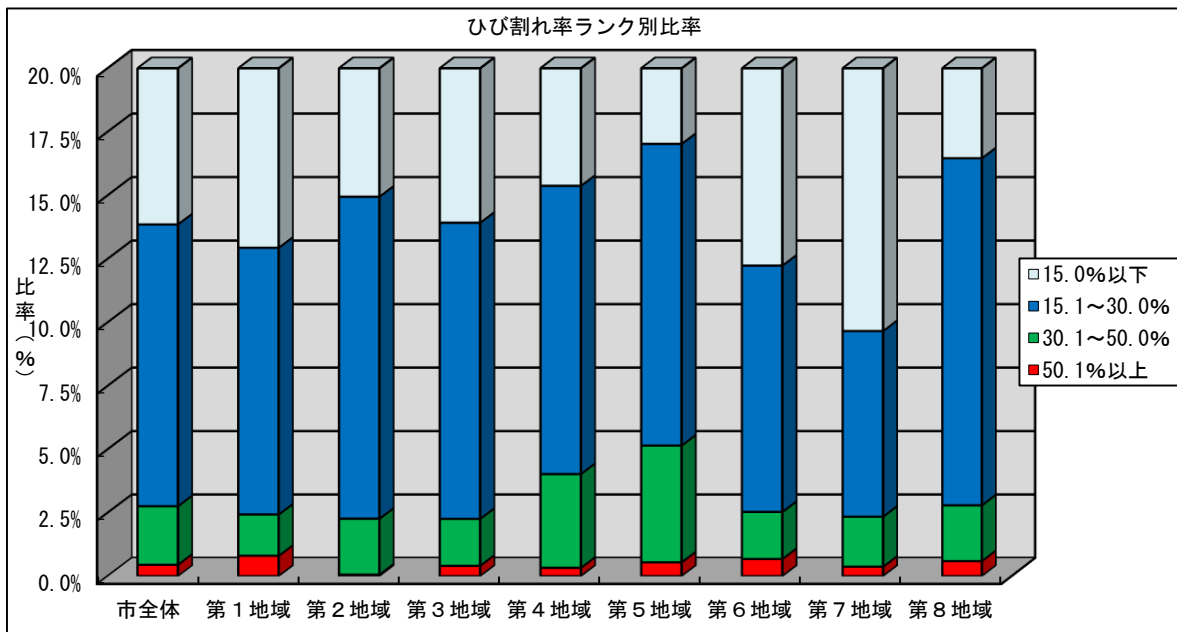
4) ひび割れ率 ランク別割合

早急な修繕が必要なひび割れ率である50.1%以上の区間は、市全体で0.4%でした。なお、該当箇所は、第1地域、第6地域、第8地域の順となっています。

この結果は、平均MCI値とほぼ同じ傾向です。

表 3-2-3-7 車道の劣化割合 (地域区分別のひび割れ率)

ひび割れ率	50.1%以上	30.1~50.0%	15.1~30.0%	15.0%以下	合計
市全体	0.4%	2.3%	11.1%	86.1%	100%
第1地域	0.8%	1.6%	10.5%	87.1%	100%
第2地域	0.1%	2.2%	12.7%	85.1%	100%
第3地域	0.4%	1.8%	11.7%	86.1%	100%
第4地域	0.3%	3.7%	11.4%	84.6%	100%
第5地域	0.5%	4.6%	11.9%	83.0%	100%
第6地域	0.7%	1.9%	9.7%	87.8%	100%
第7地域	0.4%	2.0%	7.3%	90.3%	100%
第8地域	0.6%	2.2%	13.7%	83.5%	100%



※ ■ 早急に修繕が必要 ■ 修繕が必要 ■ 修繕が望ましい ■ 望ましい管理水準

図 3-2-3-14 ひび割れ率ランク別比率

5) わだち掘れ量

調査結果から、地域別に平均わだち掘れ量を比較しました。なお、市全体での平均わだち掘れ量は、7.0mmであり、平成23年度の前回調査から0.1mm増加しています。

また、地域別の比較では第7地域が最も高く、平均わだち掘れ量は7.8mmです。

表3-2-3-8 車道の劣化程度（地域区別のわだち掘れ量）

地域区分	平成28年度		前回調査（平成23年度）		増減
	調査延長	平均わだち掘れ量	調査延長	平均わだち掘れ量	
市全体	162,546m	7.0mm	161,123m	6.9mm	0.1mm
第1地域	22,088m	6.2mm	20,641m	5.9mm	0.3mm
第2地域	34,083m	7.2mm	34,711m	7.2mm	0.0mm
第3地域	18,216m	6.1mm	17,819m	6.7mm	-0.6mm
第4地域	11,882m	7.2mm	12,056m	6.6mm	0.6mm
第5地域	12,578m	7.2mm	12,611m	6.8mm	0.4mm
第6地域	13,527m	6.1mm	13,077m	6.1mm	0.0mm
第7地域	25,836m	7.8mm	25,976m	7.5mm	0.3mm
第8地域	24,336m	7.2mm	24,232m	7.5mm	-0.3mm

※ 「平均わだち掘れ量」は機械調査区間のみの集計結果です

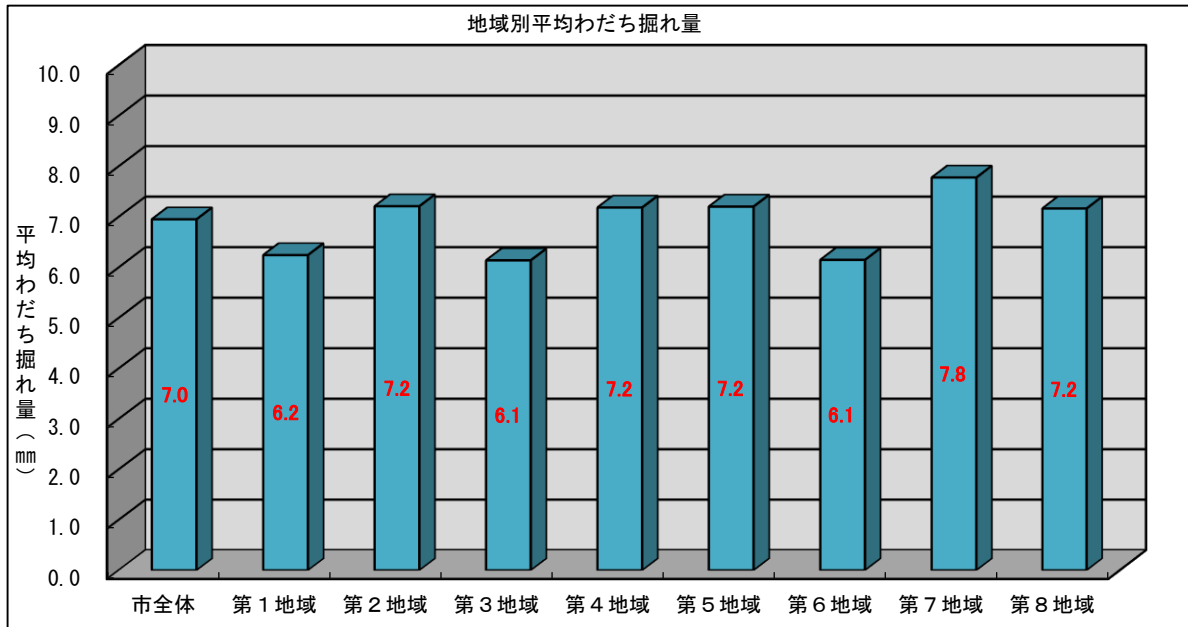


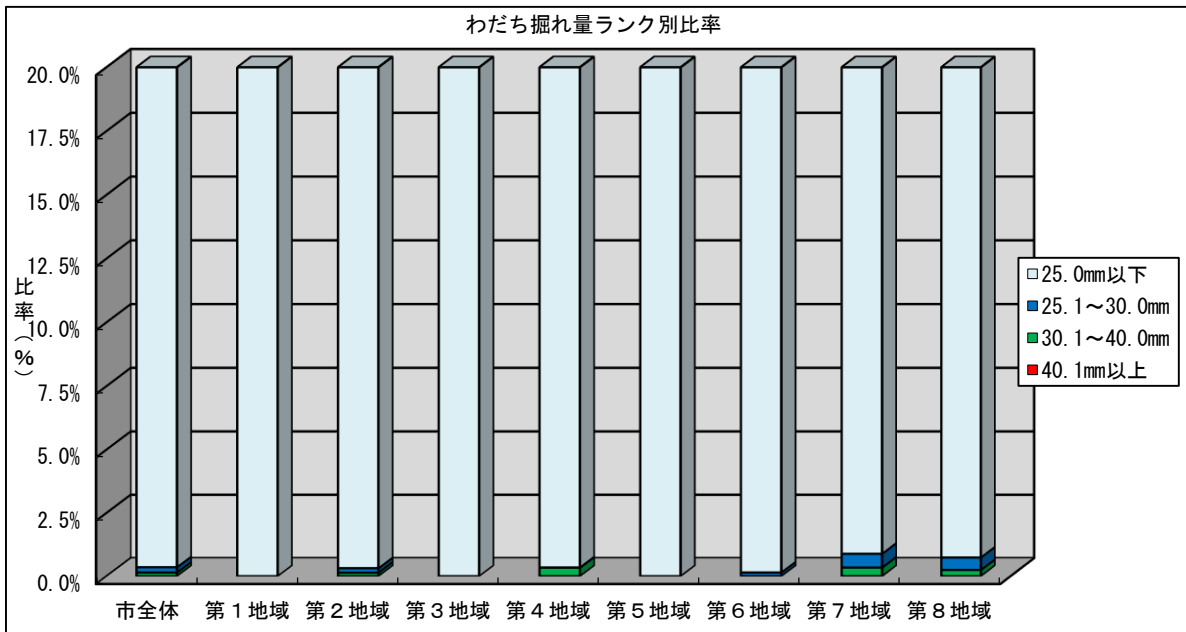
図3-2-3-15 平成28年度 地域別平均わだち掘れ量

6) わだち掘れ量 ランク別割合

早急な修繕が必要なわだち掘れ量である40.1mm以上は、対象箇所がありませんでした。また、修繕が必要な箇所に相当するわだち掘れ量30.1～40.0mmは市全体で0.1%あり、該当箇所は第4地域、第7地域、第8地域、第2地域です。

表3-2-3-9 車道の劣化割合(地域区別のわだち掘れ量)

わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1～40.0mm	25.1～30.0mm	25.0mm以下	合計
市全体	0.0%	0.1%	0.2%	99.6%	100%
第1地域	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100%
第2地域	0.0%	0.1%	0.2%	99.7%	100%
第3地域	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100%
第4地域	0.0%	0.3%	0.0%	99.7%	100%
第5地域	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100%
第6地域	0.0%	0.0%	0.1%	99.9%	100%
第7地域	0.0%	0.3%	0.5%	99.1%	100%
第8地域	0.0%	0.2%	0.5%	99.3%	100%



※ ■ 早急に修繕が必要 ■ 修繕が必要 ■ 修繕が望ましい ■ 望ましい管理水準

図3-2-3-16 わだち掘れ量ランク別比率

(3) 結果分析

1) 全体

市全体の平均である、「MC I 値」、「ひび割れ」、「わだち掘れ」をまとめると、次のとおりです。調査の結果、平成23年度の前回調査時と比較すると、MC I 値が僅かに低下し、ひび割れ率やわだち掘れ量の数値に進行が見られることから、劣化が進行している状態です。

表3-2-3-10 市全体の平均値及び前回比較

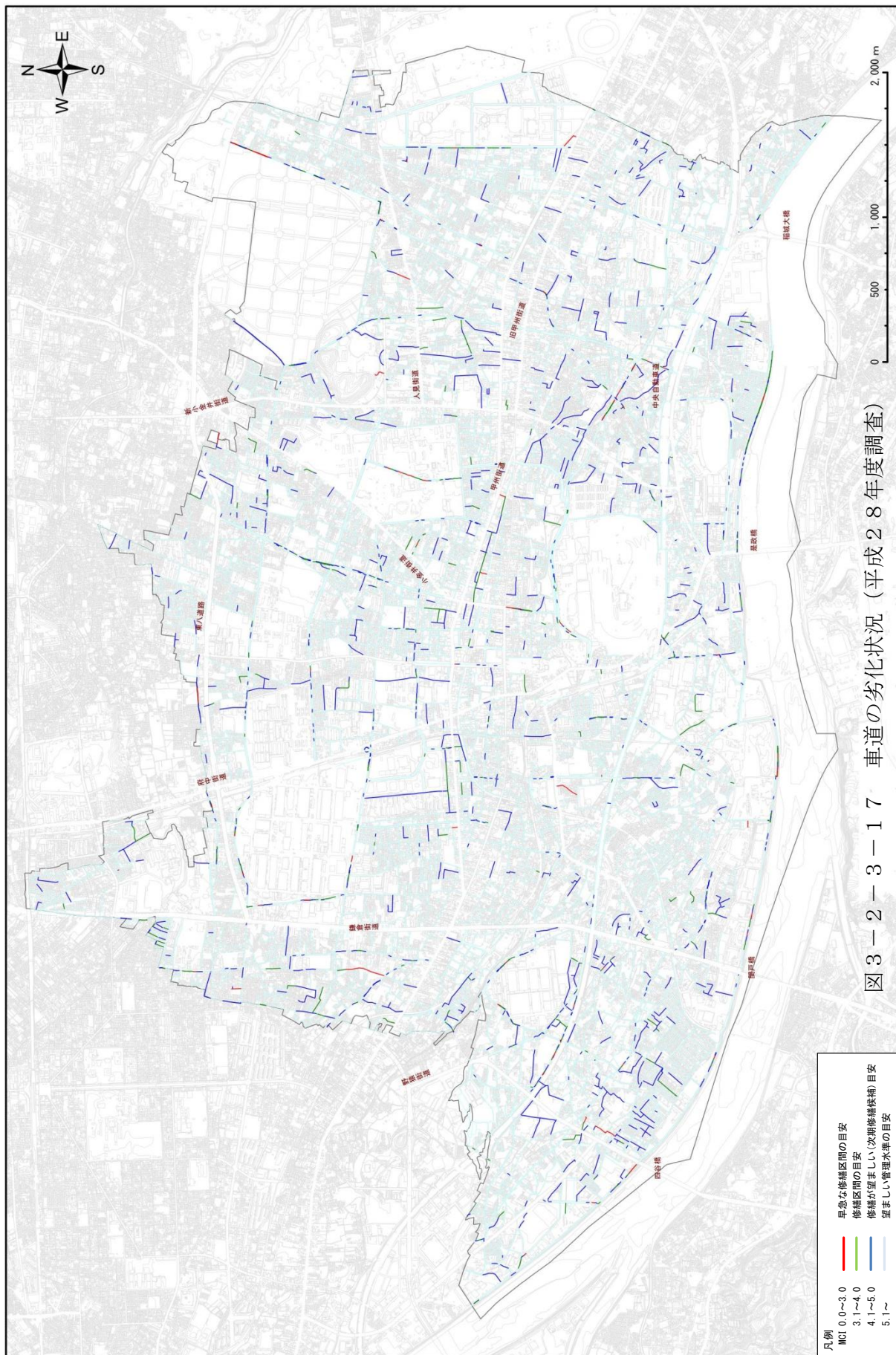
項目	今回調査平均値 (平成28年度)	前回調査平均値 (平成23年度)	差
MC I 値	6.7	6.9	-0.2
ひび割れ率	7.1%	5.1%	2.0%
わだち掘れ量	7.0mm	6.9mm	0.1mm

2) 要因別

- 舗装の劣化要因は、「ひび割れ」です。
- 現状では、「わだち掘れ量」が直接の原因で早急に修繕が必要な箇所はありません。

3) 地域別

- 「MC I 値3.0以下（早急な修繕が必要）」の区間は、市の郊外に点在しています。
- MC I 値の平均は6.5で、第5地域と第8地域が低いです。
- 平均ひび割れ率が最も高いのは、第5地域で8.1%です。
- 平均わだち掘れ量が最も高いのは、第7地域で7.8mmです。



4) 補修必要区間

調査の結果から、「MCI値3.0以下（早急な修繕が必要）」の区間は、75か所3,118mあります。

表3-2-3-11 (1/2) 補修対策箇所一覧表 (MCI値3.0以下)

No	路線名称	地域	上下	距離自 (m)	距離至 (m)	区間長 (m)	ひび割れ率 (%)	わだち掘れ最大 (mm)	わだち掘れ平均 (mm)	MCI 値
1	幹線:中央道側道	2	下	3,420	3,421	1	75.0	39	37	0.3
2	幹線:しみず下通り	2	下	720	760	40	40.2	44	34	1.6
3	幹線:多磨霊園東通り	1	上	940	1,060	120	75.6	6	4	1.9
4	一般:1-67	1	下	0	104	104	75.0	-	-	1.9
5	一般:1-109	1	下	0	116	116	75.0	-	-	1.9
6	一般:1-359	1	下	0	64	64	75.0	-	-	1.9
7	一般:3-131	3	下	229	339	110	75.0	-	-	1.9
8	一般:3-201	3	下	357	423	66	75.0	-	-	1.9
9	一般:4-372	4	下	42	86	44	75.0	-	-	1.9
10	一般:4-378	4	下	0	39	39	75.0	-	-	1.9
11	一般:5-172	5	下	33	44	11	75.0	-	-	1.9
12	一般:5-212	5	下	0	68	68	75.0	-	-	1.9
13	一般:5-21	6	下	0	37	37	75.0	-	-	1.9
14	一般:5-87	6	下	0	282	282	75.0	-	-	1.9
15	一般:4-176	7	下	228	237	9	75.0	-	-	1.9
16	一般:4-182	7	下	0	160	160	75.0	-	-	1.9
17	一般:4-426	7	下	0	45	45	75.0	-	-	1.9
18	一般:6-202	8	下	0	168	168	75.0	-	-	1.9
19	一般:6-248	8	下	31	71	40	75.0	-	-	1.9
20	幹線:しみず下通り	2	下	780	820	40	47.4	32	24	2.1
21	幹線:多摩川通り	7	下	4,400	4,460	60	50.9	39	22	2.1
22	幹線:平和通り	2	上	60	68	8	68.8	15	12	2.1
23	幹線:多磨霊園東通り	1	下	940	1,060	120	67.5	6	4	2.2
24	幹線:けやき並木通り	4	下	269	280	11	66.1	6	4	2.2
25	幹線:多摩川通り	7	上	4,520	4,540	20	39.1	24	24	2.3
26	幹線:多摩川通り	8	上	1,420	1,500	80	49.2	31	20	2.4
27	幹線:あんず通り	1	上	240	260	20	58.5	9	7	2.4
28	幹線:七小通り	5	下	1,640	1,660	20	57.9	24	15	2.4
29	幹線:ふるさと通り	7	下	280	300	20	40.7	26	21	2.4
30	幹線:競馬場正門通り	4	下	0	60	60	57.0	7	5	2.5
31	幹線:多磨霊園東通り	1	上	1,160	1,220	60	55.3	8	5	2.5
32	幹線:中央道側道	8	下	780	820	40	55.7	12	8	2.6
33	幹線:三屋通り	8	上	20	40	20	54.4	10	9	2.6
34	幹線:多摩川通り	8	上	2,420	2,440	20	38.4	23	23	2.6
35	幹線:中央道側道	8	上	900	920	20	55.7	13	8	2.6
36	幹線:四谷通り	8	上	840	860	20	55.1	6	6	2.6

表 3-2-3-11 (2/2) 補修対策箇所一覧表 (MCI 値 3.0 以下)

No	路線名称	地域	上下	距離自 (m)	距離至 (m)	区間長 (m)	ひび割れ率 (%)	わだち掘れ最大 (mm)	わだち掘れ平均 (mm)	MCI 値
37	幹線:多磨駅東通り	1	上	40	60	20	52.7	8	8	2.7
38	幹線:多磨霊園南参道	1	上	1,100	1,115	15	39.6	18	18	2.7
39	幹線:しみず下通り	2	下	580	600	20	51.1	7	6	2.7
40	幹線:美術館通り	3	下	620	640	20	53.2	11	10	2.7
41	幹線:競馬場正門通り	4	下	80	100	20	51.6	14	11	2.7
42	幹線:本宿小通り	5	下	1,040	1,080	40	52.7	20	12	2.7
43	幹線:多摩川通り	7	下	3,380	3,420	40	43.8	18	16	2.7
44	幹線:平和通り	3	下	720	760	40	51.4	6	6	2.8
45	幹線:しみず下通り	2	上	600	620	20	49.5	7	7	2.8
46	幹線:平和通り	3	下	820	840	20	50.8	9	6	2.8
47	幹線:三本木通り	4	上	460	480	20	49.6	10	8	2.8
48	幹線:横街道	5	上	400	420	20	50.8	5	4	2.8
49	幹線:横街道	5	上	680	700	20	50.1	8	7	2.8
50	幹線:多摩川通り	7	上	4,380	4,400	20	24.2	32	26	2.8
51	幹線:東大山道	7	上	440	460	20	48.8	13	8	2.8
52	幹線:中央道側道	8	下	1,160	1,180	20	45.4	18	15	2.8
53	幹線:平和通り	3	下	640	700	60	49.0	6	6	2.8
54	幹線:富士見通り	5	下	2,360	2,400	40	41.2	18	16	2.9
55	幹線:朝日町通り	1	上	500	520	20	44.1	18	16	2.9
56	幹線:多磨霊園東通り	1	上	1,080	1,100	20	47.7	3	3	2.9
57	幹線:東郷寺通り	1	上	1,060	1,080	20	46.9	4	3	2.9
58	幹線:競馬場通り	2	上	400	420	20	47.9	11	7	2.9
59	幹線:しみず下通り	2	上	980	1,000	20	47.5	7	5	2.9
60	幹線:しみず下通り	2	下	980	1,000	20	38.8	23	16	2.9
61	幹線:東郷寺通り	2	下	60	80	20	48.2	15	13	2.9
62	幹線:武蔵台通り	5	下	80	100	20	47.7	13	8	2.9
63	幹線:多摩川通り	8	下	1,440	1,460	20	45.6	18	15	2.9
64	幹線:日新通り	8	上	220	240	20	18.0	28	28	2.9
65	幹線:多磨霊園東通り	1	下	1,180	1,200	20	45.3	4	4	3.0
66	幹線:九中通り	2	下	980	1,000	20	36.0	16	16	3.0
67	幹線:九中通り	2	下	1,100	1,120	20	44.7	13	12	3.0
68	幹線:競馬場通り	2	上	320	340	20	45.8	13	9	3.0
69	幹線:多摩川通り	2	上	7,260	7,320	60	44.9	16	12	3.0
70	幹線:平和通り	3	下	540	580	40	44.6	6	6	3.0
71	幹線:本宿小通り	5	下	1,380	1,400	20	30.2	28	19	3.0
72	幹線:多摩川通り	7	下	3,260	3,280	20	19.1	26	24	3.0
73	幹線:中央道側道	8	下	640	660	20	45.9	6	6	3.0
74	幹線:日新通り	8	上	620	640	20	45.5	4	3	3.0
75	一般:6-286	8	上	440	460	20	44.5	12	10	3.0

※ 「機械調査」はひび割れ、わだち掘れの調査。「目視調査」はひび割れの調査のみです。

※ ■ : MCI 値 3.0 以下 早急に修繕が必要。

車道の調査結果を、図 3-2-3-18 に示します。

3-2-3

インフラの整備状況 (車道)

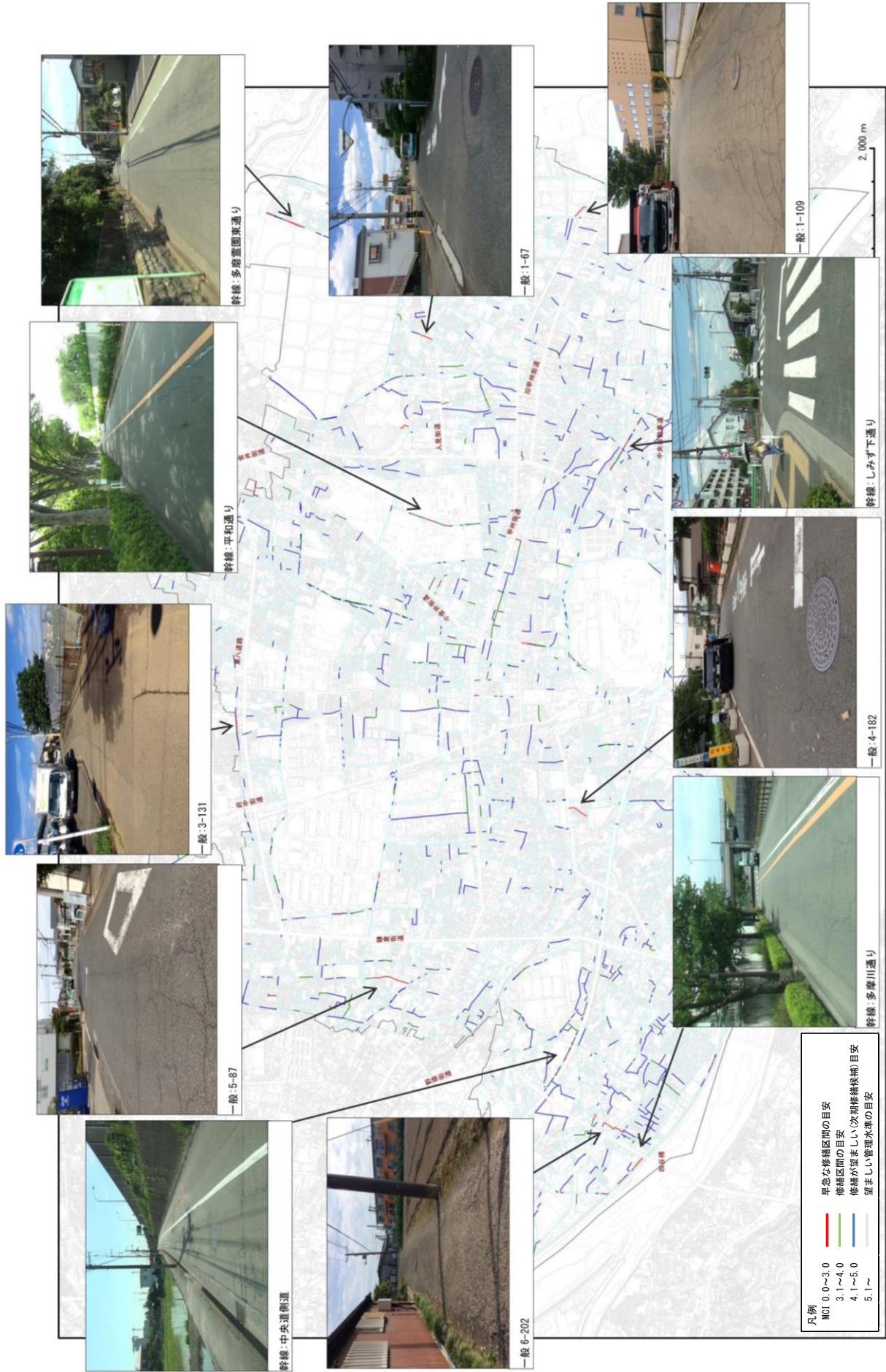


図3-2-3-18 現状で劣化している車道（平成28年度調査）

3.2.3.4 地域別集計

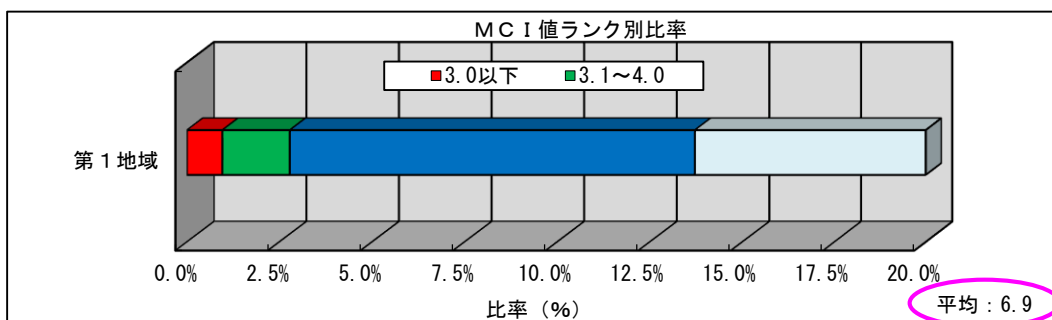
(1) 第1地域

「第1地域」は、8地域の中でひび割れ率の平均値がやや低く、わだち掘れ量もやや低い状態です。なお、MC I値は府中市8地域の中で最も高い水準です。

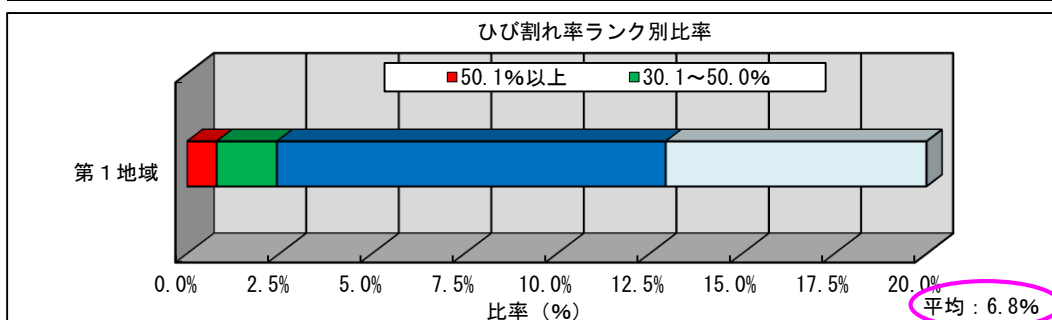
3-2-3

インフラの整備状況(車道)

MC I値	3.0以下	3.1~4.0	4.1~5.0	5.1以上	合計
第1地域	1.0% (719m)	1.8% (1,369m)	10.9% (8,221m)	86.3% (64,851m)	100% (75,160m)



ひび割れ率	50.1%以上	30.1~50.0%	15.1~30.0%	15.0%以下	合計
第1地域	0.8% (604m)	1.6% (1,224m)	10.5% (7,897m)	87.1% (65,435m)	100% (75,160m)



わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1~40.0mm	25.1~30.0mm	25.0mm以下	合計
第1地域	0.0% (0m)	0.0% (0m)	0.0% (0m)	100.0% (22,088m)	100% (22,088m)

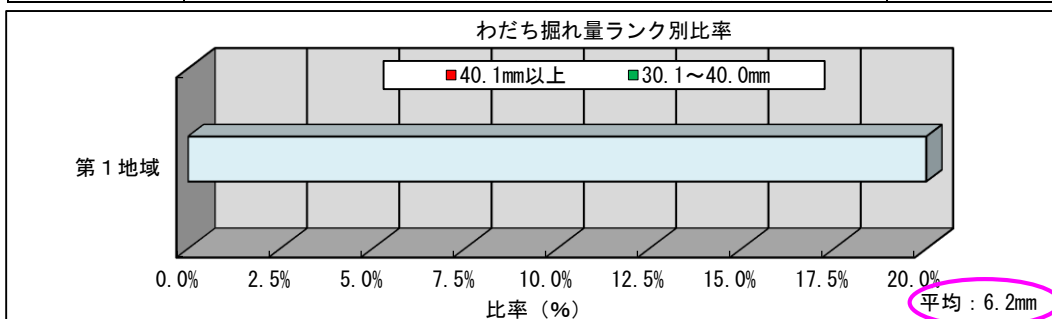
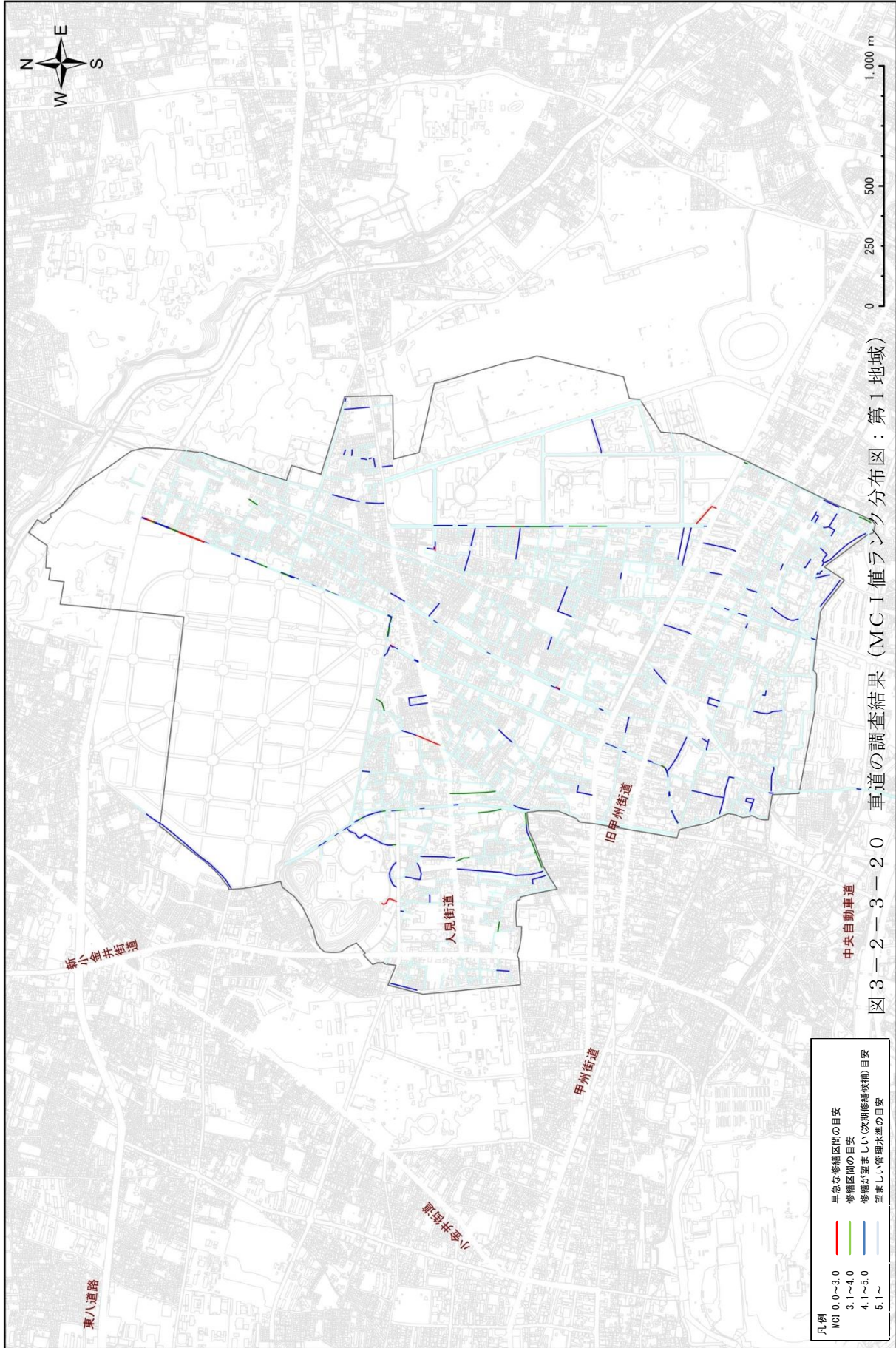


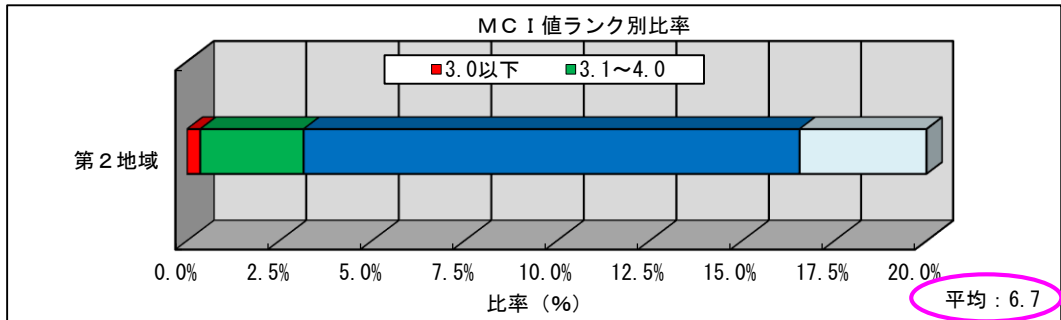
図3-2-3-19 地域別・MC I値・路面性状
2要素ランク別割合比較(第1地域)



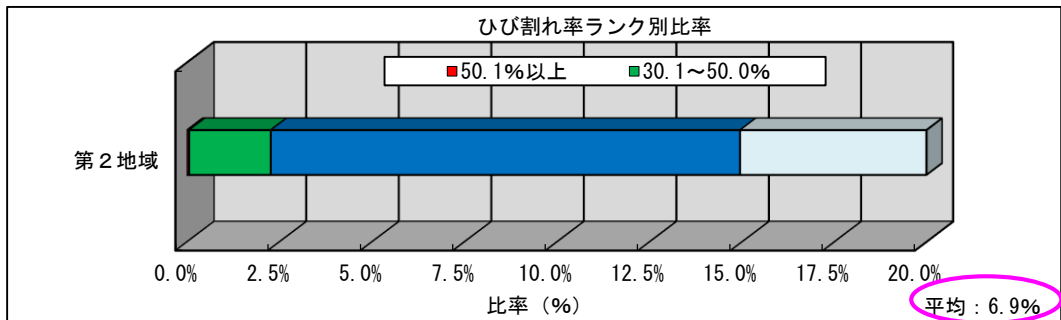
(2) 第2地域

「第2地域」は、8地域の中でひび割れ率の平均値がやや低く、わだち掘れ量はやや高い状態です。なお、MC I 値は府中市全体の平均と同水準です。

MC I 値	3.0 以下	3.1~4.0	4.1~5.0	5.1 以上	合 計
第2地域	0.4% (329m)	2.8% (2,545m)	13.4% (12,212m)	83.4% (76,045m)	100% (91,131m)



ひび割れ率	50.1%以上	30.1~50.0%	15.1~30.0%	15.0%以下	合 計
第2地域	0.1% (56m)	2.2% (2,010m)	12.7% (11,554m)	85.1% (77,511m)	100% (91,131m)



わだち掘れ量	40.1 mm 以上	30.1~40.0 mm	25.1~30.0 mm	25.0 mm 以下	合 計
第2地域	0.0% (0m)	0.1% (48m)	0.2% (60m)	99.7% (33,975m)	100% (34,083m)

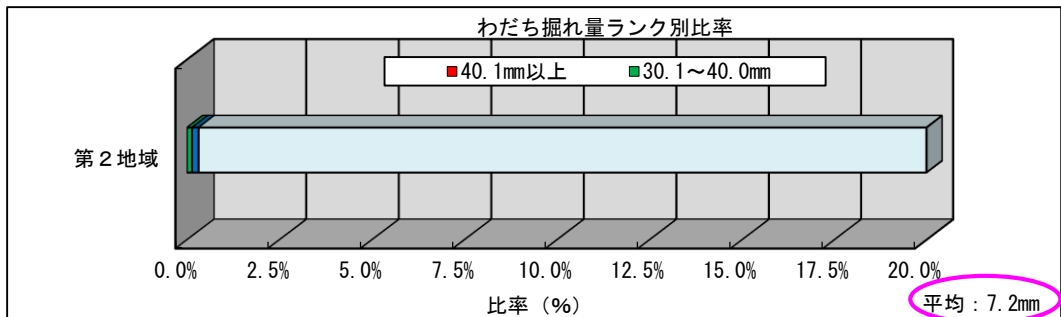
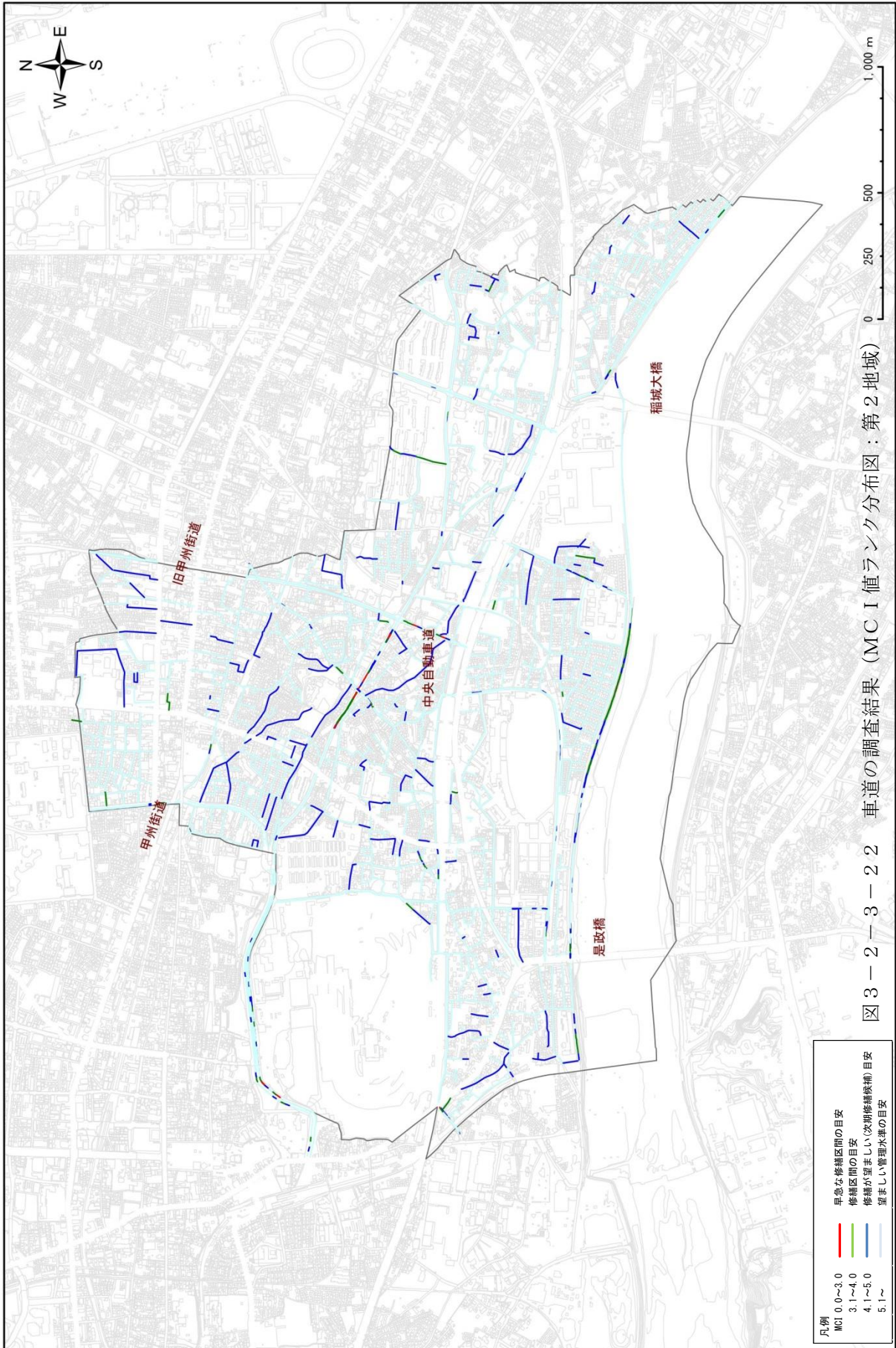


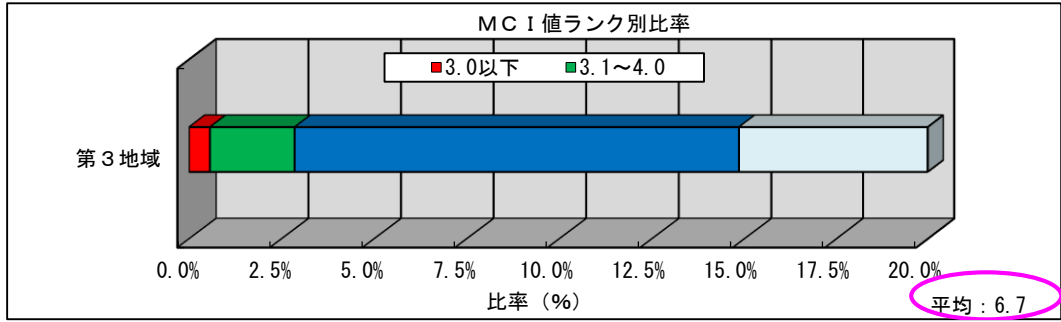
図3-2-3-21 地域別・MC I 値・路面性状
2要素ランク別割合比較（第2地域）



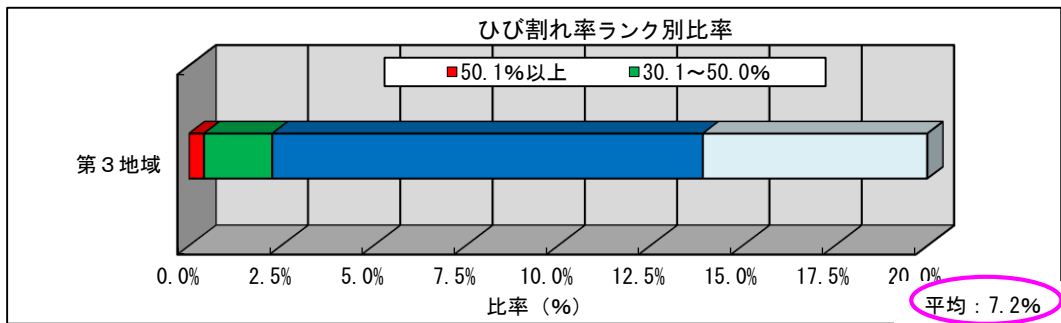
(3) 第3地域

「第3地域」は、8地域の中でひび割れ率の平均値がやや高く、わだち掘れ量は最も低い状態です。なお、MC I値は府中市全体の平均と同水準です。

MC I値	3.0以下	3.1~4.0	4.1~5.0	5.1以上	合計
第3地域	0.6% (356m)	2.3% (1,434m)	12.0% (7,524m)	85.1% (53,398m)	100% (62,712m)



ひび割れ率	50.1%以上	30.1~50.0%	15.1~30.0%	15.0%以下	合計
第3地域	0.4% (256m)	1.8% (1,160m)	11.7% (7,316m)	86.1% (53,980m)	100% (62,712m)



わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1~40.0mm	25.1~30.0mm	25.0mm以下	合計
第3地域	0.0% (0m)	0.0% (0m)	0.0% (0m)	100.0% (18,216m)	100% (18,216m)

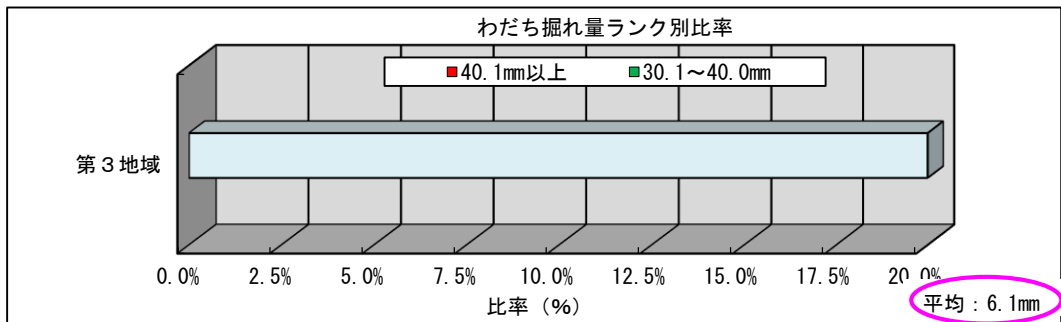


図3-2-3-23 地域別・MC I値・路面性状
2要素ランク別割合比較（第3地域）

3-2-3

インフラの整備状況（車道）

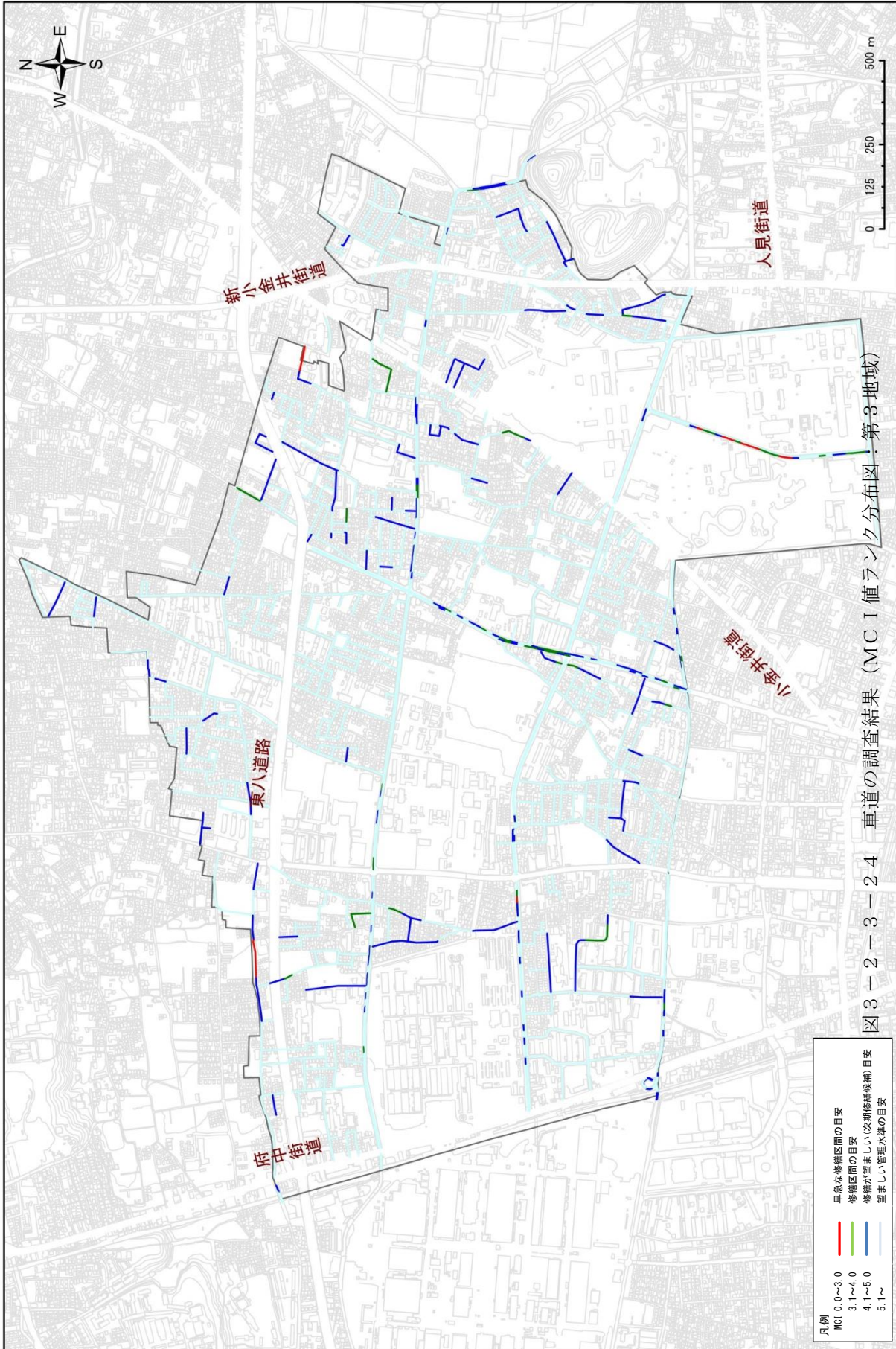
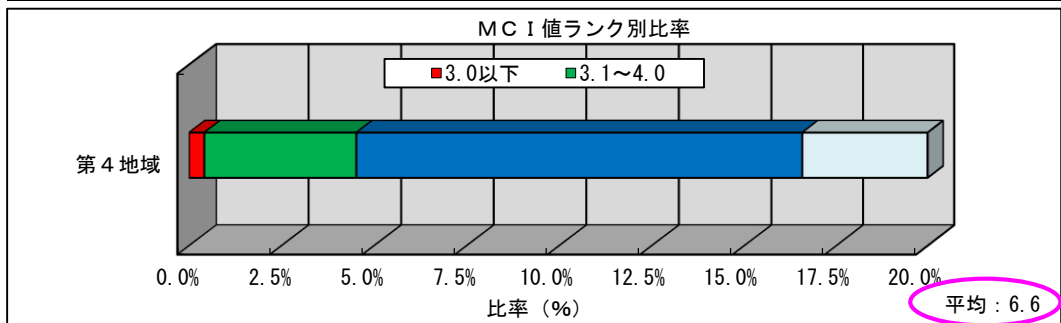


図3-2-3-2-4 車道の調査結果（MC I 値ランク分布図・第3地域）

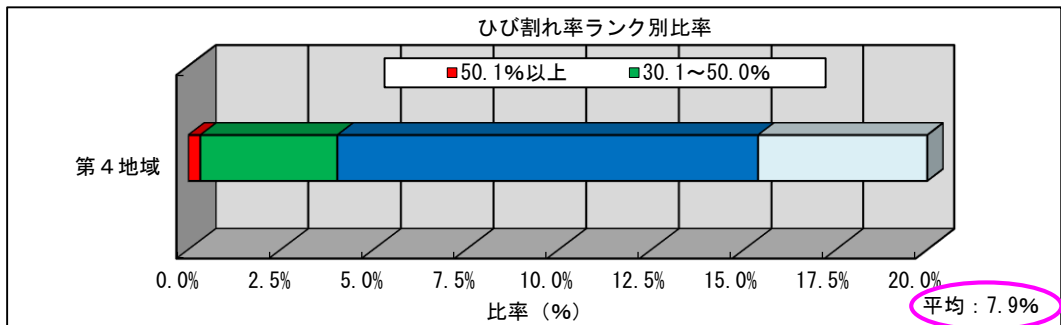
(4) 第4地域

「第4地域」は、8地域の中でひび割れ率の平均値がやや高く、わだち掘れ量もやや高い状態です。なお、MC I 値は府中市全体の平均よりやや低い水準です。

MC I 値	3.0以下	3.1~4.0	4.1~5.0	5.1以上	合計
第4地域	0.4% (194m)	4.1% (1,925m)	12.0% (5,647m)	83.4% (39,119m)	100% (46,885m)



ひび割れ率	50.1%以上	30.1~50.0%	15.1~30.0%	15.0%以下	合計
第4地域	0.3% (154m)	3.7% (1,733m)	11.4% (5,322m)	84.6% (39,676m)	100% (46,885m)



わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1~40.0mm	25.1~30.0mm	25.0mm以下	合計
第4地域	0.0% (0m)	0.3% (40m)	0.0% (1m)	99.7% (11,841m)	100% (11,882m)

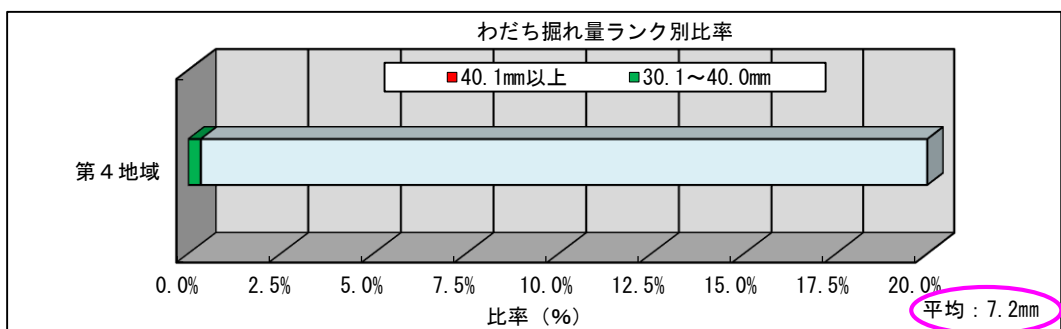
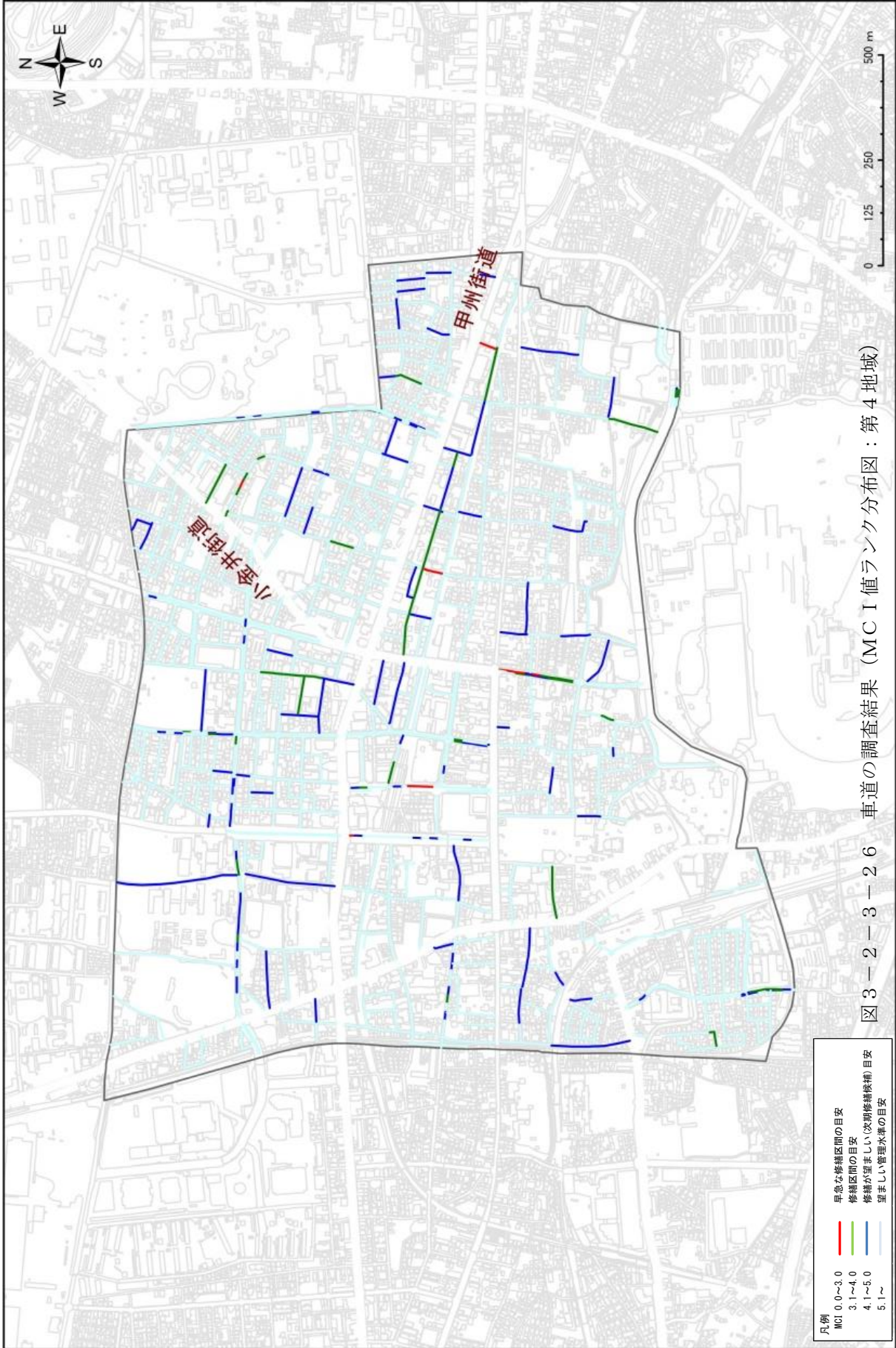


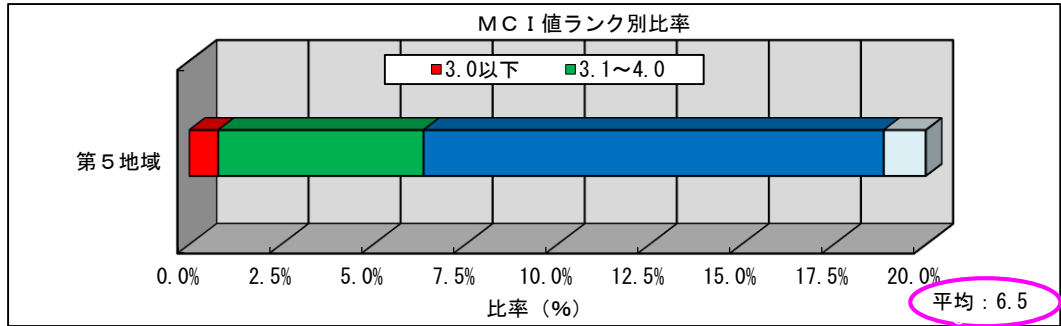
図3-2-3-25 地域別・MC I 値・路面性状
2要素ランク別割合比較（第4地域）



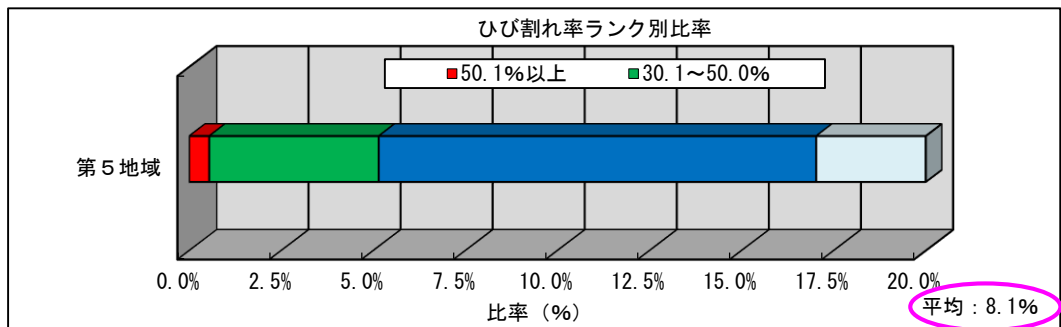
(5) 第5地域

「第5地域」は、8地域の中でひび割れ率の平均値が最も高く、わだち掘れ量はやや高い状態です。なお、MC I値は府中市8地域の中で最も低い水準です。

MC I値	3.0以下	3.1~4.0	4.1~5.0	5.1以上	合計
第5地域	0.8% (259m)	5.6% (1,829m)	12.5% (4,100m)	81.1% (26,620m)	100% (32,808m)



ひび割れ率	50.1%以上	30.1~50.0%	15.1~30.0%	15.0%以下	合計
第5地域	0.5% (179m)	4.6% (1,510m)	11.9% (3,897m)	83.0% (27,222m)	100% (32,080m)



わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1~40.0mm	25.1~30.0mm	25.0mm以下	合計
第5地域	0.0% (0m)	0.0% (0m)	0.0% (0m)	100.0% (12,578m)	100% (12,578m)

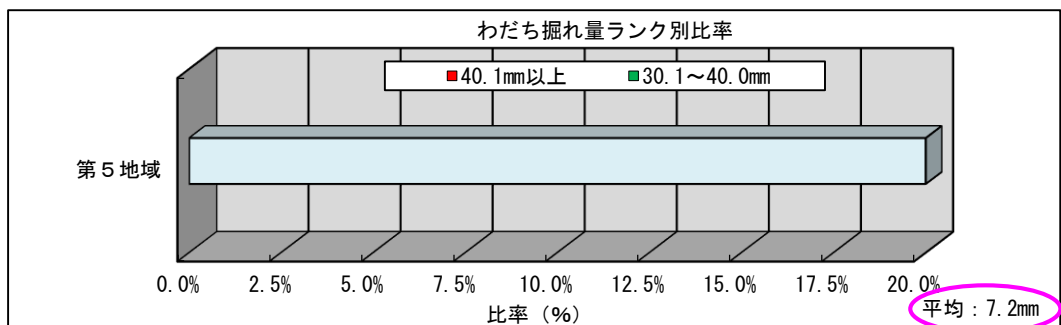


図3-2-3-27 地域別・MC I値・路面性状
2要素ランク別割合比較（第5地域）

3-2-3

インフラの整備状況（車道）

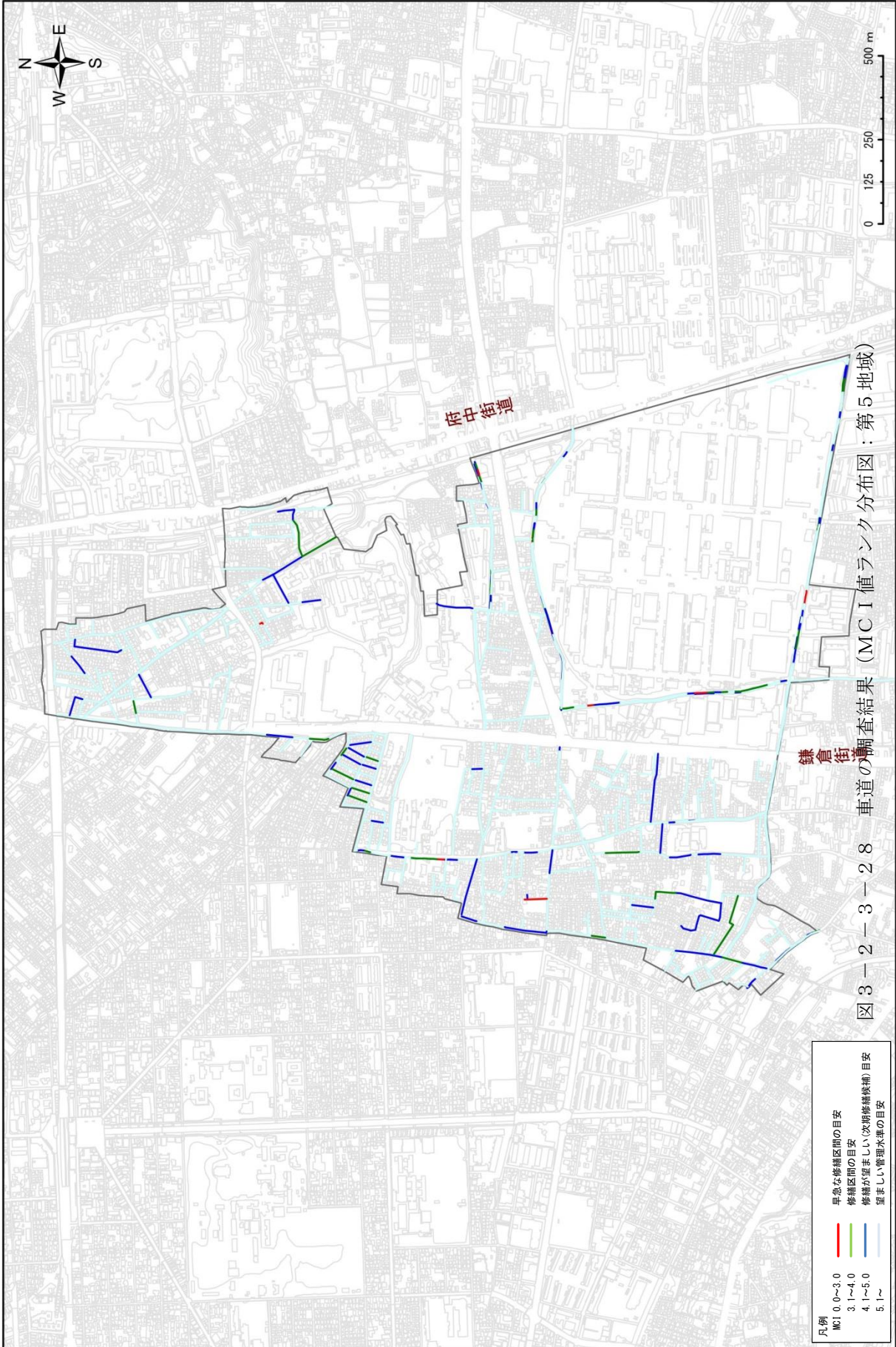
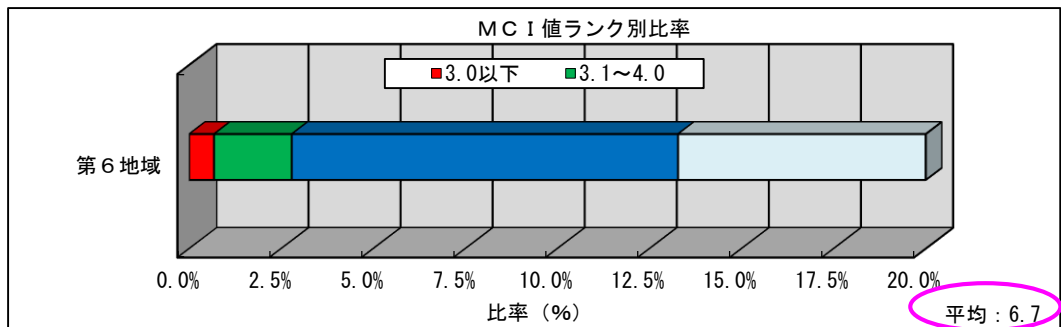


図 3-2-3-2-8 車道の調査結果 (MCI 値ランク分布図：第 5 地域)

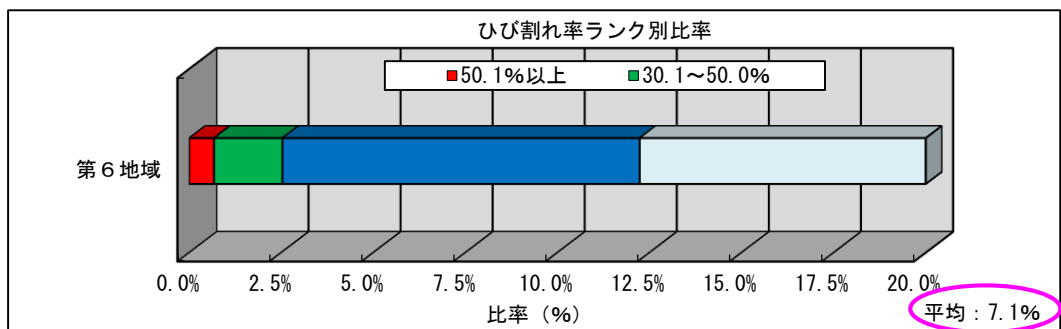
(6) 第6地域

「第6地域」は、8地域の中でひび割れ率の平均と同水準であり、わだち掘れ量は最も低い状態です。なお、MC I値は府中市全体の平均と同水準です。

MC I 値	3.0以下	3.1~4.0	4.1~5.0	5.1以上	合計
第6地域	0.7% (319m)	2.1% (995m)	10.5% (4,943m)	86.7% (40,871m)	100% (47,128m)



ひび割れ率	50.1%以上	30.1~50.0%	15.1~30.0%	15.0%以下	合計
第6地域	0.7% (319m)	1.9% (875m)	9.7% (4,572m)	87.8% (41,362m)	100% (47,128m)



わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1~40.0mm	25.1~30.0mm	25.0mm以下	合計
第6地域	0.0% (0m)	0.0% (0m)	0.1% (20m)	99.9% (13,507m)	100% (13,527m)

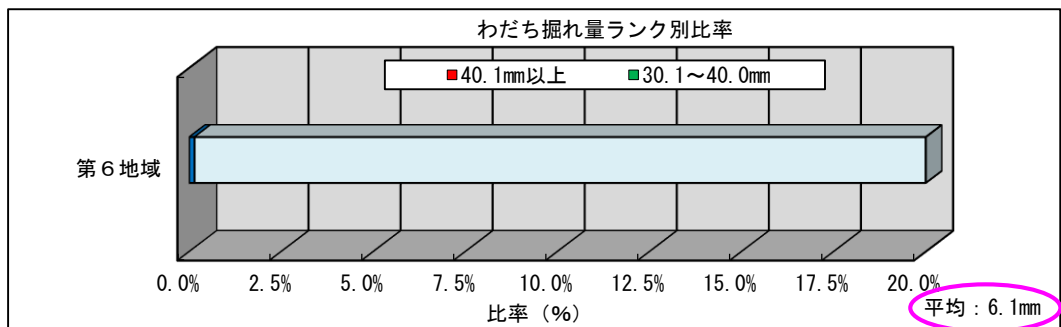
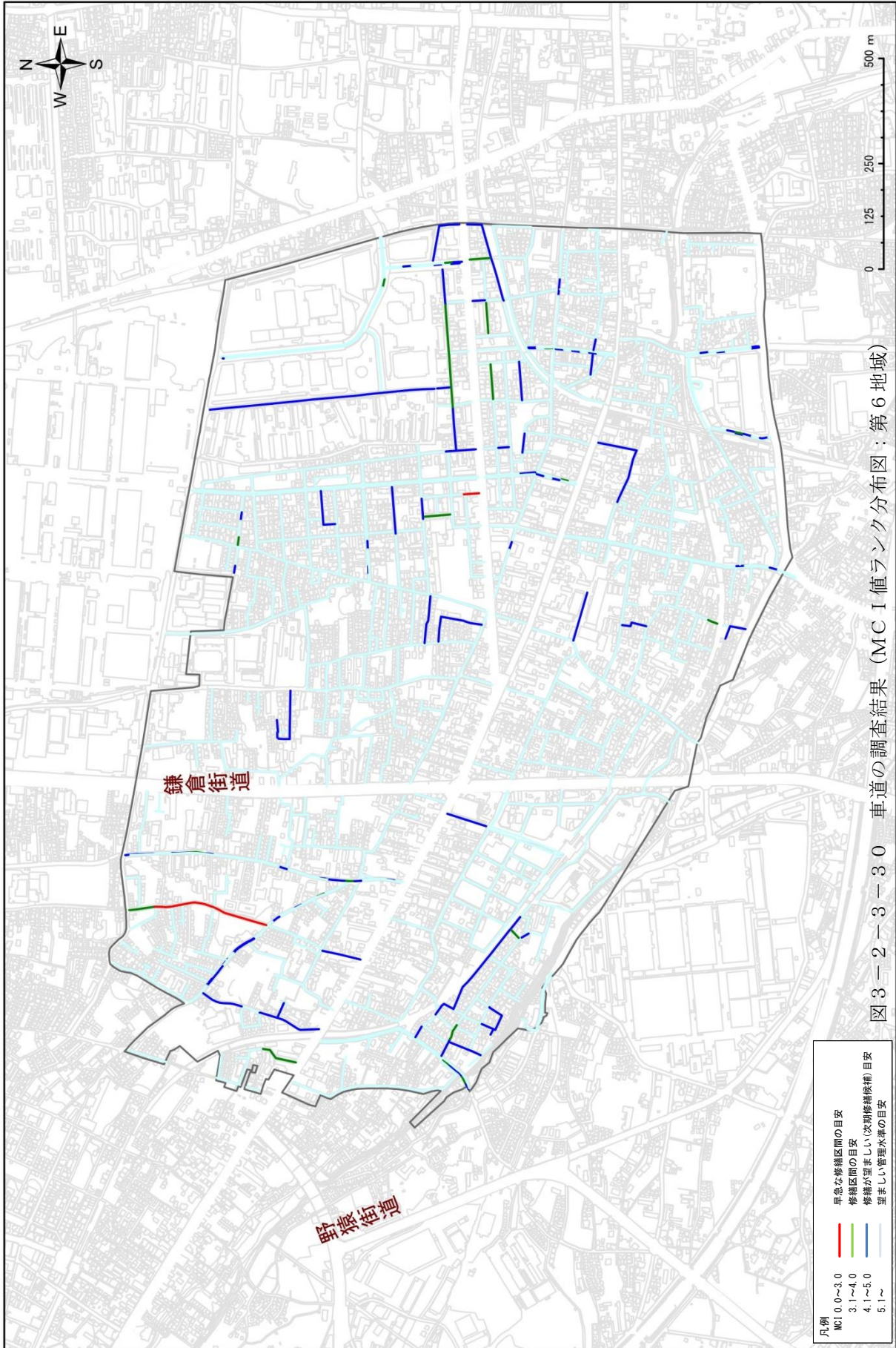


図3-2-3-29 地域別・MC I 値・路面性状
2要素ランク別割合比較(第6地域)

3-2-3

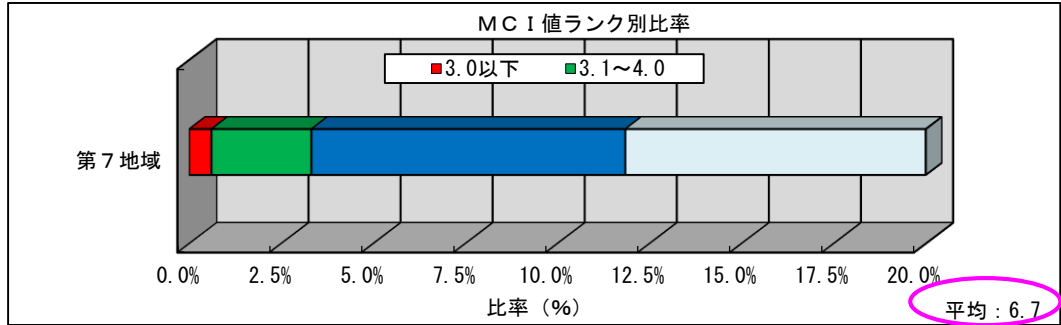
インフラの整備状況（車道）



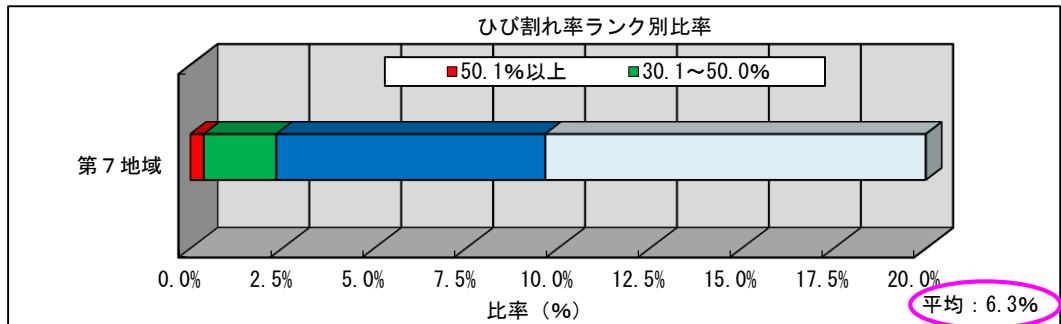
(7) 第7地域

「第7地域」は、8地域の中でひび割れ率の平均値が最も低く、わだち掘れ量は最も高い状態です。なお、MC I 値は府中市全体の平均と同水準です。

MC I	3.0以下	3.1~4.0	4.1~5.0	5.1以上	合計
第7地域	0.6% (414m)	2.7% (1,852m)	8.5% (5,816m)	88.2% (60,151m)	100% (68,233m)



ひび割れ率	50.1%以上	30.1~50.0%	15.1~30.0%	15.0%以下	合計
第7地域	0.4% (254m)	2.0% (1,346m)	7.3% (4,992m)	90.3% (61,641m)	100% (68,233m)



わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1~40.0mm	25.1~30.0mm	25.0mm以下	合計
第7地域	0.0% (0m)	0.3% (89m)	0.5% (140m)	99.1% (25,607m)	100% (25,836m)

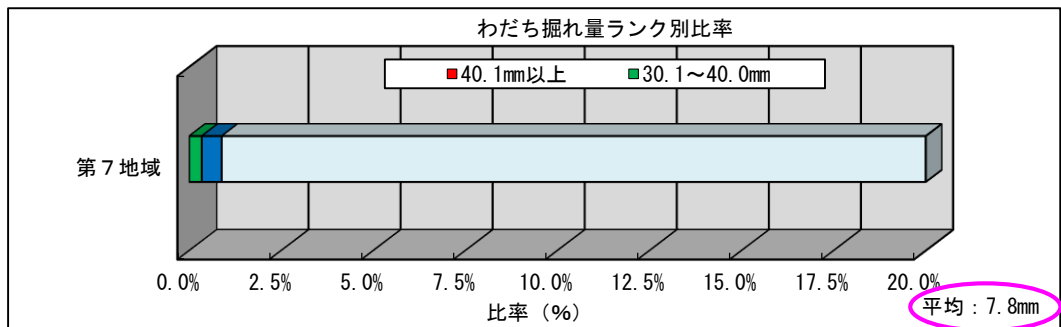
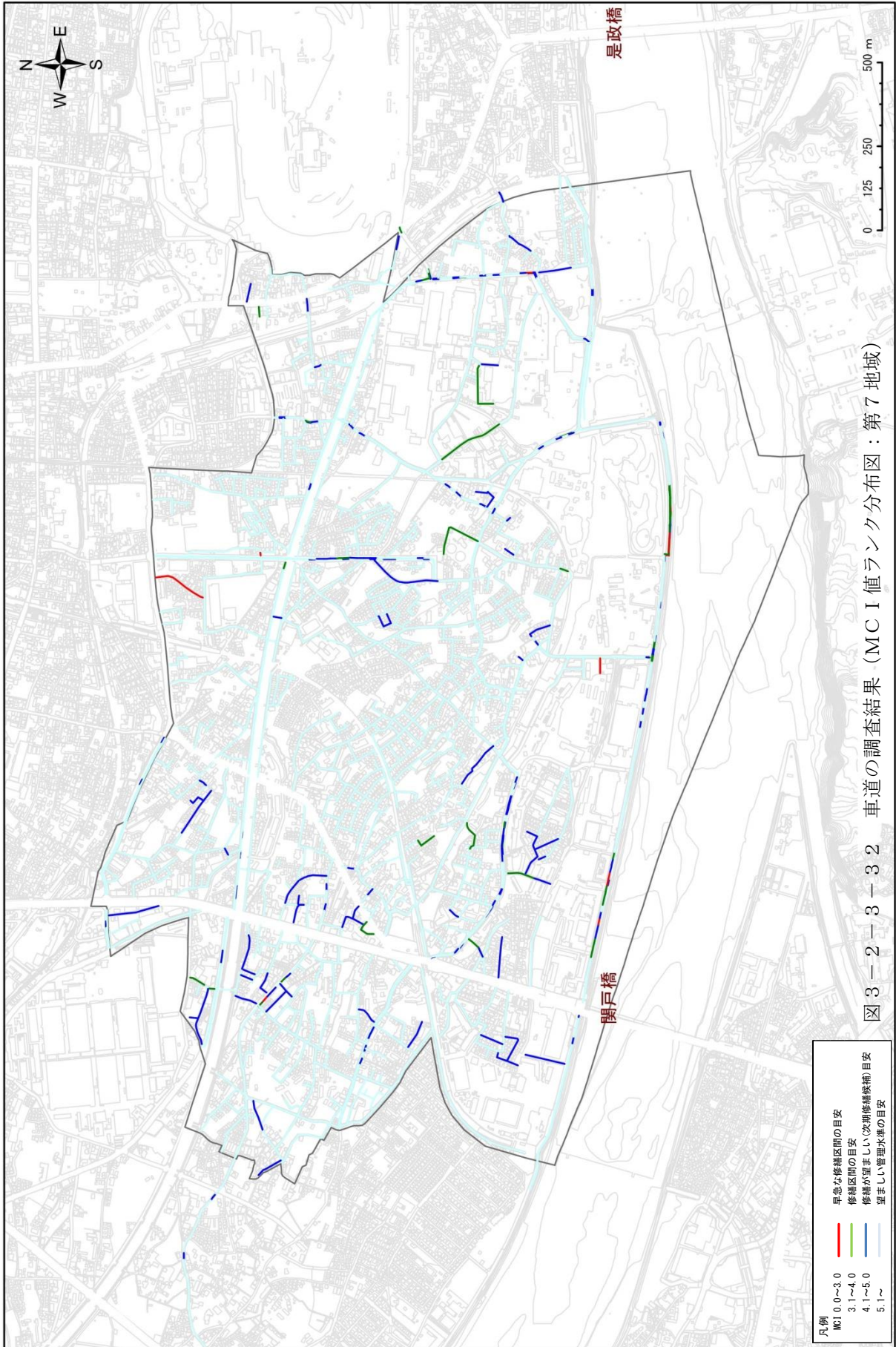


図3-2-3-31 地域別・MC I 値・路面性状
2要素ランク別割合比較（第7地域）

3-2-3

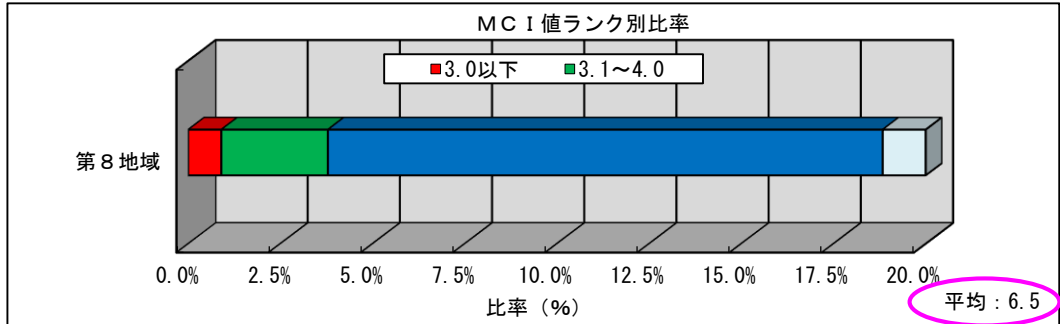
インフラの整備状況（車道）



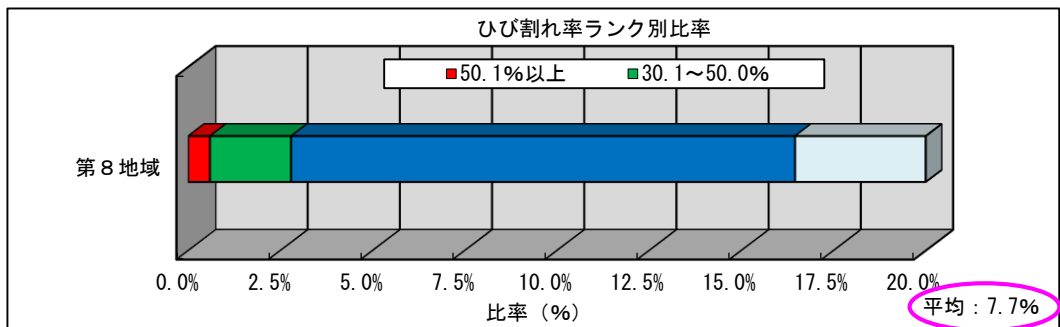
(8) 第8地域

「第8地域」は、8地域の中でひび割れ率の平均値がやや高く、わだち掘れ量もやや高い状態です。なお、MC I 値は府中市8地域の中で最も低い水準です。

MC I	3.0以下	3.1~4.0	4.1~5.0	5.1以上	合計
第8地域	0.9% (528m)	2.9% (1,695m)	15.0% (8,825m)	81.2% (47,608m)	100% (58,656m)



ひび割れ率	50.1%以上	30.1~50.0%	15.1~30.0%	15.0%以下	合計
第8地域	0.6% (348m)	2.2% (1,290m)	13.7% (8,017m)	83.5% (49,001m)	100% (58,656m)



わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1~40.0mm	25.1~30.0mm	25.0mm以下	合計
第8地域	0.0% (0m)	0.2% (60m)	0.5% (120m)	99.3% (24,156m)	100% (24,336m)

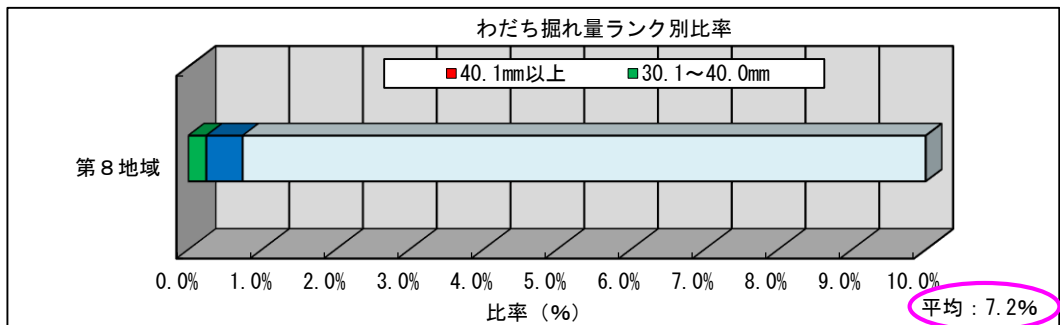
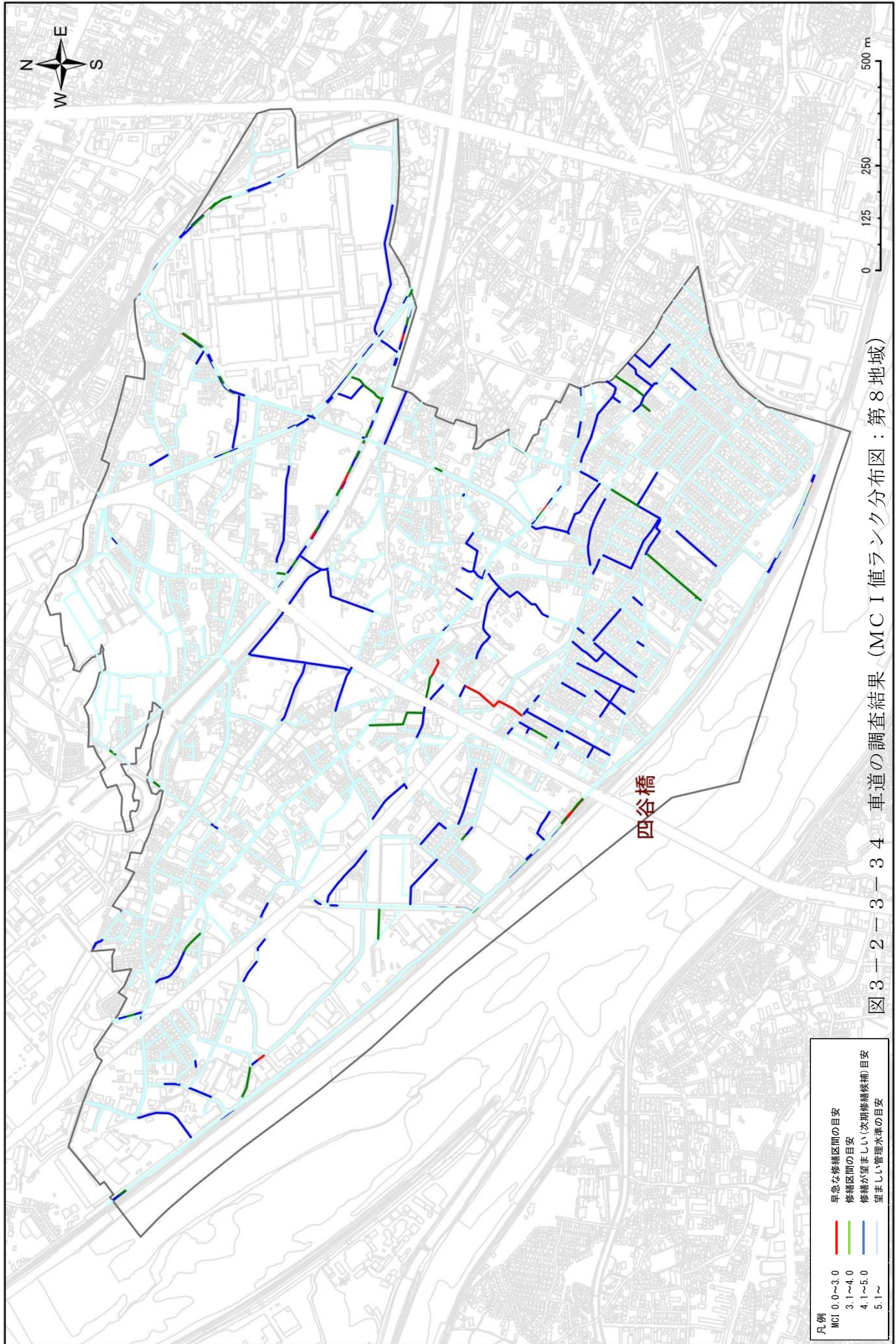


図3-2-3-33 地域別・MC I 値・路面性状
2要素ランク別割合比較（第8地域）

3-2-3

インフラの整備状況（車道）



3.2.4 歩道・植樹ます

歩道・植樹ますの全体数量及び状況は次のとおりです。

3.2.4.1 全体数量

歩道、植樹ますは、交差点で区切られる街区単位で調査しました。

表 3-2-4-1 歩道・植樹ますの調査数量一覧

調査方法	調査延長(m) ^{※1}	調査面積(m ²)	調査項目	評価単位(区間)	備考
目視	173,502	489,158	舗装：ひび割れ、段差、 ポットホール ^(※2) 、種別 植樹ます：根上がり、本数、 グレーチング ^(※3) 有無、 種別	交差点 街区	平均歩道幅員 ^(※4) 幹線道路 3.03m 一般市道 2.46m
合計		489,158		1,923	

※1 実測した調査延長は管理数量と異なります。

※2 舗装表面の局所的な小穴をいい、ひび割れに起因する剥離等が原因となって生じます。

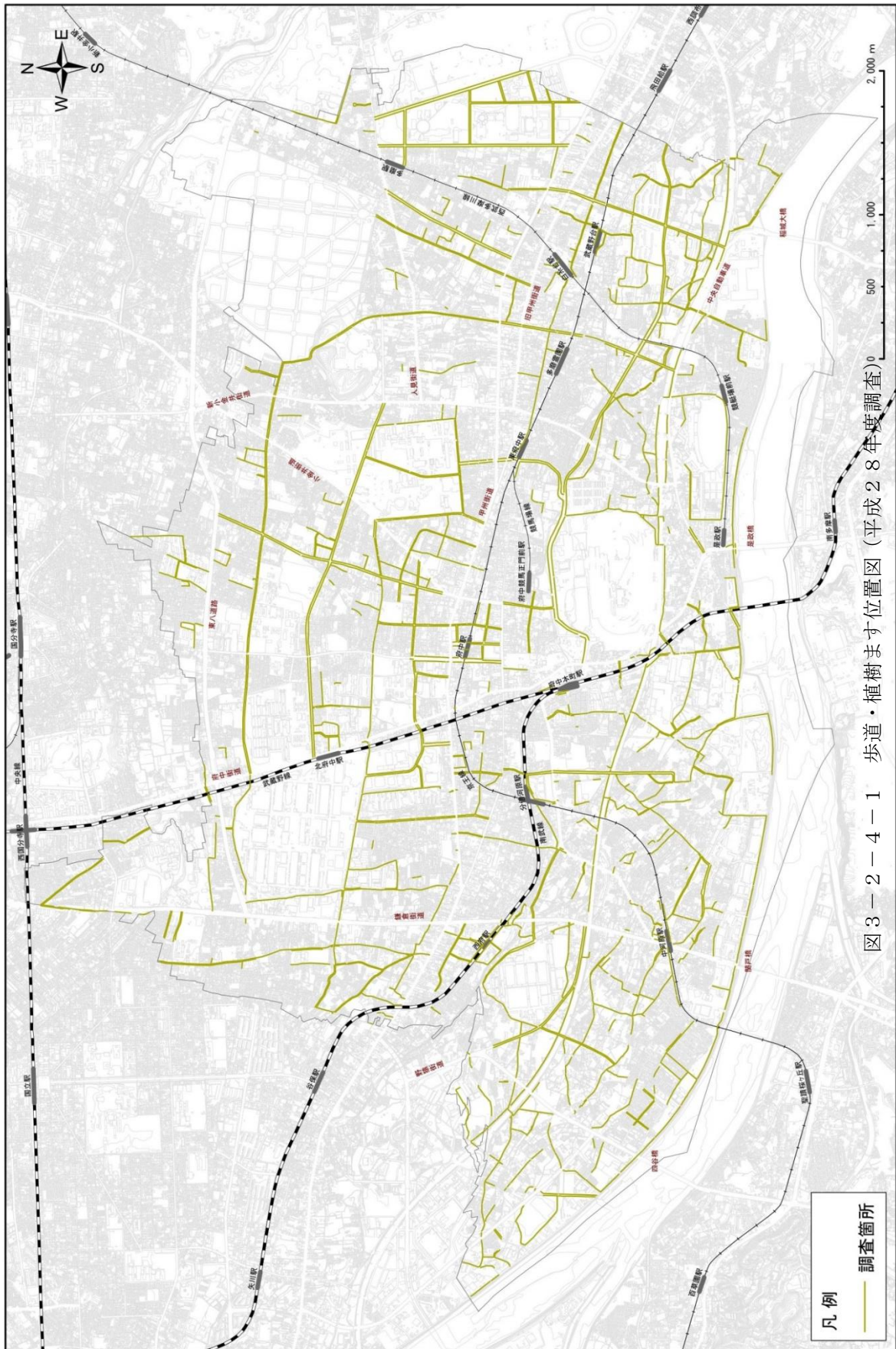
※3 道路の表面排水を目的として側溝におく蓋(縁石)のことで、歩道や植樹ますにも使われま
す。

※4 平均幅員は、「市の道路管理に関する調書：平成28年3月31日現在」から算出しました。

3.2.4.2 歩道・植樹ます位置

3-2-4

インフラの整備状況(歩道・植樹ます)



3.2.4.3 歩道・植樹ますの整備状況

3-2-4

インフラの整備状況(歩道・植樹ます)

(1) 調査項目及び解析手法

1) 調査項目

歩道調査における調査項目は、段差によるつまずきの可能性を判断することを目的とし、次のとおりとしました。

① 舗装状況

ひび割れ、段差、ポットホール

② 植樹状況

根上がり、本数

また、歩道状況の基礎情報として、舗装種別、植樹ますの種別(グレーチングの有無、素材)について確認を行いました。

2) 調査項目の対象判定

調査では、次の基準で判定と記録をしました。

① 歩道

- 切り下げ部のコンクリート舗装は調査しない。
- 歩行するための支障程度を判定する。
- 道路台帳と現地に相違がある場合は、簡易に記録する。

② 植樹ます

- 「高木」、「中木」の本数や樹種は調査しない。
- 「低木」、「花株」は調査しない。
- 「切り株」がある場合は記録する。

3) 調査箇所の設定

道路台帳附図により、調査箇所の位置を確認しました。

4) 現地調査

調査員による徒歩調査を基本とし、歩道状況の評価は交差点街区(交差点巻込みごと)を1単位区間としました。

(2) 評価方法と要補修判定基準

1) 評価方法

調査結果の評価方法は、次に示す3つのランクとしました。

- 大 : 転倒など、歩行や通行に問題があると評価した箇所
- 小 : 根上がり等あるが、歩行や通行には問題がないと評価した箇所
- 無 : 問題がないと評価した箇所

根上がりの判定例は次のとおりです。



図3-2-4-2 根上がり判定例 (左:小、右:無)

2) 要補修判定基準

歩道や植樹ますにおいて、補修を必要とする判定基準は、次のとおりです。

表 3-2-4-2 歩道の要補修判定基準

歩道劣化の程度	劣化判定	備 考
段差、穴などの劣化箇所を跨ぐ程度	大	舗装材の流出や穴がある。
歩行に支障がない程度	小	30cm以下のひび割れを許容する。
ベビーカーなどの手押し車や杖利用の歩行に支障がない程度	なし	沿道からの流出土堆積や縁石の擦り減り、破損は判定に影響しない。

表 3-2-4-3 植樹ますの要補修判定基準

植樹ます劣化の程度	劣化判定	備 考
植樹ます原型が認められない	大	根上がり等の進行により、植樹ますの破損が顕著である。
植樹ますの縁石やグレーチングがゆがんでいる	小	縁石やグレーチングが所定の位置から若干ズレているが、機能は有している。
街路樹による破損が認められない	なし	縁石やグレーチングが所定の位置に収まっている。

(3) 歩道・植樹ます調査結果

歩道・植樹ますは、現地調査により現状を段階評価しました。

【歩道・植樹ますの整備状況】

- 歩道の劣化は若干進んでいます。また、前回調査で劣化していると判定された区間は前回同様の結果でした。ただし、それらの区間は幹線道路と比較して交通量の低い一般市道が大半です。
- 植樹ますの劣化の多くは、街路樹が成長したことによる根上がりが原因と考えられます。特に街路樹がサクラの箇所での根上がりが目立ちます。

1) 歩道調査結果

歩道の劣化状況調査結果は、次のとおりです。

表3-2-4-4 歩道劣化状況の調査結果

劣化判定	単位	平成28年度				前回調査(平成23年度)		
		区間数	延長(m)	面積(m ²)	摘要	区間数	延長(m)	面積(m ²)
「大」	区間	8	1,063	2,643	1-307、2-119、4-342、4-384、6-265、6-322、すずかけ通り、多摩川通り	5	545	1,397
「小」	区間	151	23,190	57,464		93	11,835	32,142
「なし」	区間	1,764	149,249	418,203		1,757	158,624	439,167
合計		1,923	173,502	478,310		1,855	171,005	472,707

2) 植樹ます調査結果

植樹ますの状況調査結果は、次のとおりです。

表3-2-4-5 植樹ます劣化状況の調査結果

劣化判定	単位	平成28年度				前回調査(平成23年度)		
		区間数	劣化箇所数	グレーチング材質(区間数)	摘要	区間数	劣化箇所数	グレーチング材質(区間数)
「大」	区間	10	17	鉄 : 4 なし : 6	1-96、1-307、1-355、2-234、6-265、6-351、「桜通り」の2か所、「多摩川通り」の5か所、「中央道側道」、「多磨霊園南参道」の3か所	7	7	鉄 : 2 なし : 5
「小」	区間	151	124	P : 2※ 鉄 : 23 なし : 126		65	112	P : 2※ 鉄 : 17 なし : 46
「なし」	区間	1,762	----	P : 47※ 鉄 : 212 なし : 1,503		1,783	----	P : 47※ 鉄 : 212 なし : 1,524
合計		1,923	141	P : 49※ 鉄 : 239 なし : 1,635		1,855	119	P : 49※ 鉄 : 231 なし : 1,575

※ P=コンクリート盤

(4) 補修対策箇所

劣化判定が「大」と「小」の区間を補修対策箇所とする劣化状況は、次のとおりです。

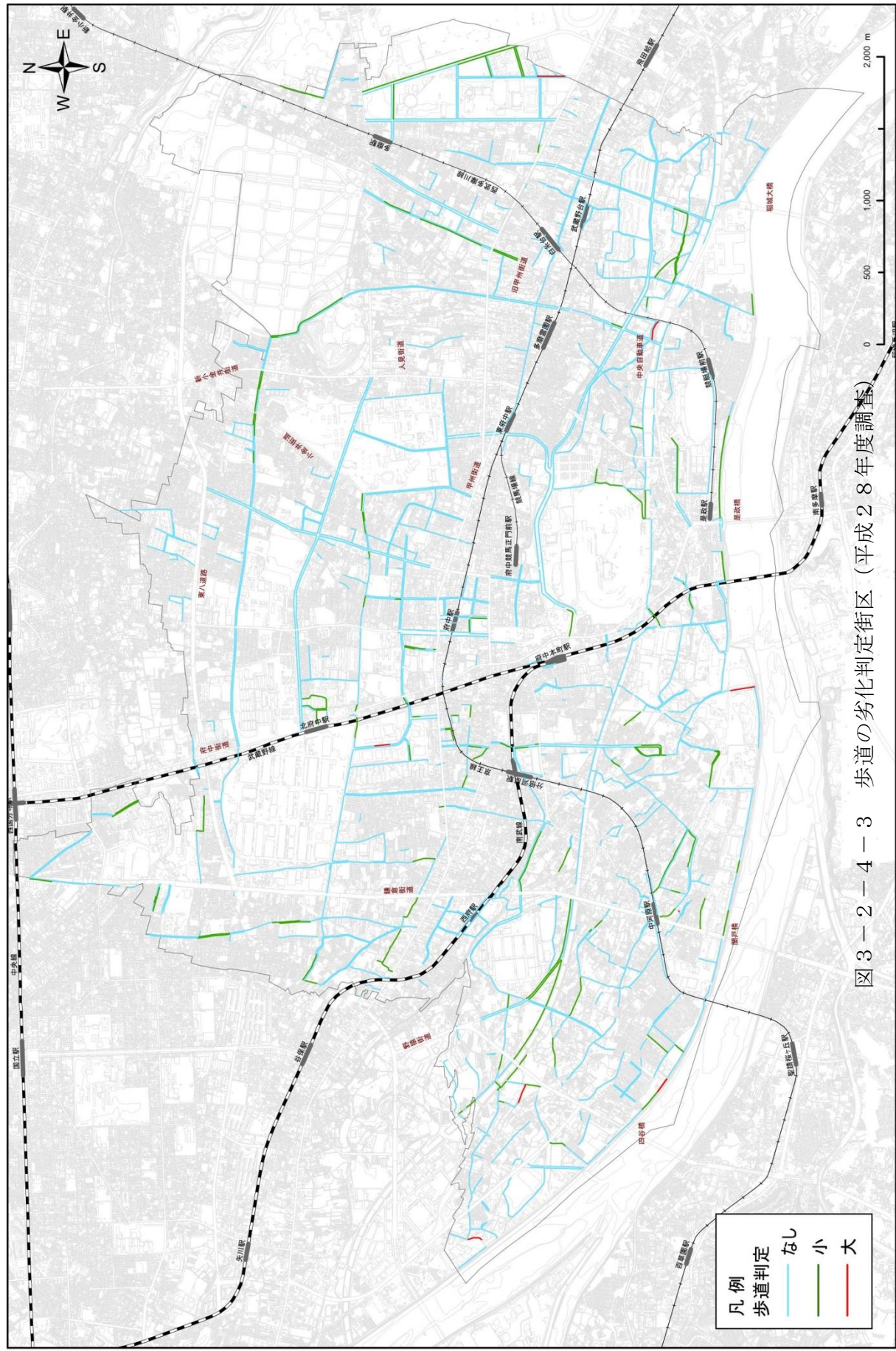
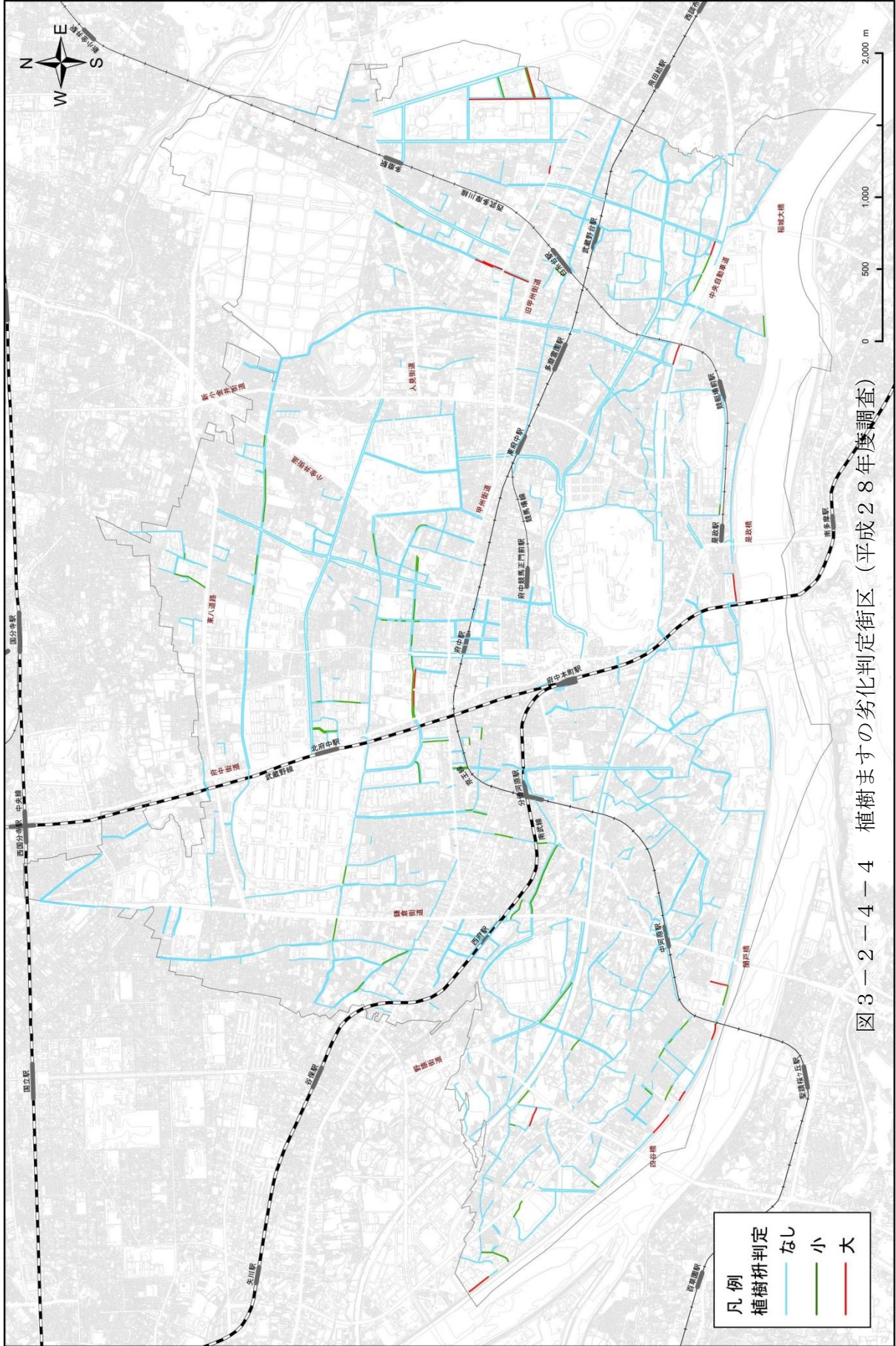
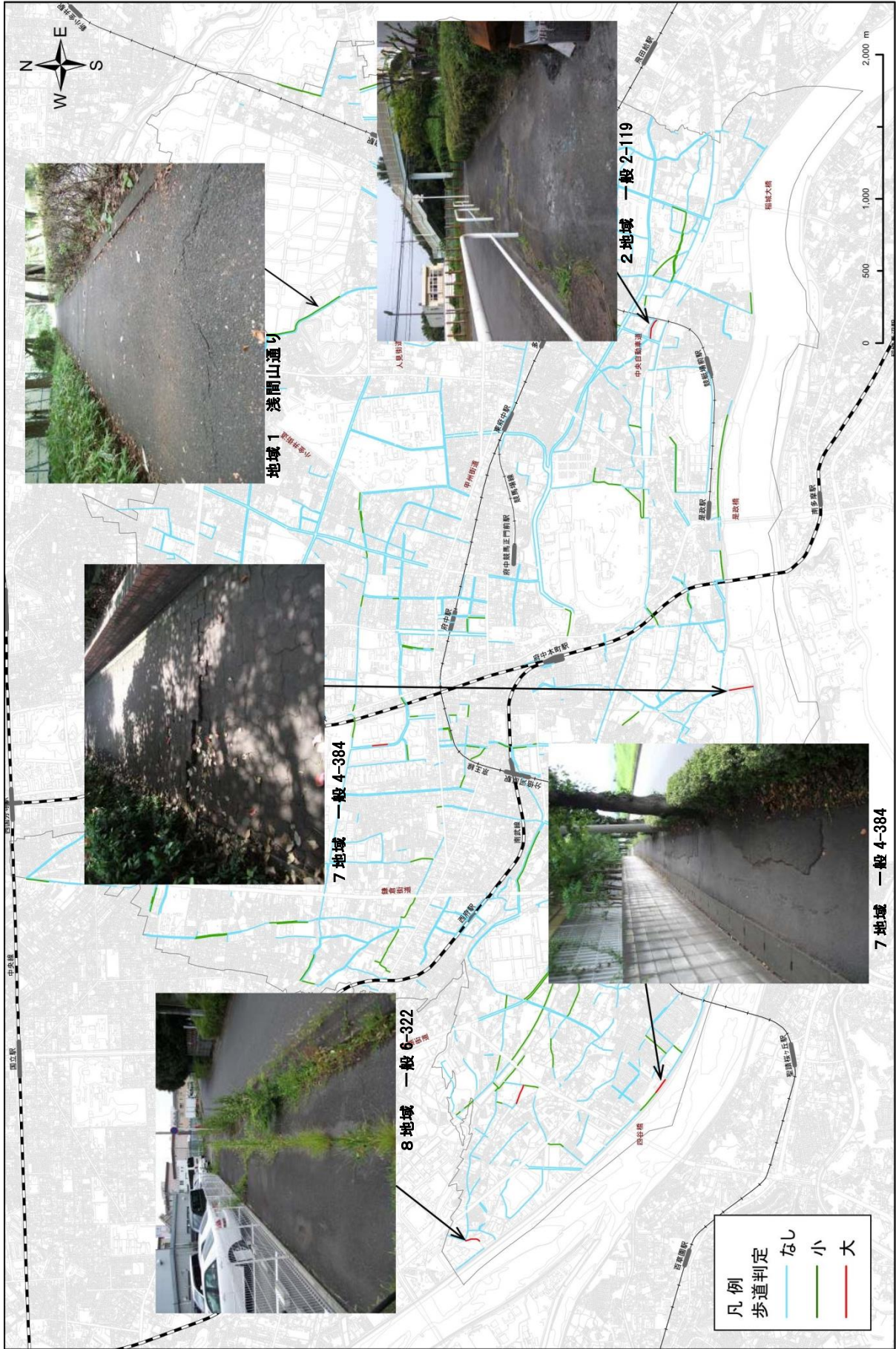


図3-2-4-3 歩道の劣化判定街区(平成28年度調査)





3-2-4

インフラの整備状況(歩道・植樹ます)



図 3-2-4-6 植樹ますの劣化箇所 (平成 28 年度調査)

3.2.5 案内標識

案内標識の全体数量及び状況は次のとおりです。

3.2.5.1 全体数量

案内標識は、平成2年11月に策定した『府中市サイン基本計画』のデザインに従って設置された新型標識が401基と、それ以前のデザインの旧型標識が138基あります。また、そのほかに個別に設置した施設案内標識が294基あります。

表3-2-5-1 案内標識の内訳

案内標識の分類	基数(基)	全体に対する割合(%)	備考
新型案内標識	401	48.14%	府中市サイン基本計画(平成2年11月策定)に準拠
旧型案内標識	138	16.57%	府中市サイン基本計画以前のデザイン
その他案内標識	294	35.29%	上記に含まれないデザイン
合計	833	100%	



図3-2-5-1 案内標識の例
(新型)



図3-2-5-2 案内標識の例
(旧型：道路名称)



図3-2-5-3 案内標識の例
(旧型：施設名称)



図3-2-5-4 案内標識の例
(その他)

3.2.5.2 案内標識位置

3-2-5

インフラの整備状況（案内標識）

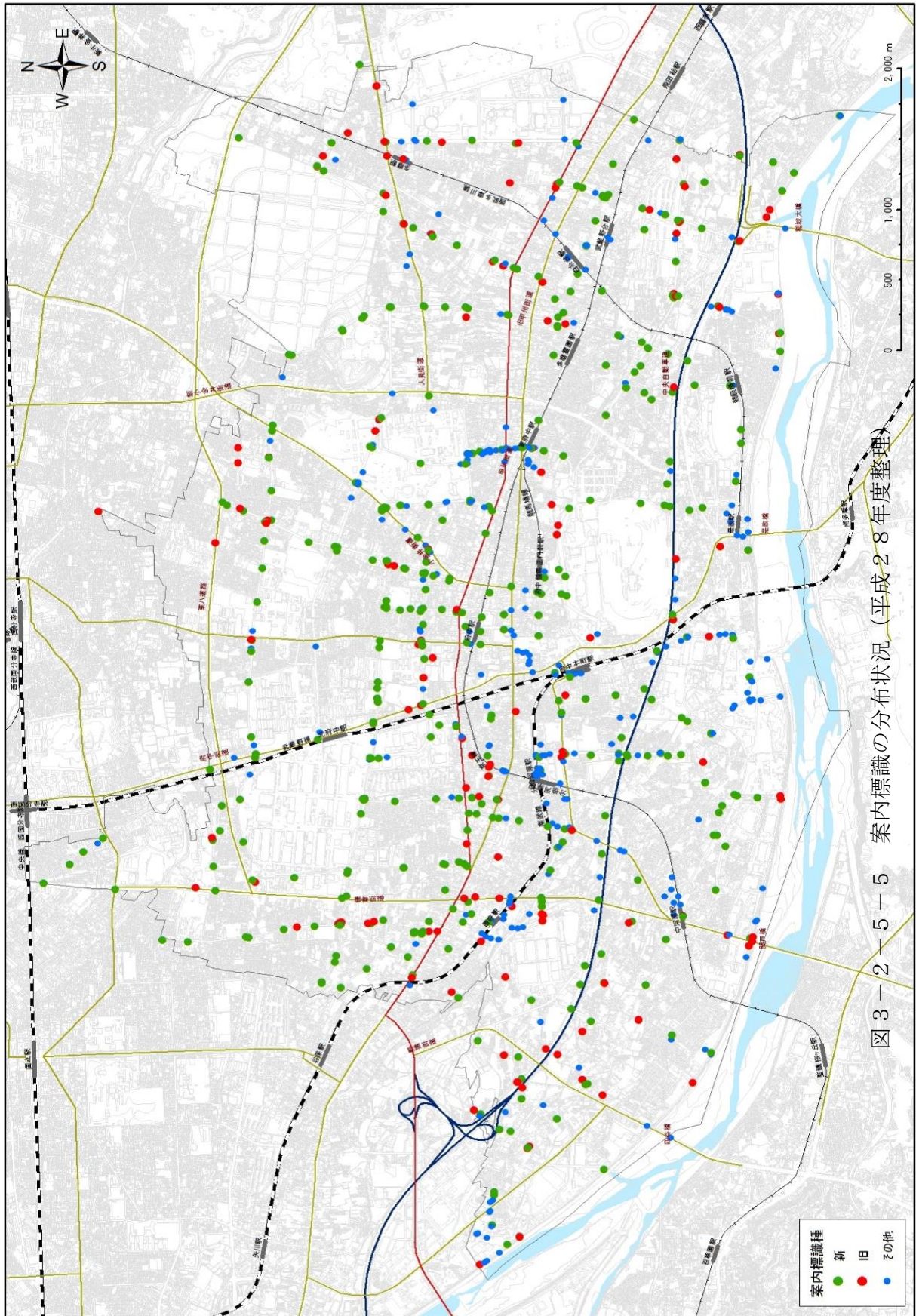
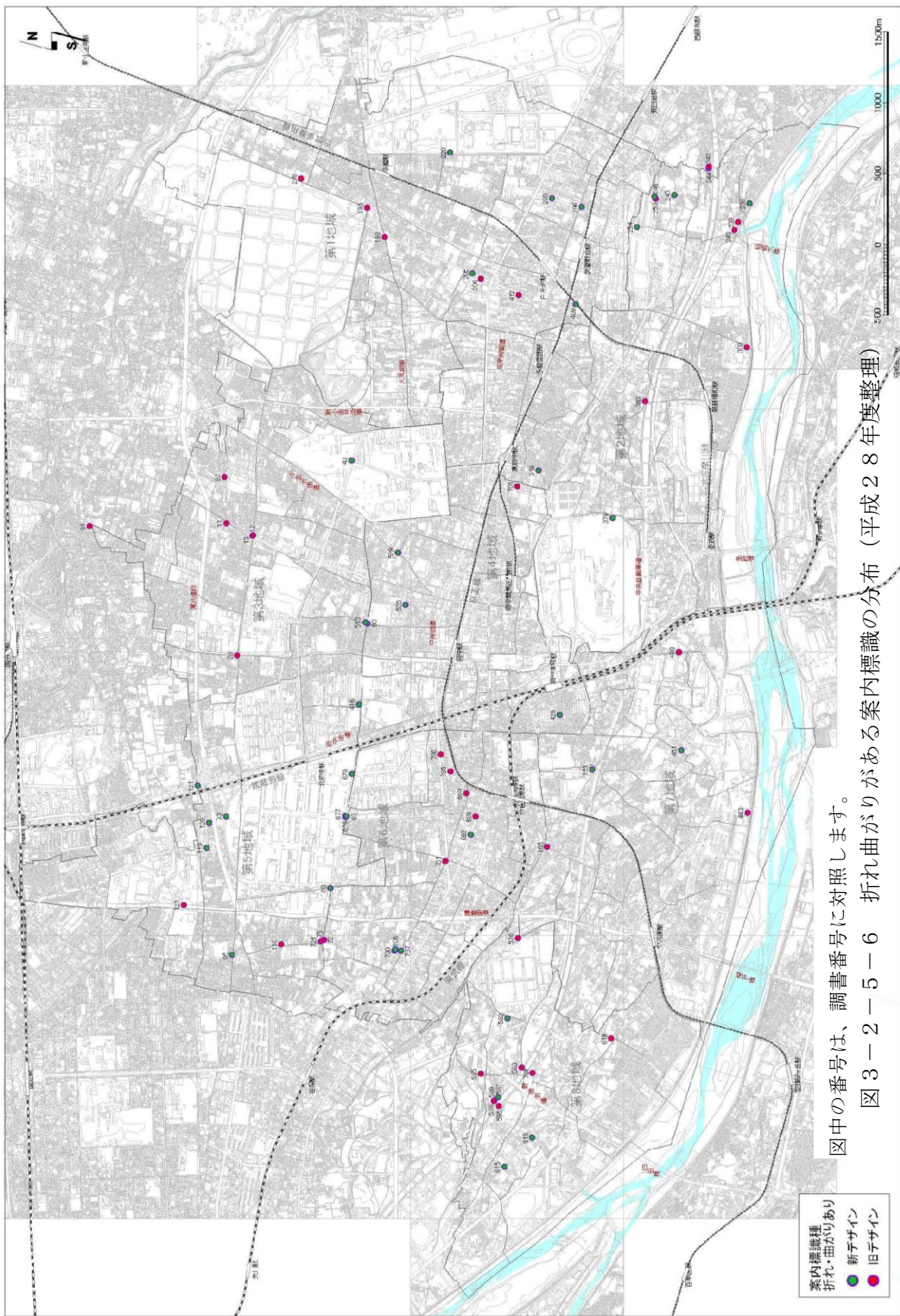


図3-2-2-5-5 案内標識の分布状況（平成28年度整理）



3.2.5.3 案内標識の整備状況

- 平成2年11月に策定した『府中市サイン基本計画』のサイン計画に従って設置された案内標識と旧型案内標識が混在している状況です。
- 支柱の破損はありませんが、78基に折れや曲がり等の看板破損があります。

3.2.5.4 地域別集計

各地域の案内標識の設置状況は次のとおりです。また、損傷のうち「折れ・曲がり」の看板破損がある案内標識は地域ごとに10基程度ずつあります。

表3-2-5-2 地域ごとの案内標識基数

地域区分	全案内標識（基）			うち、折れ・曲がりがある標識（基）		
	新型案内標識	旧型案内標識	その他	新型案内標識	旧型案内標識	その他
第1地域	53	19	29	5	5	0
第2地域	68	24	58	7	6	0
第3地域	48	13	19	4	6	0
第4地域	63	13	42	4	1	0
第5地域	22	4	3	9	4	0
第6地域	74	31	63	4	6	0
第7地域	50	15	54	2	3	0
第8地域	23	19	26	4	8	0
全体	401	138	294	39	39	0

3-2-5

インフラの整備状況（案内標識）

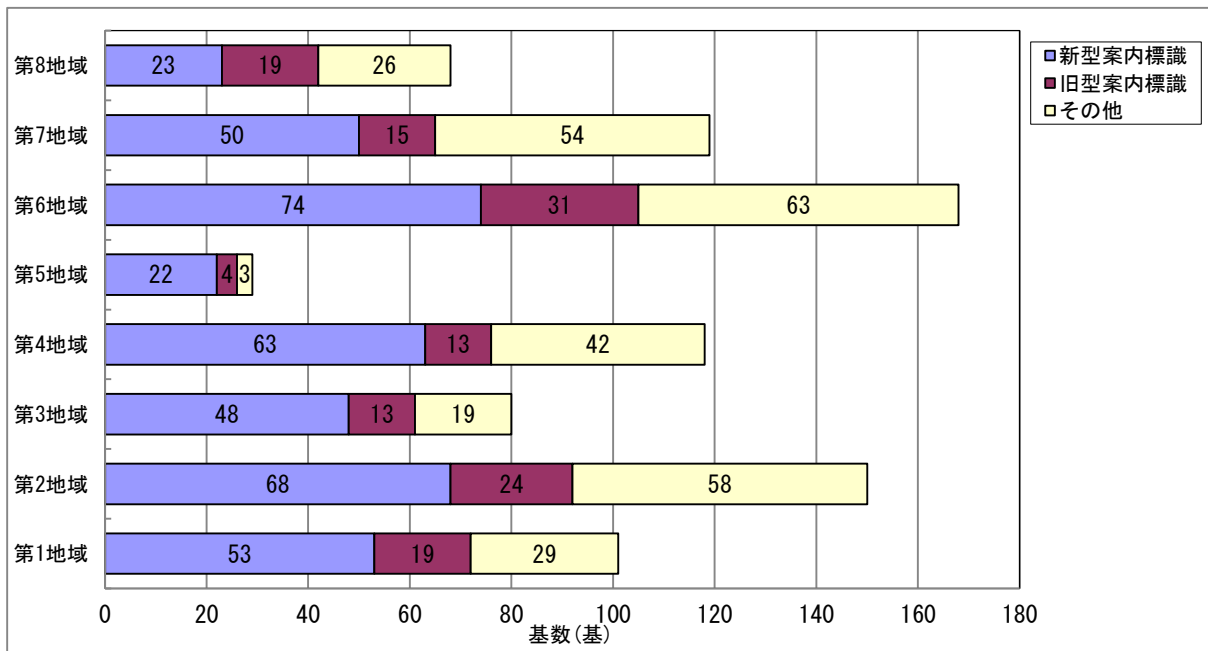


図 3 - 2 - 5 - 7 地域ごとの案内標識数

3.2.6 警戒標識・その他標識

警戒標識・その他標識の全体数量及び状況は、次のとおりです。

3.2.6.1 全体数量

警戒標識・その他標識は、市が所有している標識台帳内に記録されています。その他標識とは、制限標識、遊歩道案内板、安眠標識、路面凍結注意標識、すべり止め用砂案内標識です。

表 3 - 2 - 6 - 1 警戒標識・その他標識基数

分類		基数 (基)	全体に対する割合 (%)	備考
警戒標識	警戒標識	283	69.88%	
その他標識	制限標識	37	9.14%	
	遊歩道案内板	19	4.69%	
	安眠標識	10	2.47%	
	路面凍結注意標識	40	9.88%	
	すべり止め用砂案内標識	16	3.95%	
合計		405	100%	



図 3 - 2 - 6 - 1 警戒標識の例



図 3 - 2 - 6 - 2 制限標識の例



図 3 - 2 - 6 - 3 安眠標識の例

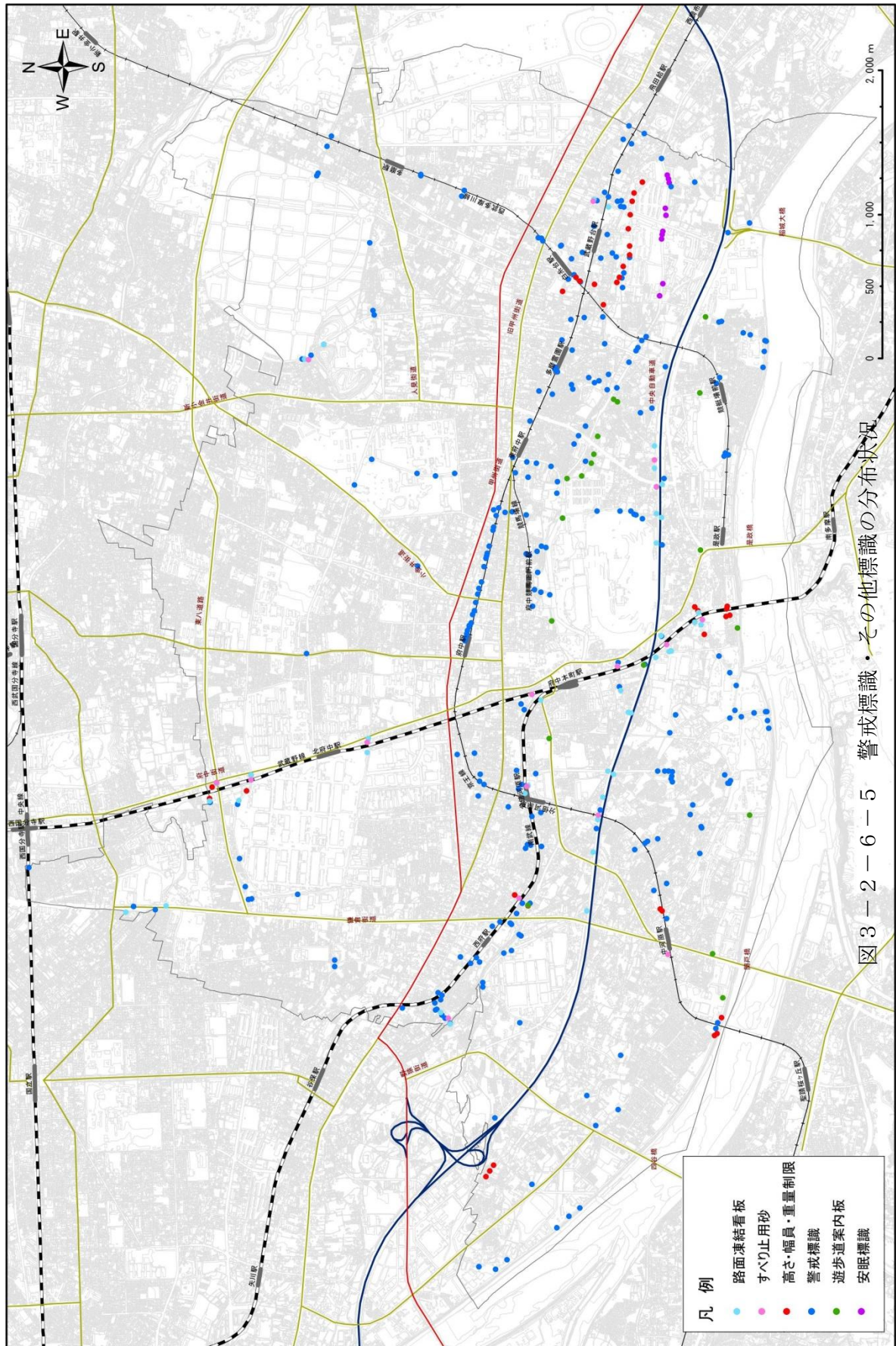


図 3 - 2 - 6 - 4 路面凍結注意標識

3.2.6.2 警戒標識・その他標識位置

3-2-6

インフラの整備状況(警戒標識・その他標識)



3.2.6.3 警戒標識・その他標識の整備状況

府中市標識台帳に記載されている警戒標識及びその他標識については、最も古い設置年が昭和50年です。最新設置年は平成6年となっており、その後台帳の更新は実施されていません。

3.2.6.4 地域別集計

警戒標識は、各地域に設置されています。また、路面凍結看板やすべり止め用砂案内は、鉄道を交差する路線に設置されています。地域別では、第2地域が101基、第7地域が79基と、市の南側の地域に多く設置されています。

表3-2-6-2 地域ごとの案内標識基数

警戒標識・その他標識(基)						
地域区分	警戒標識	制限標識	遊歩道案内板	安眠標識	路面凍結看板	すべり止め用砂案内
第1地域	48	15	0	0	4	1
第2地域	67	3	11	10	8	2
第3地域	8	2	0	0	2	4
第4地域	41	0	1	0	3	1
第5地域	12	2	0	0	5	0
第6地域	41	1	2	0	4	3
第7地域	46	9	5	0	14	5
第8地域	20	5	0	0	0	0
全体	283	37	19	10	40	16

3.2.7 街路灯

街路灯の全体数量及び状況は、次とおりです。

3.2.7.1 全体数量

府中市が管理する街路灯は、17,644基です。

(1) 照明形式

街路灯は、昭和59年度～昭和61年度に多く設置されています。
市内の街路灯は、交通安全灯と防犯灯に分類されます。

表3-2-7-1 街路灯 照明形式

交通安全灯	防犯灯	合計
7,188 基	10,456 基	17,644 基

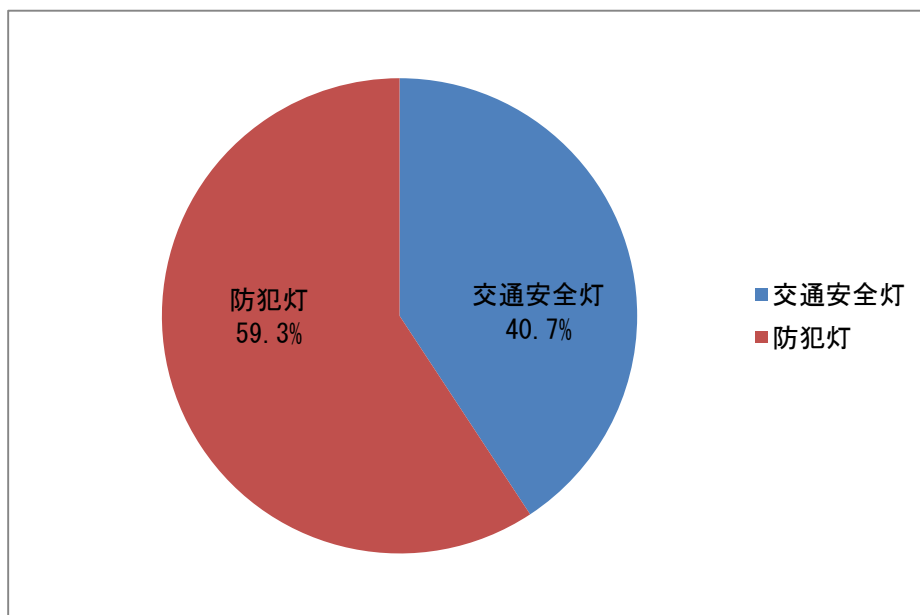


図3-2-7-1 街路灯の照明形式の内訳

（2） 灯柱形式

街路灯は、電力会社や電話会社の電柱などに共架している「共架柱」と、独立した柱に設置している「独立柱」があります。

なお、灯具の設置は、第1地域と第2地域でそれぞれ全体の17%を占めます。

表3-2-7-2 地域ごとの設置形式の内訳

地域区分	共架柱（基）	独立柱（基）	合計	割合
第1地域	2,152	703	2,855	17.01%
第2地域	2,211	688	2,899	17.27%
第3地域	1,933	597	2,530	15.07%
第4地域	1,159	725	1,884	11.22%
第5地域	983	229	1,212	7.22%
第6地域	1,357	402	1,759	10.48%
第7地域	1,796	440	2,236	13.32%
第8地域	1,254	160	1,414	8.42%
全体	12,845	3,944	16,789	100.00%

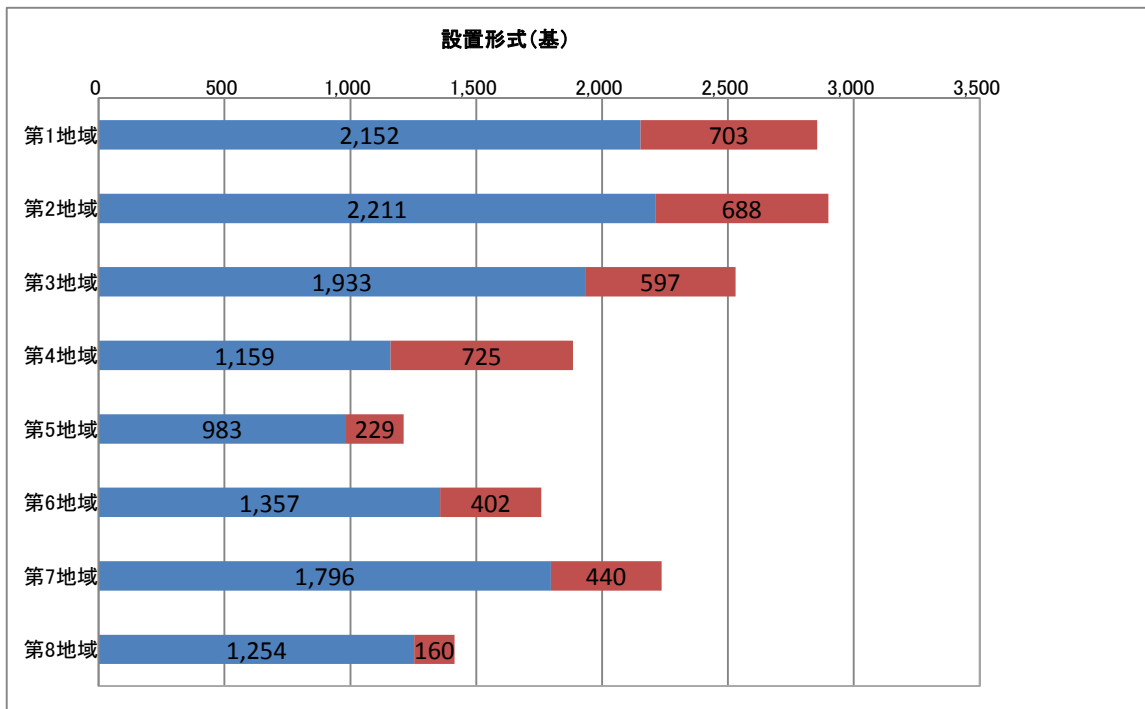


図3-2-7-3 地域ごとの設置形式の内訳

街路灯の灯柱形式は、全体の7%である1,196基が鉄柱です。また全体の4%である728基がコンクリート柱です。ただし、全体の88%である14,658基の灯柱形式が不明です。

3-2-7

表3-2-7-3 灯柱形式の内訳

地域区分	設置形式	合計	コンクリート柱 (基)	鉄柱(基)	木柱(基)	不明(基)
全 体	共架柱	12,845	724	1,015	207	10,899
	独立柱	3,944	4	181	0	3,759
	合計	16,789	728	1,196	207	14,658

3.2.7.2 街路灯の整備状況

- 街路灯の設置年に関する資料は保管されていません。
- 平成24年度から、年平均4,080基の街路灯の球交換をしています。

(1) 球交換実績

平成24年度からの5年間の街路灯の球交換の実績は、次のとおりです。

表3-2-7-4 街路灯 球交換実績

年 度	交通安全灯		防犯灯		合 計 (基)
	個 数	割 合	個 数	割 合	
平成24年度	798	20.34%	3,126	79.66%	3,924
平成25年度	1,030	25.63%	2,989	74.37%	4,019
平成26年度	859	19.73%	3,495	80.27%	4,354
平成27年度	783	21.09%	2,929	78.91%	3,712
平成28年度	980	22.32%	3,410	77.68%	4,390
年平均 交換個数	890	21.81%	3,190	78.19%	4,080
5年間の合計個数	4,450	21.81%	15,949	78.19%	20,399

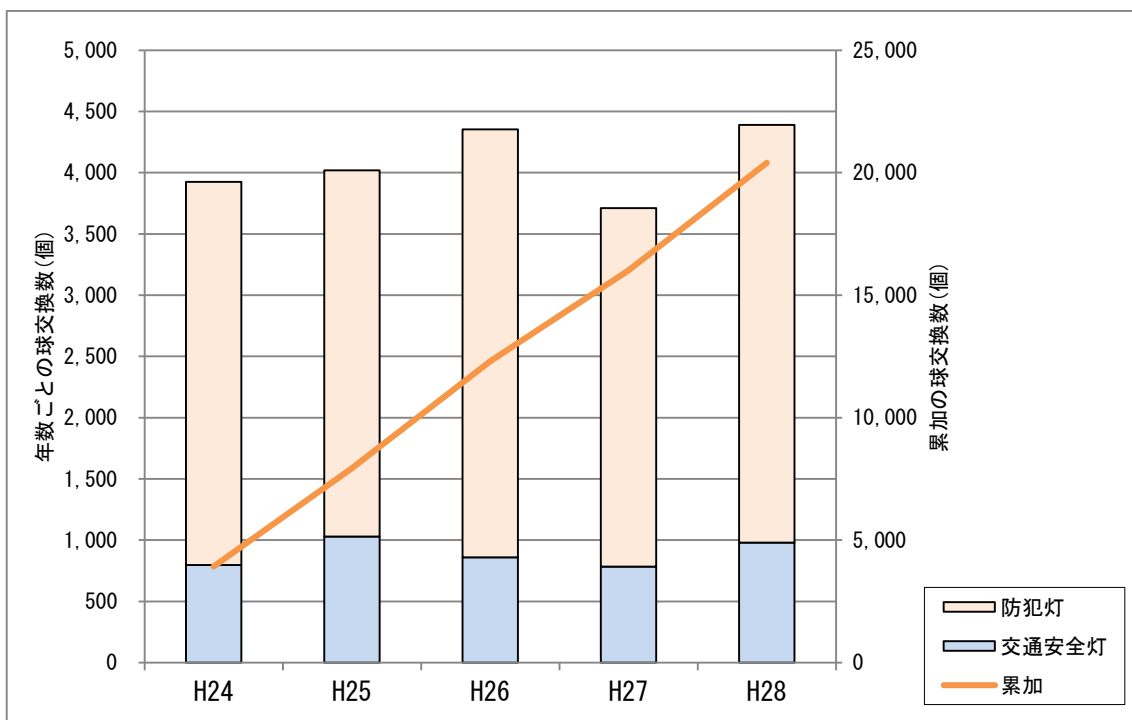


図3-2-7-4 街路灯 球交換実績

(2) 照明形式

1) 照明形式ごとの球交換数と年数

照明形式ごとに球交換数と年数は、次のとおりです。

① 蛍光灯

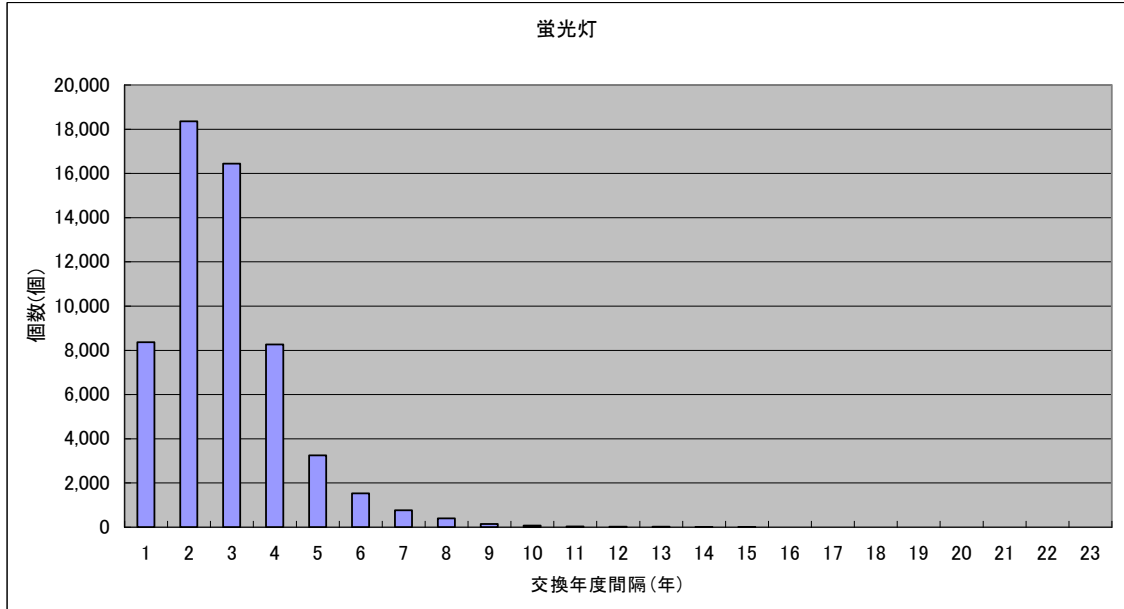


図 3-2-7-5 蛍光灯の球交換年度間隔

② 水銀灯

水銀灯は、1年～8年で交換しています。

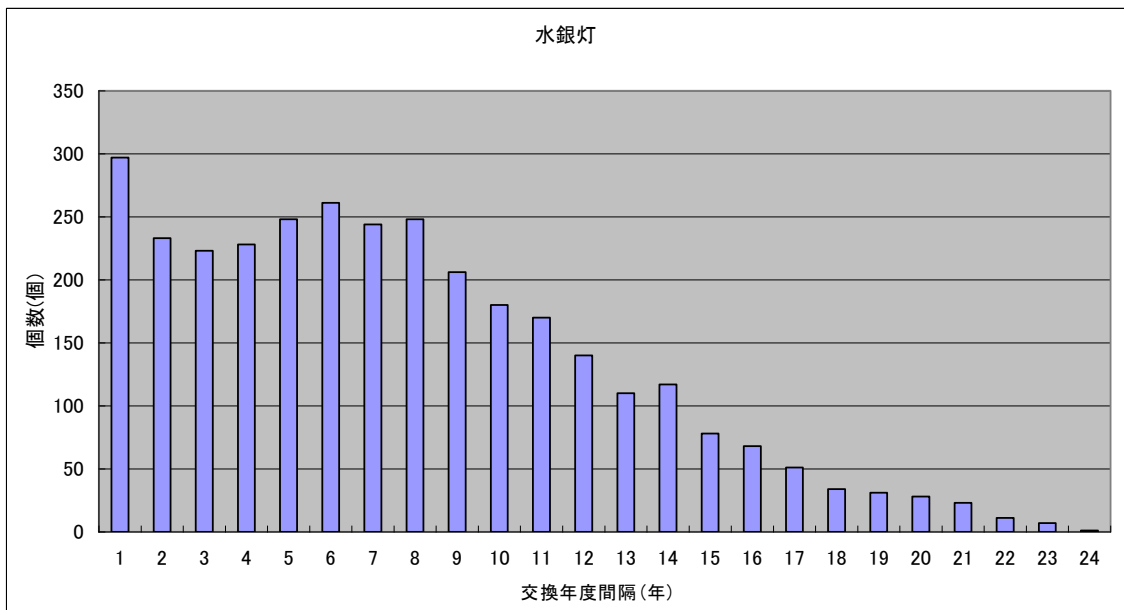


図 3-2-7-6 水銀灯の球交換年度間隔

③ 白熱球

白熱球は該当機器が少なく、「その他」として分類しています。

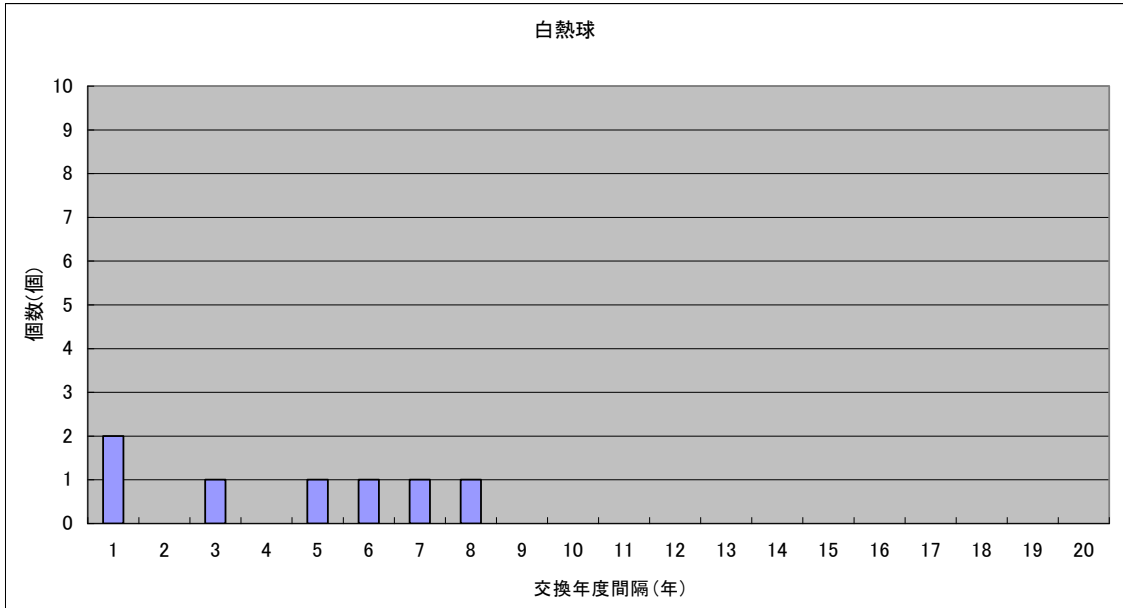


図 3-2-7-7 白熱球の球交換年度間隔

④ ナトリウムランプ

ナトリウムランプは、1年～5年で交換しています。

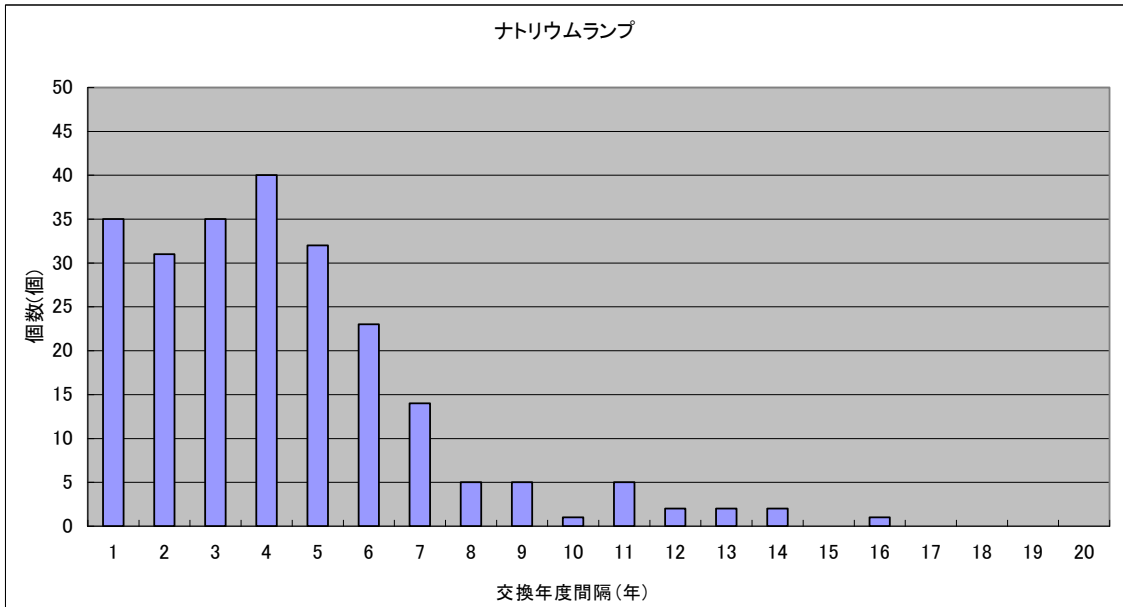


図 3-2-7-8 ナトリウムランプの球交換年度間隔

⑤ メタルハライドランプ

メタルハライドランプは、1年～3年で交換しています。

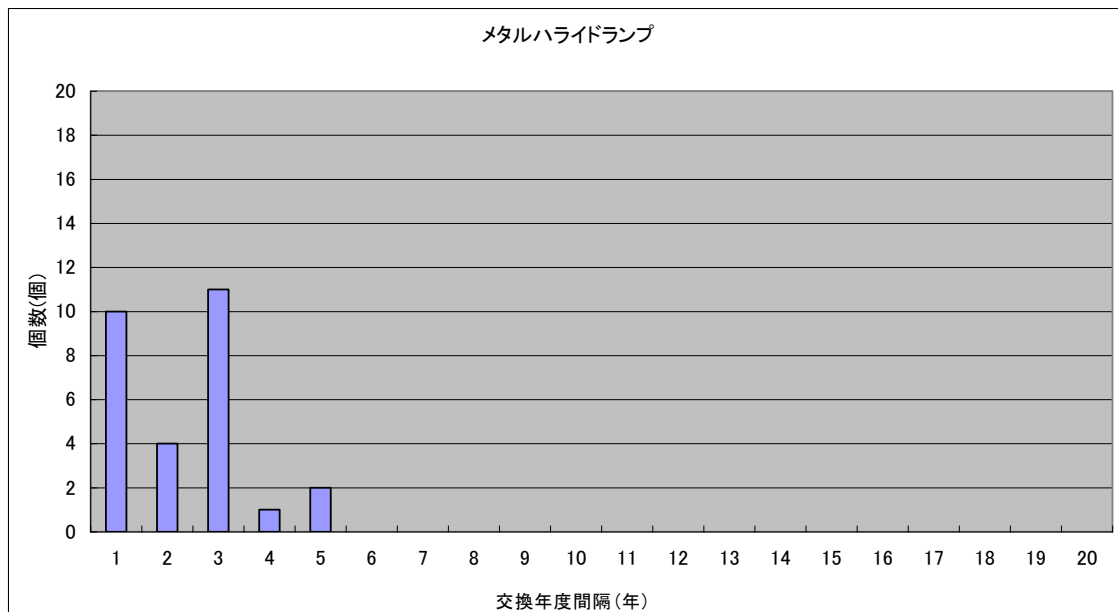


図 3-2-7-9 メタルハライドランプの球交換年度間隔

⑥ シールドビーム

シールドビームは、1年～3年で交換しています。

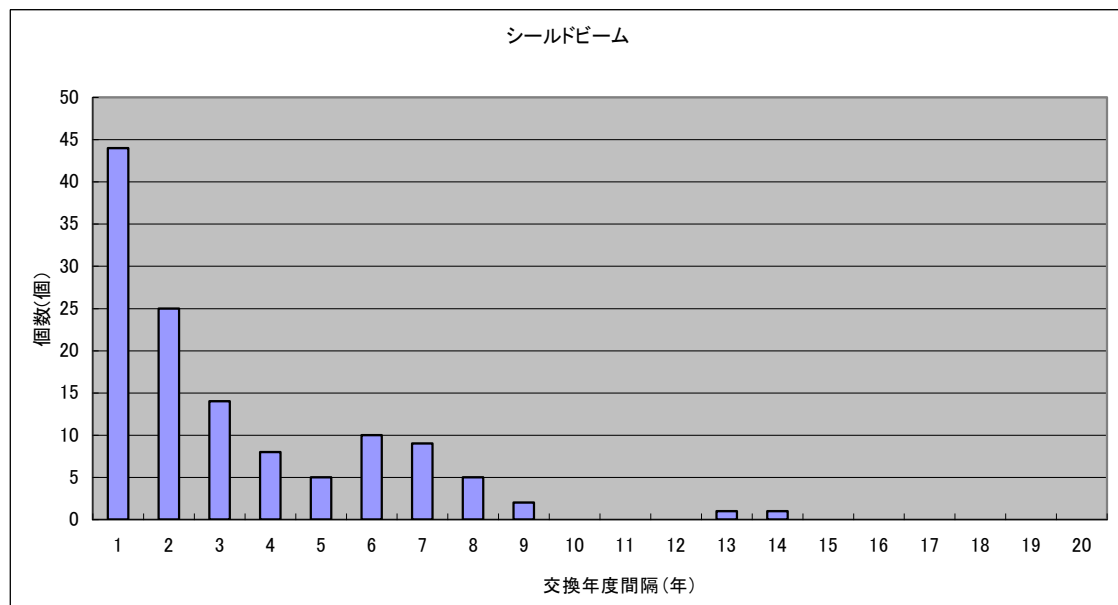


図 3-2-7-10 シールドビームの球交換年度間隔

⑦ 赤色回転灯

赤色回転灯は、1年～2年で交換しています。また、赤色回転灯は緊急時を知らせることを目的とし、道路を照らす役割とは異なります。

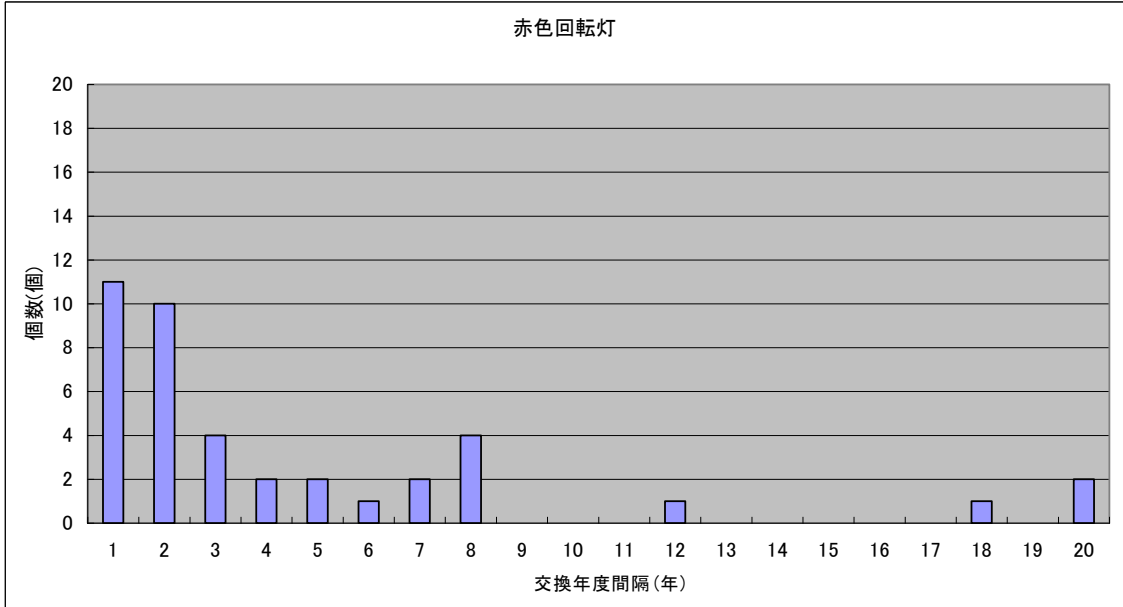


図 3-2-7-1 1 赤色回転灯の球交換年度間隔

⑧ 自動点滅器

自動点滅器は、3年～6年で交換しています。

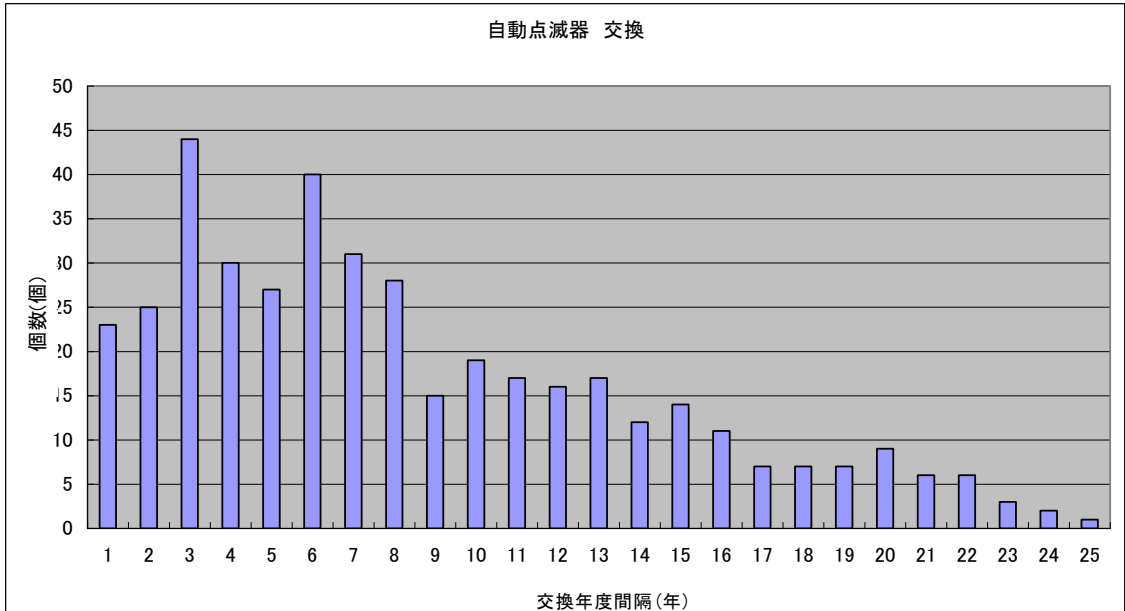


図 3-2-7-1 2 自動点滅器の球交換年度間隔

3.2.7.3 地域別集計

(1) 第1地域

第1地域は、2,152基が共架柱で全体の75%を占めます。また、共架柱の中では、全体の6%である144基が鉄柱です。

表3-2-7-6 第1地域の灯柱形式の内訳

地域区分	設置形式	合計	コンクリート柱 (基)	鉄柱(基)	木柱(基)	不明(基)
第1地域	共架柱	2,152	90	144	28	1,890
	独立柱	703	2	80	0	621
	合計	2,855	92	224	28	2,511

(2) 第2地域

第2地域は、2,211基が共架柱で全体の76%を占めます。また、共架柱の中では、全体の10%である228基が鉄柱です。

表3-2-7-7 第2地域の灯柱形式の内訳

地域区分	設置形式	合計	コンクリート柱 (基)	鉄柱(基)	木柱(基)	不明(基)
第2地域	共架柱	2,211	106	228	27	1,850
	独立柱	688	0	30	0	658
	合計	2,899	106	258	27	2,508

(3) 第3地域

第3地域は、1,933基が共架柱で全体の76%を占めます。また、共架柱の中では、全体の9%である176基が鉄柱です。

表3-2-7-8 第3地域の灯柱形式の内訳

地域区分	設置形式	合計	コンクリート柱 (基)	鉄柱(基)	木柱(基)	不明(基)
第3地域	共架柱	1,933	144	176	67	1,546
	独立柱	597	1	20	0	576
	合計	2,530	145	196	67	2,122

(4) 第4地域

第4地域は、1,159基が共架柱で全体の62%を占めます。また、共架柱の中では、全体の10%である117基が鉄柱です。

表3-2-7-9 第4地域の灯柱形式の内訳

地域区分	設置形式	合計	コンクリート柱 (基)	鉄柱(基)	木柱(基)	不明(基)
第4地域	共架柱	1,159	56	117	20	966
	独立柱	725	1	22	0	702
	合計	1,884	57	139	20	1,668

(5) 第5地域

第5地域は、983基が共架柱で全体の81%を占めます。また、共架柱の中では、全体の10%である99基がコンクリート柱です。

表3-2-7-10 第5地域の灯柱形式の内訳

地域区分	設置形式	合計	コンクリート柱 (基)	鉄柱(基)	木柱(基)	不明(基)
第5地域	共架柱	983	99	83	34	767
	独立柱	229	0	0	0	229
	合計	1,212	99	83	34	996

(6) 第6地域

第6地域は、1,357基が共架柱で全体の77%を占めます。また、共架柱の中では、全体の6%である91基が鉄柱です。

表3-2-7-11 第6地域の灯柱形式の内訳

地域区分	設置形式	合計	コンクリート柱 (基)	鉄柱(基)	木柱(基)	不明(基)
第6地域	共架柱	1,357	86	91	18	1,162
	独立柱	402	0	15	0	387
	合計	1,759	86	106	18	1,549

(7) 第7地域

第7地域は、1,796基が共架柱で全体の80%を占めます。また、共架柱の中では、全体の6%である112基がコンクリート柱です。

表3-2-7-12 第7地域の灯柱形式の内訳

地域区分	設置形式	合計	コンクリート柱 (基)	鉄柱(基)	木柱(基)	不明(基)
第7地域	共架柱	1,796	112	104	11	1,569
	独立柱	440	0	7	0	433
	合計	2,236	112	111	11	2,002

(8) 第8地域

第8地域は、1,254基が共架柱で全体の89%を占めます。また、共架柱の中では、全体の5%である72基が鉄柱です。

表3-2-7-13 第8地域の灯柱形式の内訳

地域区分	設置形式	合計	コンクリート柱 (基)	鉄柱(基)	木柱(基)	不明(基)
第8地域	共架柱	1,254	31	72	2	1,149
	独立柱	160	0	7	0	153
	合計	1,414	31	79	2	1,302

3.2.8 道路反射鏡

道路反射鏡の全体数量及び状況は、次のとおりです。

3.2.8.1 全体数量

市が管理する道路反射鏡は、3, 113基です。

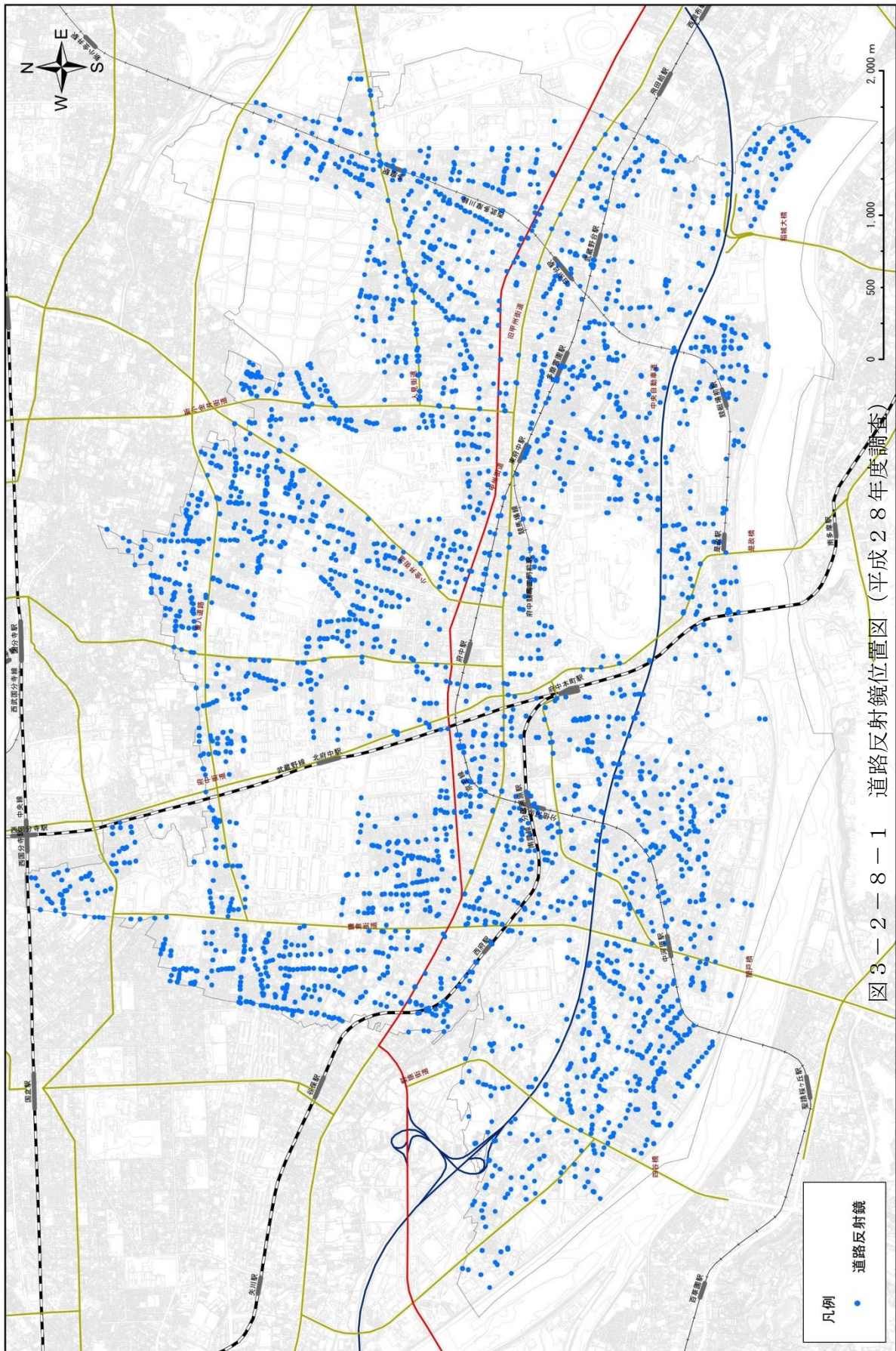
表 3-2-8-1 道路反射鏡全体数量

道路反射鏡の設置形式	基数(基)	全体に対する割合(%)	備考
独立柱	2,688	86.35%	
共架柱	425	13.65%	
合計	3,113	100.00%	

3.2.8.2 道路反射鏡位置

3-2-8

インフラの整備状況（道路反射鏡）



3.2.8.3 道路反射鏡の整備状況

道路反射鏡は年平均17基程度新設・建替しています。

表3-2-8-2 年度別新設・建替個数

年度	個数
平成24年度	21
平成25年度	16
平成26年度	16
平成27年度	13
平成28年度	19
平均	17

既存の道路反射鏡については、毎年500件程度点検・清掃を実施しています。主な点検・清掃内容は、次のとおりです。

- 鏡面の清掃
- 角度調整等の良好な状態に維持する軽作業
- 不良なものの報告
- 鏡面枚数の確認
- 設置位置の確認

上記点検で修繕が必要な道路反射鏡について、年平均105件程度措置しています。

表3-2-8-3 年度別修繕措置の内訳

年度	鏡面取替	支柱取替	その他	合計
平成24年度	71	4	84	159
平成25年度	53	7	32	92
平成26年度	38	10	43	91
平成27年度	45	5	39	89
平成28年度	46	4	43	93
合計	253	26	241	524
平均	51	5	48	105

※ その他については、ステッカー取替、共架金具取替などの軽作業です。

3.2.8.4 地域別集計

市で所有している道路反射鏡の地域別集計は、次のとおりです。

表 3 - 2 - 8 - 4 地域ごとの道路反射鏡基数

地域区分	道路反射鏡（基）	
	独立	共架
第 1 地域	447	62
第 2 地域	402	77
第 3 地域	507	85
第 4 地域	213	28
第 5 地域	249	40
第 6 地域	327	40
第 7 地域	308	62
第 8 地域	235	31
全 体	2,688	425

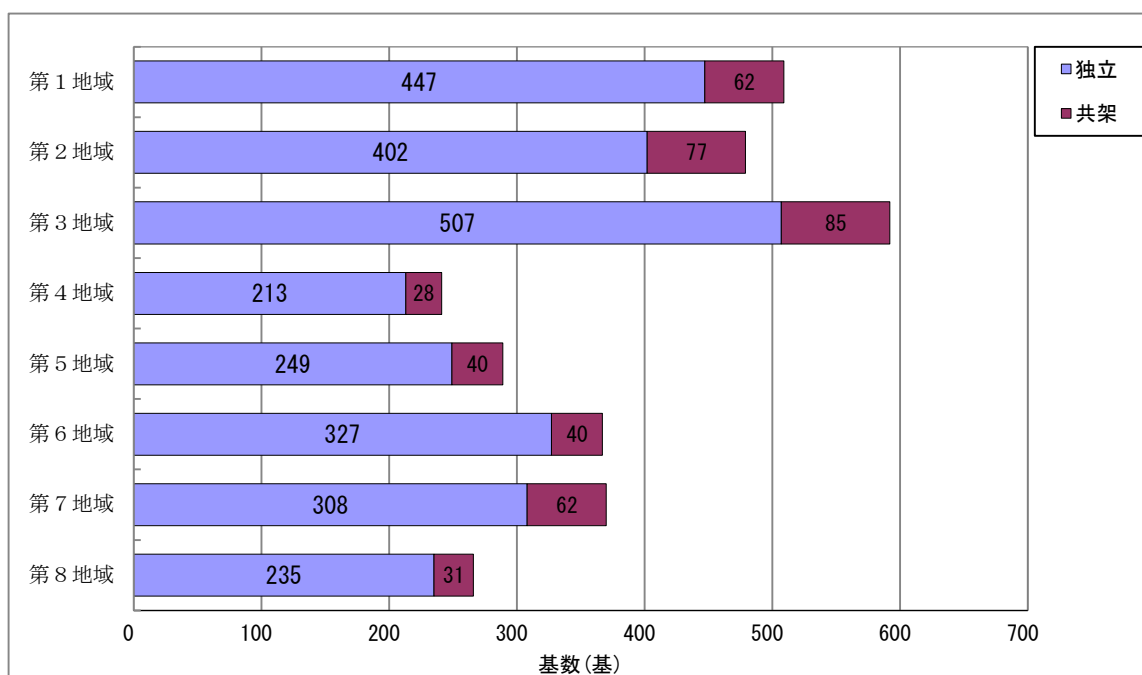


図 3 - 2 - 8 - 2 地域ごとの道路反射鏡基数

3.2.9 街路樹

街路樹の全体数量及び状況は、次のとおりです。

3.2.9.1 全体数量

(1) 高さ

府中市が管理する街路樹は、10,488本です。このうち、約65パーセントは、高さ4メートル以上12メートル未満の高木です。

表3-2-9-1 街路樹の内訳

街路樹の分類	区分	本数(本)	全体に対する割合(%)
低木	2m未満	531	5.06%
中木	2m以上4m未満	1,783	17.00%
高木	4m以上12m未満	6,811	64.94%
高高木	12m以上	1,363	12.99%
合計		10,488	100.00%

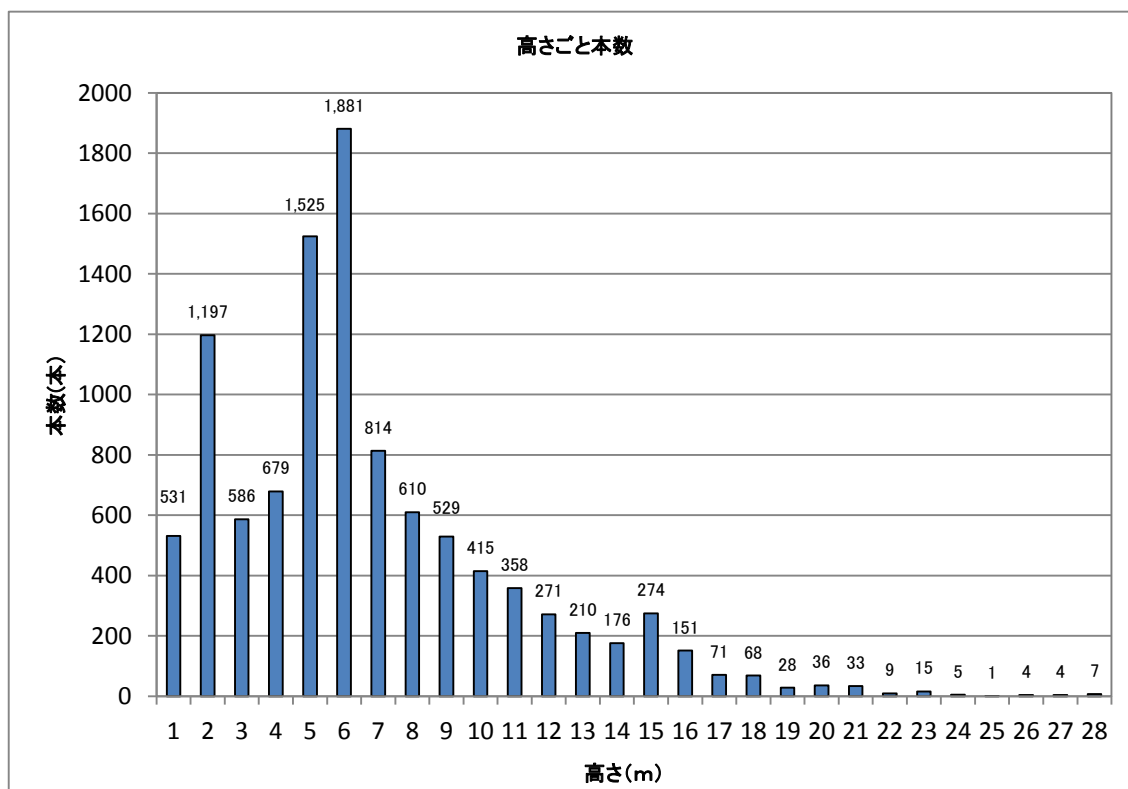


図3-2-9-1 街路樹の高さ別本数分布図

(2) 樹冠

府中市が管理する街路樹の約78パーセントが、樹冠（枝振りの範囲）の直径が5メートル程度の街路樹です。

表3-2-9-2 街路樹の樹冠内訳

樹冠の分類	区分 (樹冠直径)	本数(本)	全体に対する割合 (%)
小	5m程度	8,144	77.65%
中	10m程度	1,928	18.38%
大	15m程度	416	3.97%
合計		10,488	100.00%

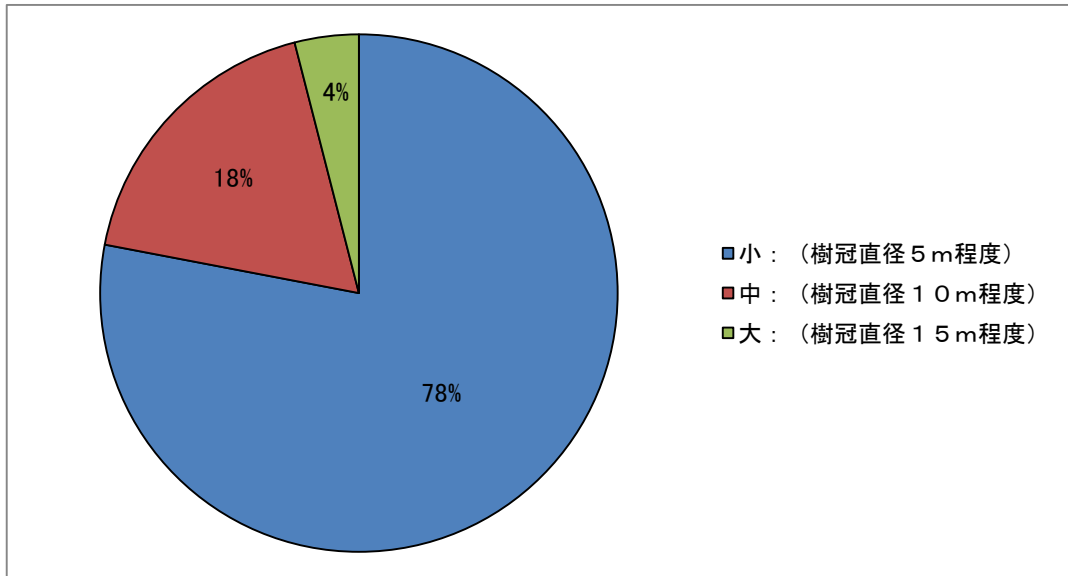


図3-2-9-2 街路樹の樹冠別割合

3.2.9.2 街路樹位置

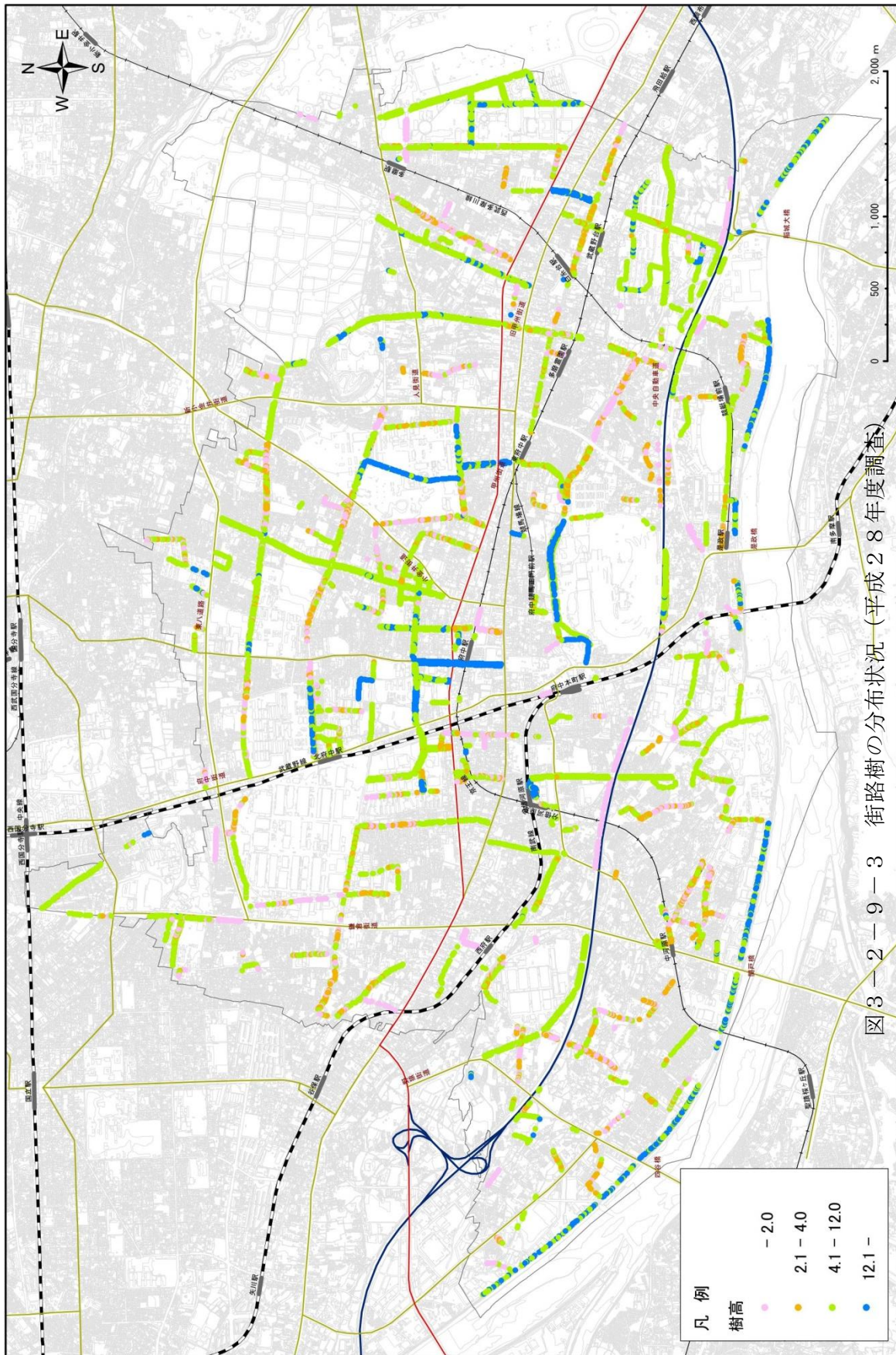


図3-2-9-3 街路樹の分布状況（平成28年度調査）

3-2-9

インフラの整備状況（街路樹）

3.2.9.3 街路樹の整備状況

- 市が管理する街路樹の高さは、平均6.69mです。
- 樹冠の大きい街路樹が50本以上ある路線は、「桜通り」、「けやき並木通り」、「多磨霊園南参道」、「平和通り」の4路線です。
- 樹高が高い街路樹が50本以上ある路線は、「多摩川通り」、「平和通り」、「競馬場通り」、「けやき並木通り」、「美術館通り」、「桜通り」の6路線です。

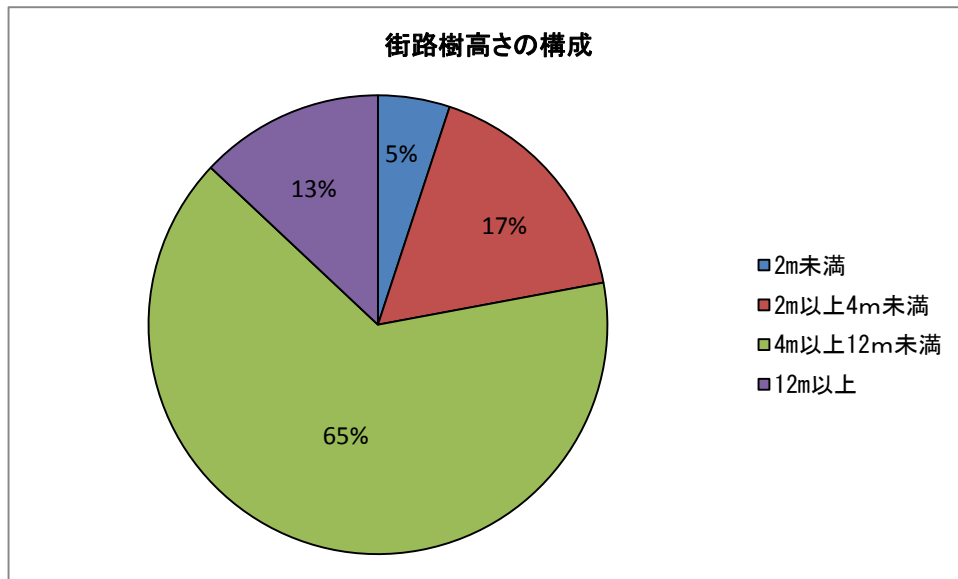


図3-2-9-4 街路樹高さの構成

3.2.9.4 地域別集計

(1) 地域別の街路樹本数

街路樹は、「けやき並木通り」、「桜通り」、「府中公園通り」、「競馬場通り」、「平和通り」、「多磨霊園南参道」に多く分布しています。地域では、第1地域、第2地域、第3地域と市の東部地域に多いです。

表3-2-9-3 地域別の高さごと街路樹本数

分類	低木 (本)	中木 (本)	高木 (本)	高高木 (本)	合計 (本)
区分	2m未満	2m以上 4m未満	4m以上 12m未満	12m以上	
第1地域	70	256	1,364	193	1,883
第2地域	135	272	1,360	278	2,045
第3地域	41	372	1,159	192	1,764
第4地域	70	149	697	350	1,266
第5地域	31	188	406	5	630
第6地域	60	114	558	48	780
第7地域	121	250	856	133	1,360
第8地域	3	182	411	164	760
全体	531	1,783	6,811	1,363	10,488

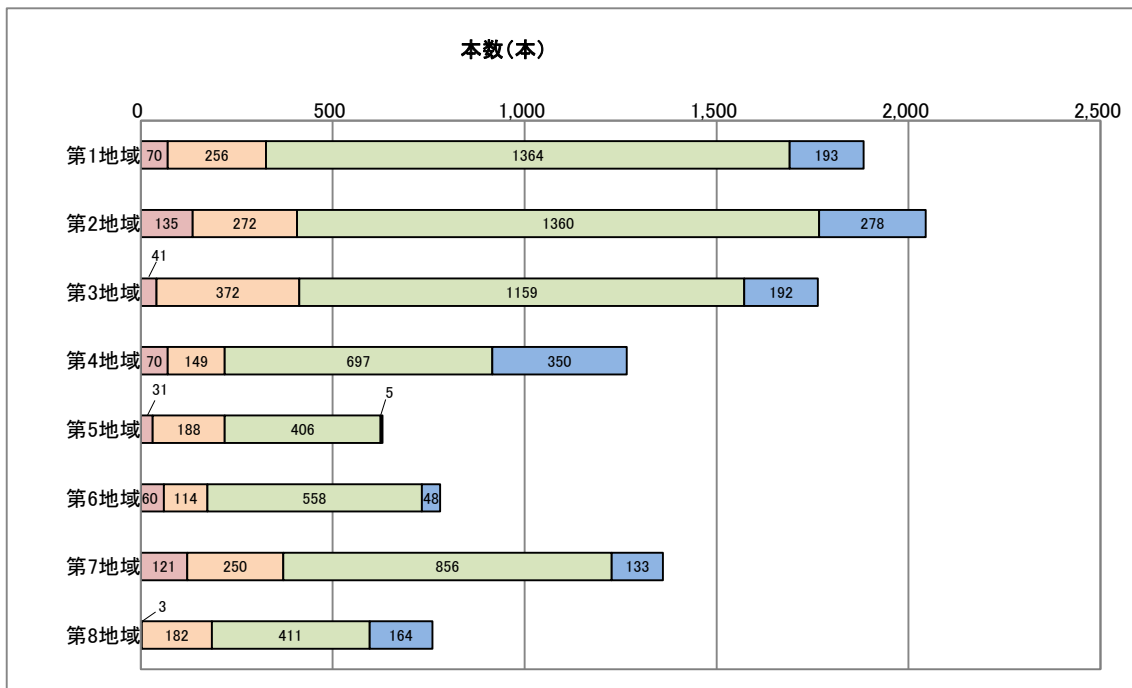


図3-2-9-5 地域別の高さごと街路樹本数

(2) 路線ごとの街路樹本数

街路樹は、239路線にあります。街路樹が最も多い路線は、「多摩川通り」で550本です。このほかに街路樹が多い市道は、「しみず下通り」で390本、「中央道側道」で387本、「美術館通り」で363本、「競馬場通り」で331本、「浅間山通り」で324本、「学園通り」で305本です。

なお、前回調査から精査して路線の見直しを行った結果、路線数は前回路線数の247路線より減少しています。

表3-2-9-4 路線別の高さごと本数（1/2）

連番	路線名称	低木 (本)	中木 (本)	高木 (本)	高高木 (本)	総計
		2m未満	2m以上 4m未満	4m以上 12m未満	12m以上	
1	あかしあ通り	1	32	29	1	63
2	あんず通り	0	99	73	0	172
3	いちょう通り	0	0	281	9	290
4	かえで通り	0	1	195	32	228
5	くすのき通り	0	3	202	0	205
6	けやき並木通り	0	0	0	85	85
7	しみず下通り	50	79	257	4	390
8	すずかけ通り-1	1	10	108	0	119
8	すずかけ通り-2	0	2	27	0	29
9	スタジアム通り	0	0	214	3	217
10	ふるさと通り	0	12	126	0	138
11	押立通り	0	1	3	1	5
12	横街道	0	14	47	0	61
13	下河原通り	0	30	31	0	61
14	学園通り	0	93	203	9	305
15	宮町中央通り	0	0	0	2	2
16	京所道	0	2	8	0	10
17	競艇場通り	0	14	98	0	112
18	競馬場正門通り	0	0	11	0	11
19	競馬場通り	11	6	192	122	331
20	九中通り	1	36	107	0	144
21	御狐場道	5	3	81	0	89
22	桜通り	0	1	126	58	185
23	三本木通り	0	17	68	0	85
24	七小通り	0	17	25	0	42
25	芝間通り	0	9	12	0	21
26	十中通り	0	14	56	0	70
27	新宿仲通り	0	26	11	0	37
28	是政通り	0	1	11	0	12
29	西府駅前通り	18	0	0	0	18
30	浅間山通り	0	1	293	30	324
31	多摩川通り	1	4	116	429	550
32	多磨駅東通り	43	0	1	1	45
33	多磨町通り	0	0	4	0	4
34	多磨雲園南参道	0	0	155	28	183
35	中央道側道	85	43	248	11	387
36	朝日町通り	7	22	203	1	233
37	東郷寺通り	0	1	13	0	14
38	東大山道	0	1	24	0	25
39	奈良橋通り	0	1	69	0	70
40	南通り	0	3	17	0	20
41	日新四谷通り	3	70	19	0	92
42	日新通り	0	59	61	0	120
43	白糸台通り	0	8	131	38	177
44	番場北裏通り	9	0	1	0	10
45	美好町通り	0	30	72	0	102
46	美術館通り	1	114	188	60	363
47	品川街道	1	63	101	0	165
48	富士見通り	0	66	132	1	199
49	府中駅前通り	0	0	3	0	3
50	府中公園通り	0	0	63	26	89
51	武蔵台通り	30	0	0	0	30
52	分梅通り	0	0	45	0	45
53	平和通り	0	0	31	142	173
54	本宿小通り	1	46	25	0	72
55	本宿南裏通り	16	0	18	0	34
56	六中通り	4	0	46	0	50

連番	路線名称	低木 (本)	中木 (本)	高木 (本)	高高木 (本)	総計
		2m未満	2m以上 4m未満	4m以上 12m未満	12m以上	
57	1-102	0	13	5	0	18
58	1-12	0	25	3	0	28
59	1-139	6	0	0	0	6
60	1-20	0	0	8	14	22
61	1-300	0	1	15	0	16
62	1-302	0	0	56	17	73
63	1-303	8	0	0	0	8
64	1-307	0	0	125	29	154
65	1-330	0	0	7	0	7
66	1-349	0	3	0	0	3
67	1-354	0	0	30	0	30
68	1-355	0	0	29	11	40
69	1-357	0	0	1	0	1
70	1-392	24	4	8	0	36
71	1-410	0	0	1	0	1
72	1-67	0	0	3	1	4
73	1-90	0	0	13	0	13
74	1-96	0	9	10	0	19
75	2-119	0	1	0	0	1
76	2-130	0	2	5	0	7
77	2-145	0	3	3	0	6
78	2-148	0	0	16	0	16
79	2-149	0	0	22	0	22
80	2-160	0	32	42	0	74
81	2-174	0	7	1	1	9
82	2-179	0	0	0	1	1
83	2-189	0	2	15	0	17
84	2-206	0	0	1	0	1
85	2-208	0	3	11	0	14
86	2-227	2	2	15	16	35
87	2-230	0	0	5	1	6
88	2-231	0	12	8	0	20
89	2-234	0	0	32	0	32
90	2-243	38	1	0	0	39
91	2-250	0	1	1	0	2
92	2-279	0	0	17	5	22
93	2-280	0	0	41	3	44
94	2-281	0	0	8	17	25
95	2-288	0	0	10	0	10
96	2-302	0	6	2	0	8
97	2-311	0	0	1	0	1
98	2-312	0	0	3	3	6
99	2-317	0	0	9	0	9
100	2-318	0	2	2	0	4
101	2-319	0	0	2	0	2
102	2-59	0	8	3	0	11
103	2-74	0	5	12	0	17
104	2-93	0	0	27	0	27
105	3-100	14	23	1	0	38
106	3-131	0	9	2	0	11
107	3-133	0	1	13	5	19
108	3-134	0	1	19	6	26
109	3-144	0	0	3	3	6
110	3-148	0	1	17	2	20
111	3-15	0	0	0	18	18
112	3-150	0	2	3	0	5
113	3-17	0	10	22	0	32
114	3-172	0	9	16	0	25
115	3-173	0	7	20	0	27
116	3-187	0	8	25	0	33
117	3-188	0	0	19	0	19
118	3-2	0	0	18	25	43
119	3-211	0	0	1	0	1
120	3-25	0	0	4	0	4
121	3-255	0	0	12	0	12
122	3-257	0	0	26	0	26
123	3-284	0	0	5	0	5
124	3-285	0	0	3	0	3
125	3-286	0	3	9	0	12
126	3-288	0	0	35	2	37
127	3-29	0	5	10	3	18

表3-2-9-4 路線別の高さごと本数(2/2)

連番	路線名称	低木 (本)	中木 (本)	高木 (本)	高高木 (本)	総計
		2m未満	2m以上 4m未満	4m以上 12m未満	12m以上	
128	3-4	0	0	14	3	17
129	3-405	0	30	18	0	48
130	3-427	1	5	5	0	11
131	3-430	1	5	34	0	40
132	3-431	0	0	12	0	12
133	3-432	0	3	33	0	36
134	3-445	0	0	8	1	9
135	3-446	0	0	11	0	11
136	3-451	0	0	3	0	3
137	3-58	1	3	15	0	19
138	3-79	0	4	3	0	7
139	3-83	0	0	4	0	4
140	3-94	0	32	79	19	130
141	3-95	0	4	28	0	32
142	4-112	0	0	1	5	6
143	4-117	0	9	9	0	18
144	4-121	0	0	13	11	24
145	4-124	6	0	0	0	6
146	4-132	1	0	3	0	4
147	4-154	0	3	10	0	13
148	4-159	0	0	4	0	4
149	4-162	0	0	4	0	4
150	4-186	3	0	11	2	16
151	4-202	15	1	49	0	65
152	4-207	0	2	11	0	13
153	4-21	0	0	2	0	2
154	4-213	0	0	11	0	11
155	4-22	0	5	16	2	23
156	4-228	0	16	28	0	44
157	4-229	0	3	2	0	5
158	4-23	0	0	7	0	7
159	4-24	0	1	15	0	16
160	4-245	0	22	3	0	25
161	4-25	0	5	2	0	7
162	4-251	0	0	26	0	26
163	4-258	0	62	20	1	83
164	4-267	0	6	7	1	14
165	4-272	0	8	0	0	8
166	4-280	0	2	1	0	3
167	4-281	3	0	1	0	4
168	4-284	0	0	2	0	2
169	4-288	0	0	4	0	4
170	4-318	29	2	0	0	31
171	4-320	0	1	23	0	24
172	4-325	0	6	17	0	23
173	4-338	0	11	4	0	15
174	4-343	0	3	17	2	22
175	4-345	0	0	13	6	19
176	4-352	0	3	11	0	14
177	4-354	0	0	4	7	11
178	4-36	25	0	2	2	29
179	4-38	0	0	3	0	3
180	4-383	0	2	13	0	15
181	4-384	0	0	17	0	17
182	4-388	16	2	2	0	20
183	4-390	0	5	6	0	11
184	4-392	0	0	9	0	9
185	4-393	3	0	0	0	3
186	4-394	0	1	5	0	6
187	4-398	0	0	5	0	5

連番	路線名称	低木 (本)	中木 (本)	高木 (本)	高高木 (本)	総計
		2m未満	2m以上 4m未満	4m以上 12m未満	12m以上	
188	4-41	0	5	4	0	9
189	4-424	0	7	3	0	10
190	4-443	1	1	33	0	35
191	4-474	0	0	3	0	3
192	4-482	0	13	0	0	13
193	4-66	8	6	3	0	17
194	4-67	0	10	3	0	13
195	4-74	0	13	11	0	24
196	4-90	4	5	6	0	15
197	4-95	8	0	0	0	8
198	5-101	0	2	3	0	5
199	5-103	0	0	1	0	1
200	5-131	0	44	59	2	105
201	5-136	0	15	86	0	101
202	5-141	0	3	17	0	20
203	5-167	0	1	6	3	10
204	5-188	0	4	22	0	26
205	5-200	0	2	4	0	6
206	5-201	0	13	13	0	26
207	5-228	0	0	16	13	29
208	5-231	0	5	1	0	6
209	5-4	8	1	10	0	19
210	5-48	0	0	13	0	13
211	5-50	0	2	9	0	11
212	5-80	16	0	0	0	16
213	5-93	0	4	2	0	6
214	6-136	0	8	3	0	11
215	6-140	0	11	7	0	18
216	6-165	2	0	0	0	2
217	6-195	0	2	7	0	9
218	6-203	0	2	11	0	13
219	6-217	0	7	8	0	15
220	6-218	0	12	25	0	37
221	6-229	0	0	19	0	19
222	6-235	0	1	3	0	4
223	6-246	0	0	3	0	3
224	6-258	0	1	4	0	5
225	6-263	0	3	12	0	15
226	6-264	0	0	14	0	14
227	6-265	0	0	15	3	18
228	6-27	0	2	2	0	4
229	6-279	0	2	6	0	8
230	6-281	0	2	9	0	11
231	6-294	0	0	9	0	9
232	6-31	0	0	2	0	2
233	6-319	0	6	5	0	11
234	6-320	0	0	24	1	25
235	6-325	0	15	6	0	21
236	6-326	0	10	3	0	13
237	6-35	0	0	10	0	10
238	6-59	0	1	3	0	4
239	6-62	0	0	1	3	4

3-2-9

インフラの整備状況(街路樹)

3.2.10 橋りょう

橋りょうの全体数量及び状況は次のとおりです。

3.2.10.1 全体数量

(1) 橋りょう数

市が管理する橋りょうは、道路橋が21橋、歩道橋が15橋の合計36橋です。橋りょう数は、次のとおりです。

表3-2-10-1 橋りょう数

分類	橋りょう数	路線数
道路橋	21橋	19路線
歩道橋	15橋	9路線
合計	36橋	28路線

分類	延長
道路橋	405m
歩道橋	402m
合計	807m

(2) 橋りょうリスト

橋りょう台帳を基に現地を確認した市が管理する橋りょうについては、次のとおりです。

表3-2-10-2 市が管理する道路橋

NO.	橋りょう名	路線名	所在地	橋長 (m)	和暦	架設 年度	橋種
1	鶴代橋	しみず下通り	小柳町 2-45	213	平成 2 年	1990	PC 橋
2	富士見通り立体橋	富士見通り	晴見町 2-24-14	71	昭和 48 年	1973	鋼橋
3	白糸橋 1 号	市道 2-221 号	白糸台 5-18-2	10.94	昭和 51 年	1976	RC 橋
4	白糸橋 2 号	白糸台通り	白糸台 5-19-5	10.54	昭和 51 年	1976	RC 橋
5	白糸橋 3 号	白糸台通り	白糸台 5-5-10	15	昭和 51 年	1976	RC 橋
6	小柳橋	市道 2-107 号	小柳町 1-14-3	14.76	昭和 59 年	1984	RC 橋
7	みょうらい橋	市道 4-90 号	本町 2-10-13	16.6	昭和 52 年	1977	PC 橋
8	中央道側道 1 号	中央道側道	是政 3-64-5	7.5	昭和 40 年	1965	PC 橋
9	矢崎排水第三号橋	市道 4-280 号	是政 3-47-1	4.7	昭和 37 年	1962	RC 橋
10	256 号	市道 4-276 号	是政 3-60-4	4.54	昭和 42 年	1967	RC 橋
11	雑田橋	市道 4-173 号	本町 3-31-34	4.5	昭和 47 年	1972	RC 橋
12	261 号	市道 6-117 号	住吉町 1-32	2.46	昭和 47 年	1972	RC 橋
13	262 号	市道 6-121 号	住吉町 4-26	2.4	昭和 40 年	1965	RC 橋
14	大山橋	大山道	日新町 2-23	5.8	昭和 38 年	1963	PC 橋
15	相模橋	大山道	日新町 2-39-26	4	昭和 41 年	1966	PC 橋
16	264 号	市道 6-67 号	日新町 4-40	2.9	昭和 40 年	1965	RC 橋
17	208 号	東大山道	四谷 4-8-1	3.7	昭和 39 年	1964	RC 橋
18	265 号	市道 6-263 号	日新町 5-29	2.36	昭和 41 年	1966	RC 橋
19	火の見橋	市道 6-176 号	四谷 2-64	2.73	昭和 40 年	1965	RC 橋
20	267 号	三屋通り	四谷 4-53	2.99	昭和 45 年	1970	RC 橋
21	270 号	市道 6-269 号	日新町 4-46	2.4	昭和 42 年	1967	RC 橋

3-2-10

インフラの整備状況（橋りょう）

表 3 - 2 - 1 0 - 3 市が管理する歩道橋

NO.	橋りょう名	路線名	所在地	橋長 (m)	和暦	架設 年度	橋種
1	分倍 1 号橋	市道 4-158 号	分梅町 1-7	19.40	昭和 4 年	1929	鋼橋
2	武蔵台 3 丁目跨線橋	市道 5-174 号	武蔵台 3-52-9	23.0	昭和 35 年	1960	鋼橋
3	第六小前歩道橋	学園通り	天神 4-14	11.35	昭和 43 年	1968	鋼橋
4	第九小前歩道橋	学園通り	栄町 3-7	12.65	昭和 43 年	1968	鋼橋
5	紅葉丘歩道橋	多摩霊園南参道	紅葉丘 1-30	10.5	昭和 43 年	1968	鋼橋
6	第五小前歩道橋	市道 6-441 号	日新町 1-7	32.86	平成 4 年	1992	鋼橋
7	西府駅南側西府崖線歩道橋	市道 6-441 号	日新町 1-6	47.77	平成 20 年	2008	鋼橋
8	西武多摩川線横断歩道橋	市道 2-130 号	小柳町 4-45	16.6	昭和 48 年	1973	鋼橋
9	本町 2 丁目跨線人道橋	市道 4-122 号	本町 1-6-1	55.8	昭和 49 年	1974	鋼橋
10	車返団地横断歩道橋	白糸台通り	白糸台 5-31	31.32	昭和 50 年	1975	PC 橋
11	南白糸台横断歩道橋	しみず下通り	押立町 2-30	24.47	昭和 50 年	1975	鋼橋
12	分倍河原駅人道橋	かえで通り	片町 2-38	53.77	昭和 53 年	1978	鋼橋
13	府中スカイナード (府中駅北口歩道橋)	府中駅前通り (及び国道 20 号)	府中町 1-14	34.54	平成 5 年	1993	鋼橋
14	観月橋	市道 4-507 号	矢崎町 1-32-2	8.11	昭和 48 年	1973	RC 橋
15	東芝町地内歩行者用 通路階段橋	市道 5-281 号	晴見町 2-27	19.65	平成 26 年	2014	鋼橋

3-2-10

インフラの整備状況
(橋りょう)

3.2.10.2 橋りょう位置

市が管理する道路橋と歩道橋の指標ごとの位置は、次のとおりです。

- 橋りょう施設（図3-2-10-1）
- 設置年別（図3-2-10-2）
- 橋種別（図3-2-10-3）
- 建設年代と橋長別（図3-2-10-4）

3-2-10

インフラの整備状況（橋りょう）

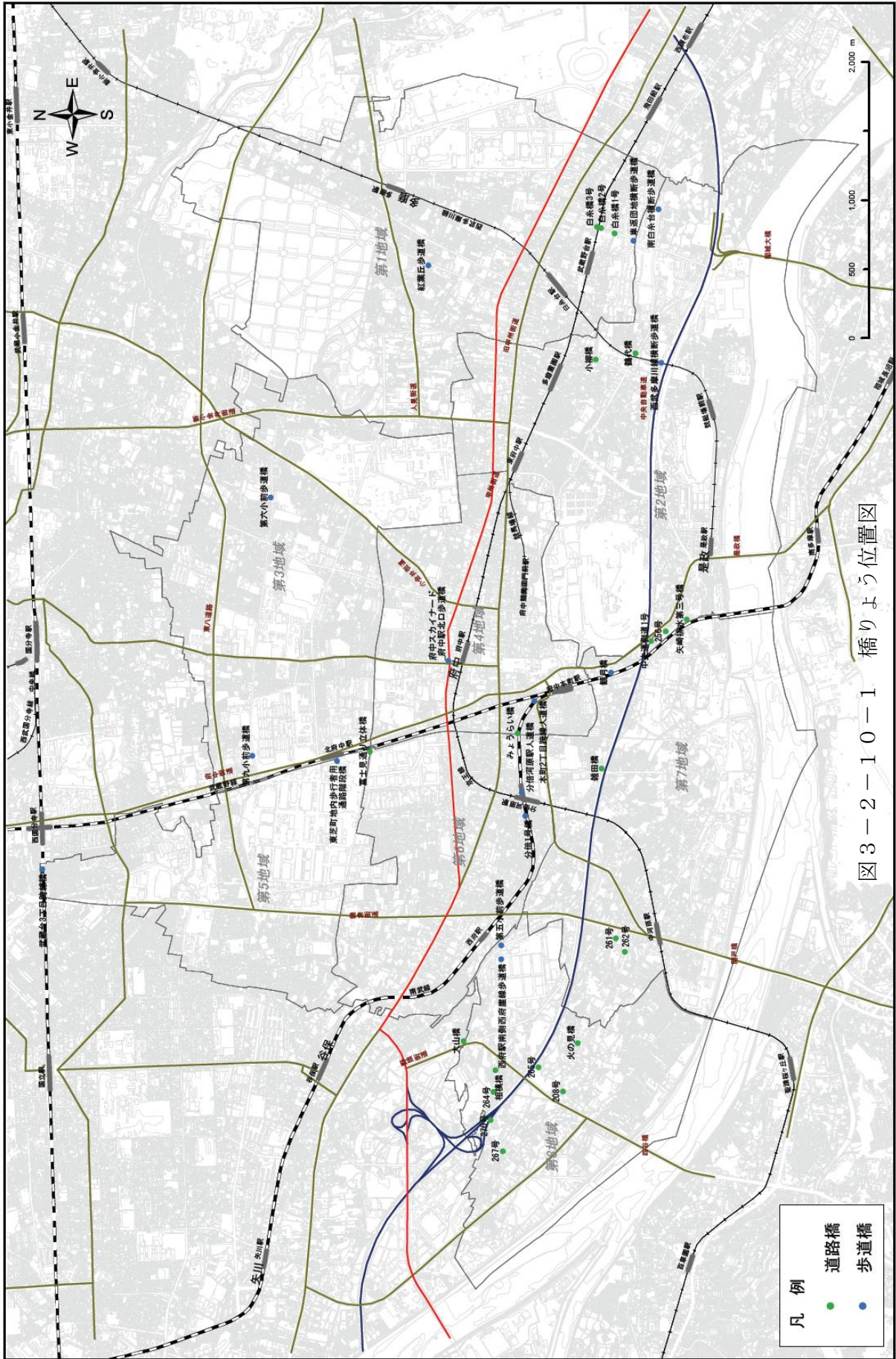
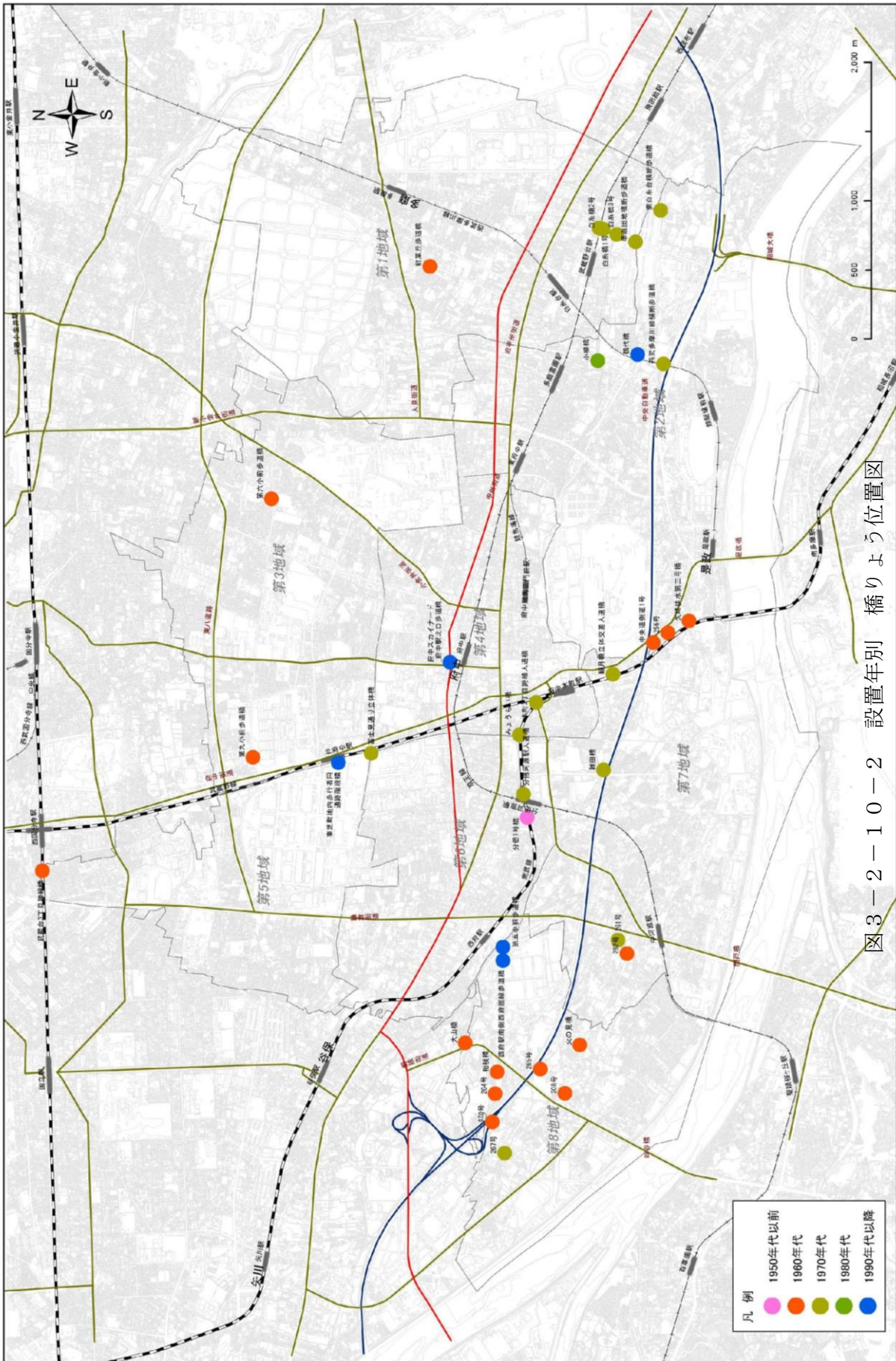


図3-2-10-1 橋りょう位置図



3-2-10

インフラの整備状況（橋りょう）

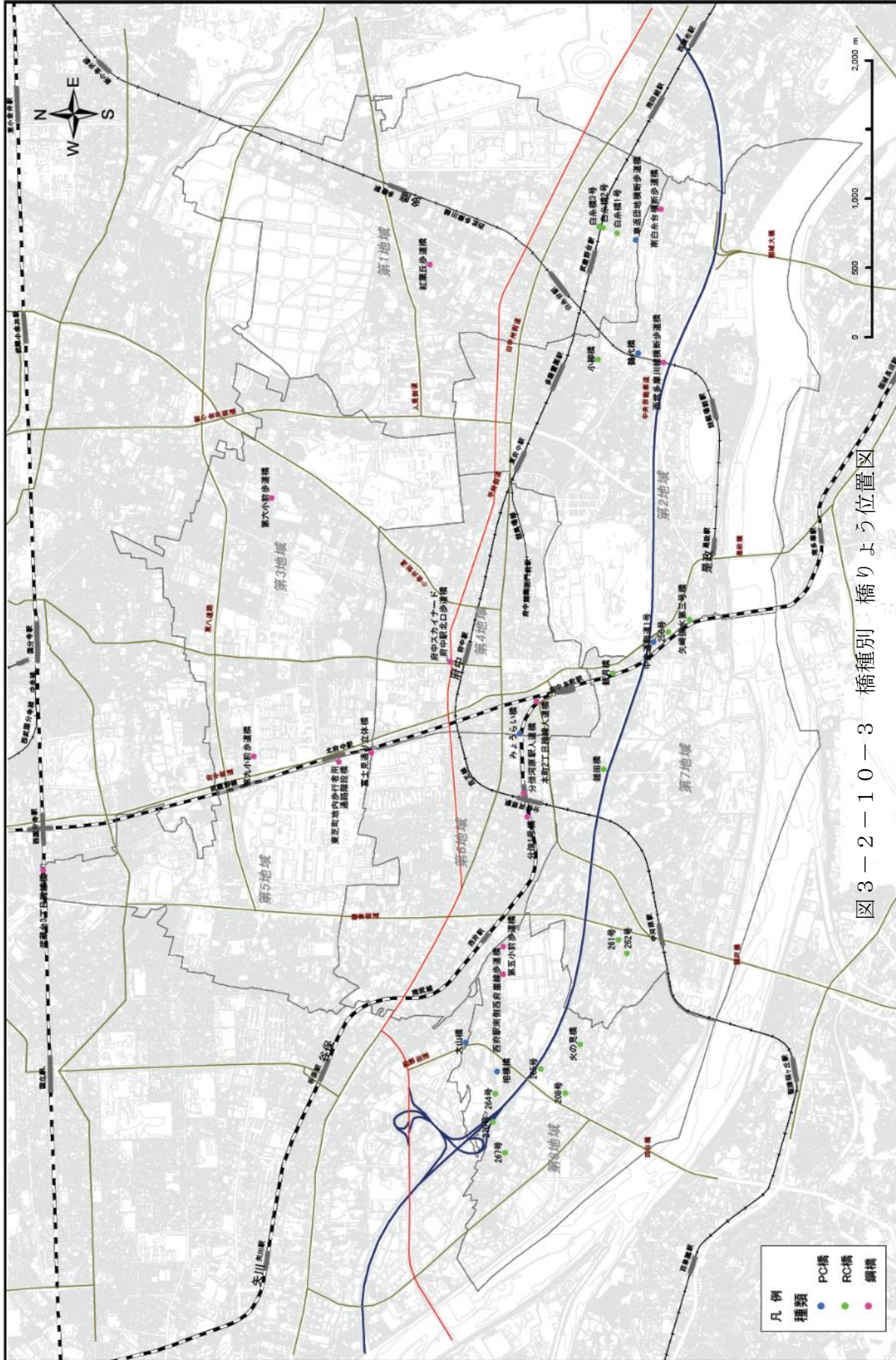
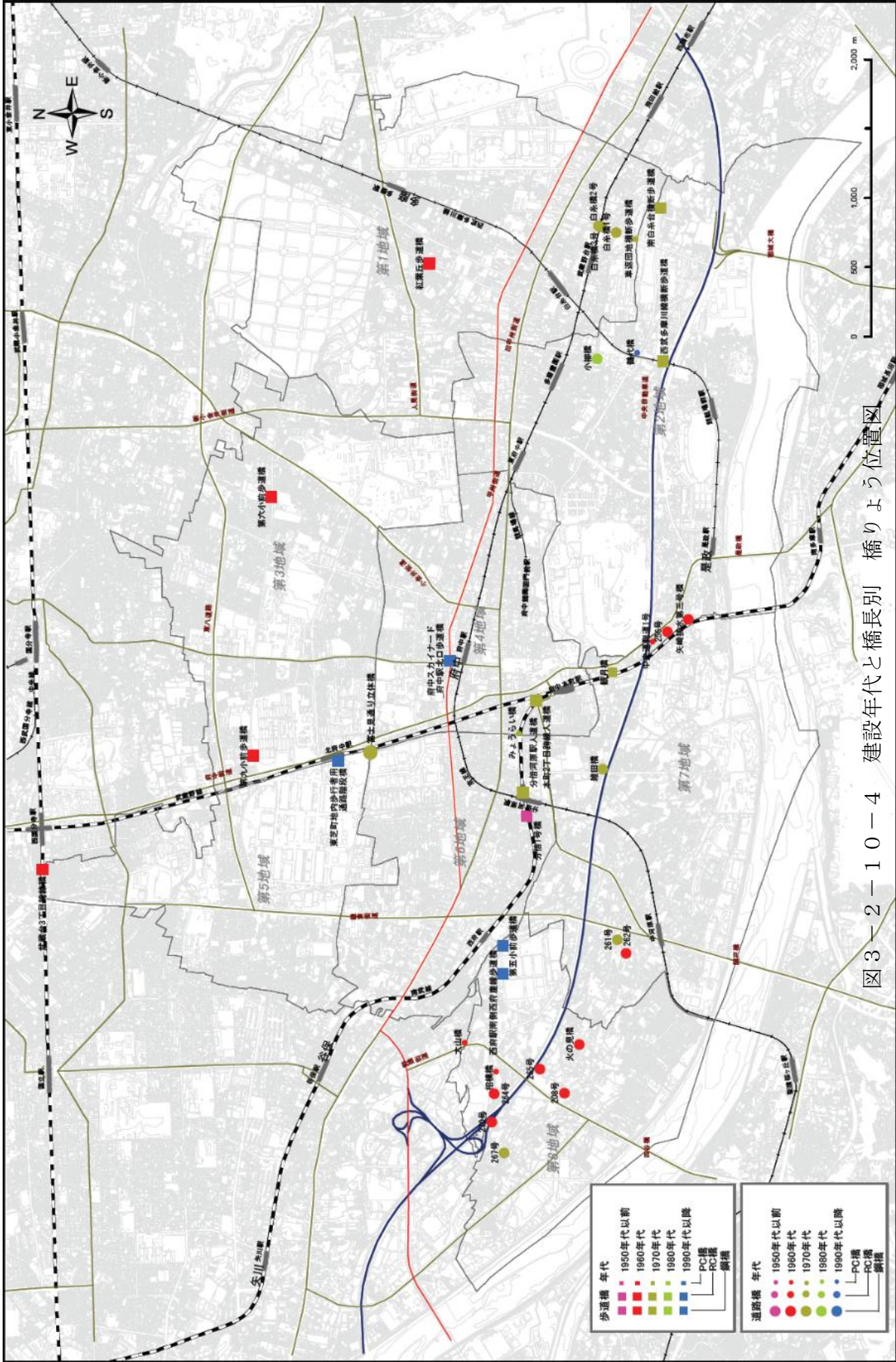


図3-2-10-3 橋種別 橋りょう位置図



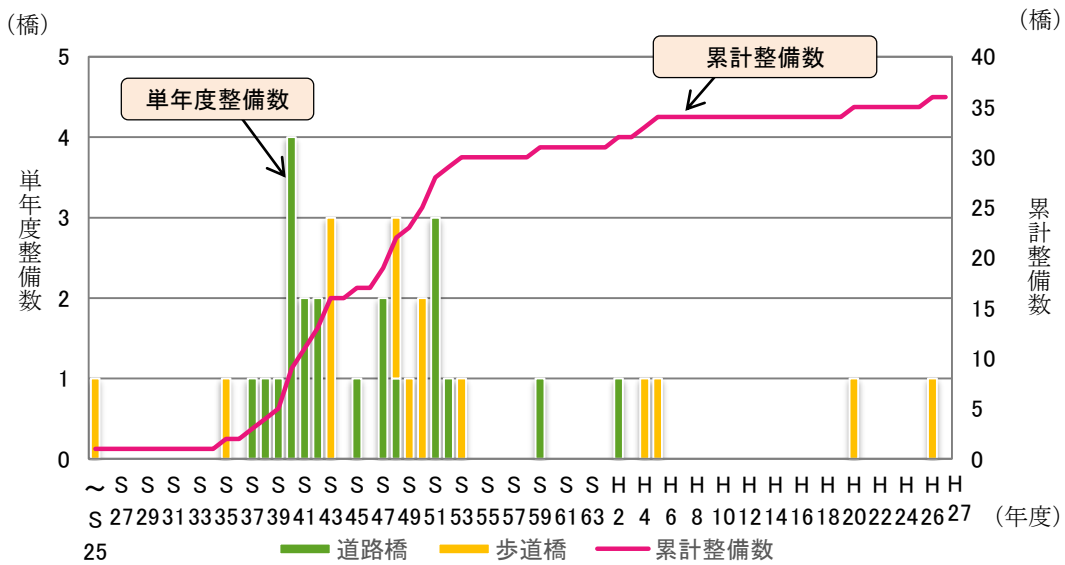
3.2.10.3 橋りょうの整備状況

(1) 橋りょう数の推移

府中市が管理する橋りょうは、道路橋が21橋、歩道橋が15橋の合計36橋です。なお、橋りょうの数は、昭和35年度から昭和44年度にかけて急増しており、橋りょうの管理延長は、昭和47年度から昭和54年度にかけて増加しています。これは、建設技術の向上等により、昭和45年度以前に整備された橋りょうに比べ、1橋当たりの規模が大きくなったことによります。

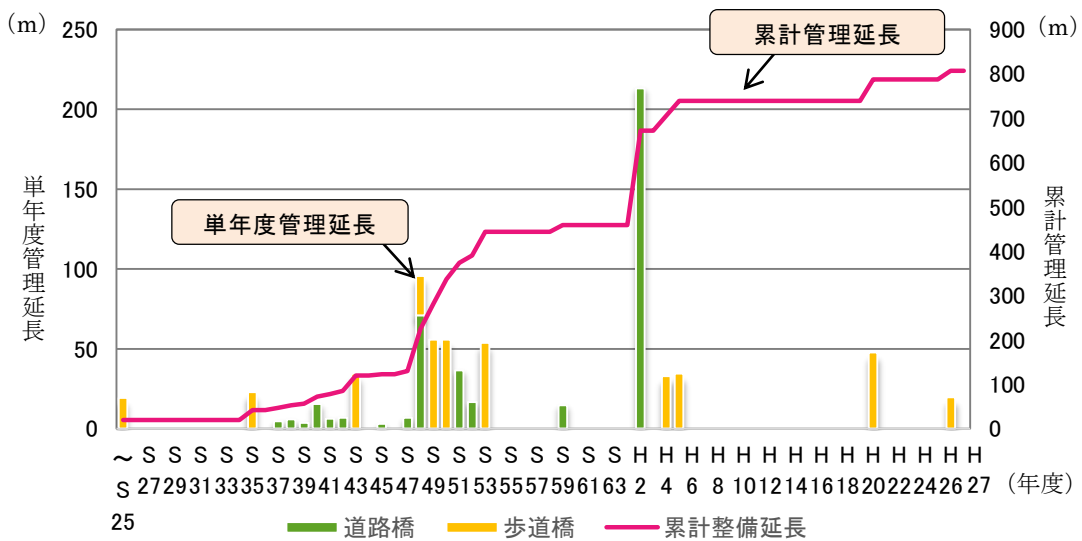
3-2-10

インフラの整備状況（橋りょう）



※出典 『府中市公共施設等総合管理計画』より抜粋を参照

図3-2-10-5 橋りょうの建設年度分布



※出典 『府中市公共施設等総合管理計画』より抜粋を参照

図3-2-10-6 橋りょうの管理延長の推移

(2) 橋りょうの架設年度

市で管理する橋りょう36橋について架設年を10年単位で整理した図を示します。平成28年度現在、架設から50年以上を経過した橋りょうは36.1%で、国土交通白書で示される全国の平均的割合（約20%：平成28年度実績）と比べ多い傾向です。また、40年以上49年以下の橋りょうも44.4%と高く、全体の8割に相当する橋りょうを、耐用年数が少ない高齢化橋りょうとして維持していくことになります。

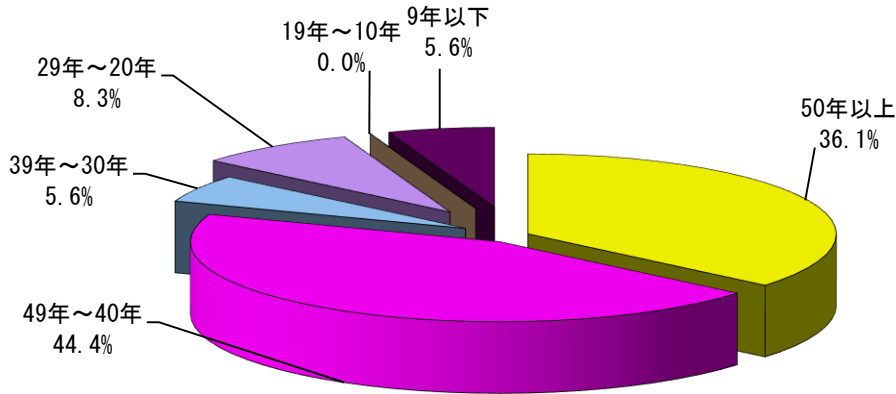


図3-2-10-7 管理橋りょうの架設年数区分

表3-2-10-4 府中市の橋りょうの架設年数区分内訳 一覧表

架設年数の分類	合計
架設後50年以上が経過している橋りょう (昭和42年以前に架設)	13橋 (36.1%)
架設後49年～40年が経過している橋りょう (昭和43～52年に架設)	16橋 (44.4%)
架設後39年～30年が経過している橋りょう (昭和53～62年に架設)	2橋 (5.6%)
架設後29年～20年が経過している橋りょう (昭和63～平成9年に架設)	3橋 (8.3%)
架設後19年～10年が経過している橋りょう (平成10～19年に架設)	0橋 (0.0%)
架設後9年以内の橋りょう (平成20年以降に架設)	2橋 (5.6%)
合計	36橋

橋りょうを今後も供用し続ける条件のもとで将来の推計を行うと、平成28年度を基準として架設後50年以上と50年未満で整理した場合、平成38年に80.6%、平成68年に94.4%の橋りょうが50年以上となります。

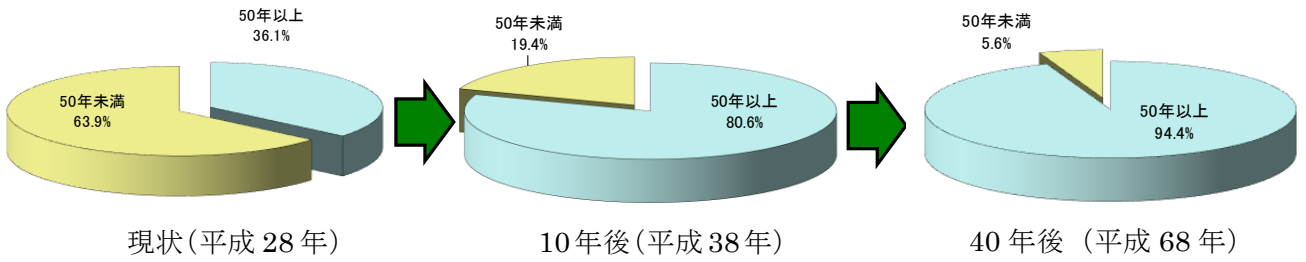


図3-2-10-8 架設後50年以上を経過する橋りょうの割合

(3) 橋りょうの種類

市が管理する橋りょうの材質を、「橋りょうの数量」と「橋りょうの延長」で整理します。「橋りょうの数量」で集計すると、RC橋の占める割合が44.4%と多い傾向です。また、「橋りょうの延長」で比較すると、53.7%で鋼橋が多くなります。

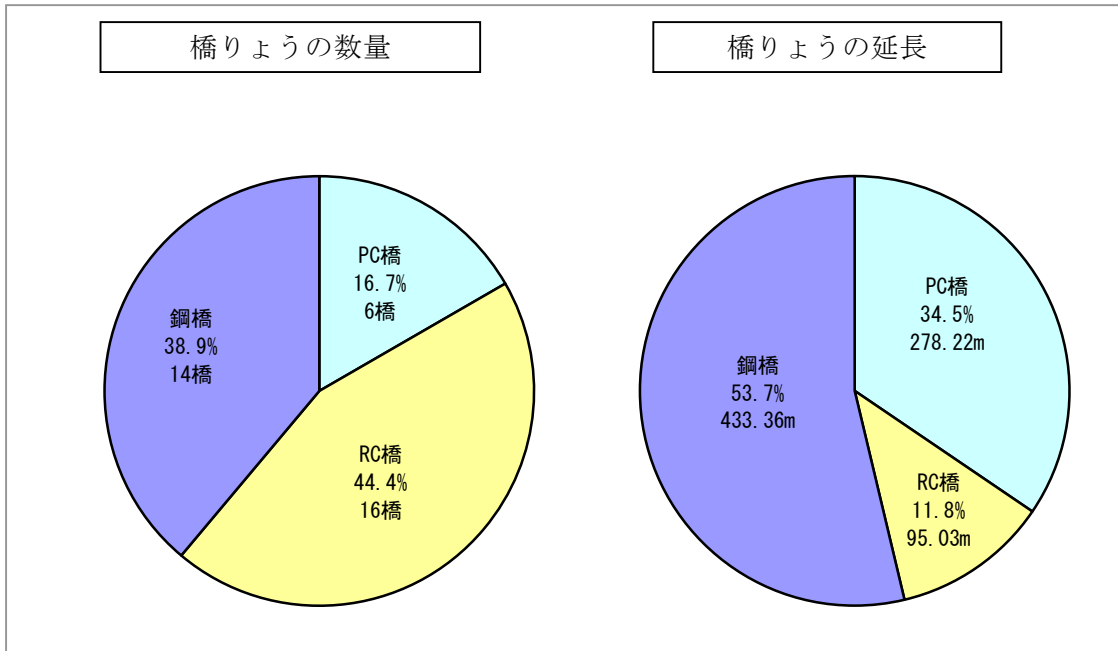


図3-2-10-9 橋りょう種類の内訳

(4) 橋長分類

橋長別に分類すると、橋長が5 m以下のものが最も多くあります。また、鶴代橋は市で唯一の100 mを越える大型道路橋であり、その橋長は213 mです。

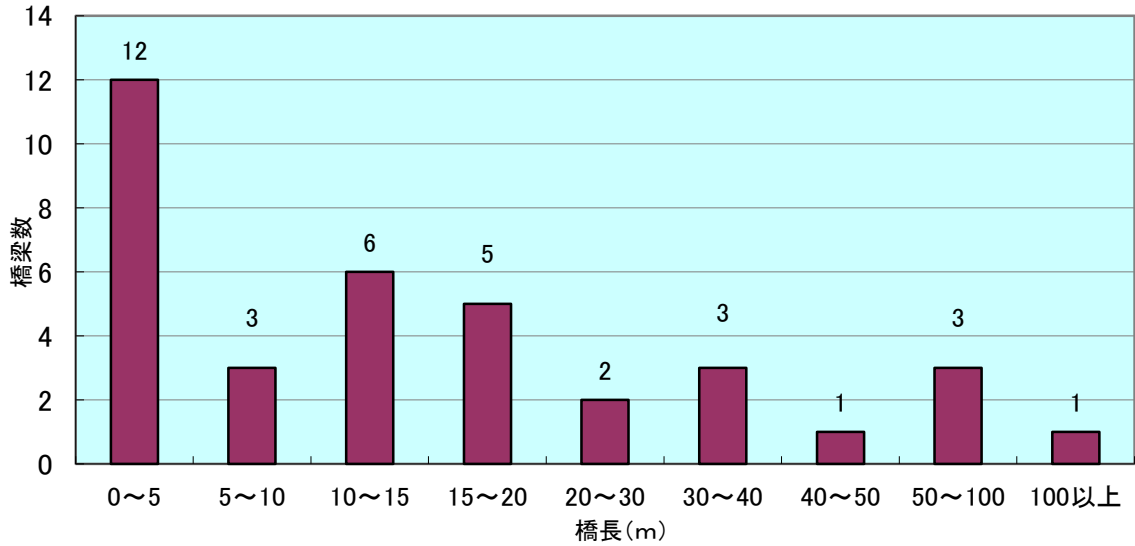


図3-2-10-10 橋長ごとの橋りょう数

3.2.10.4 橋りょうの劣化状況

(1) 法定点検

平成25年の道路法等の改正により、道路橋等について、五年に一回の頻度を基本として定期的に点検し、健全性を把握しつつ道路の効率的な維持及び修繕が図られるように必要な措置を講ずるように規定されました。本市における道路橋36橋のうち、平成25年度に架設された「東芝町地内歩行者用通路階段橋」を除く35橋について近接目視点検を行いました。橋りょう点検は、「道路橋定期点検要領」：平成26年6月 国土交通省 道路局（以下「点検要領」という。）に基づいて実施しています。

表3-2-10-5 点検実施橋りょう数

橋 長	平成27-28年度 点検実施 橋りょう数 (橋)	橋 種 (橋)	
		コンクリート橋	鋼 橋
橋長15m以上の道路橋	4	3	1
橋長15m未満の道路橋	17	17	0
歩道橋	14	2	12
合 計	35	22	13

※「東芝町地内歩行者用通路階段橋」は、平成25年度架設のため、初回の法定点検は未実施です。

表3-2-10-6 損傷程度の判定区分

判定区分		状 態
I	健 全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

※「点検要領」より

(2) 点検結果

近接目視点検をした35橋の損傷状況は、次のとおりです。点検の結果では、緊急に補修が必要な（IV判定）の橋りょうはありません。

1) 点検結果の概要

- 全ての対象橋りょうに、大小を問わず損傷があります。
- 損傷は、主に上部工と下部工のコンクリートひび割れ、腐食です。
- 近接目視点検は、点検要領によります。

2) 橋りょうごとの損傷程度

点検した橋りょうごとの損傷程度は、次のとおりです。

表3-2-10-7 近接目視点検した橋りょうの損傷程度

NO.	橋梁名	橋種	評価区分	結果概要
1	鶴代橋	PC橋	II	・2径間地覆下面に鉄筋露出、うきが広範囲に見られる。 ・埋設伸縮の舗装ひびわれから桁下橋脚上面に流水し公園、管理施設へと滴下している
2	富士見通り立体橋	鋼橋	III	・防護欄（内側）、地覆（3径間外側）に鉄筋露出、うきが多数見られる。第三者予防措置として叩き落としをした。 ・伸縮装置に排水工がなく、下面に著しい腐食が見られる。
3	白糸橋1号	RC橋	III	・上部構造の主桁、横桁、床版に多くの鉄筋露出、剥離があり、主桁には一定間隔（50cm以下）にひびわれ（0.2mm程度）が発生している。 ・階段主桁にも多くの剥離、ひびわれが見られる。
4	白糸橋2号	RC橋	III	・上部構造の横桁、床版に多くの鉄筋露出、剥離がある。 ・主桁には一定間隔（50cm以下）にひびわれ（0.2mm程度）が発生している。
5	白糸橋3号	RC橋	III	・主桁の剥離はわずかであるが、床版（張出端部）の鉄筋露出が多くある。 ・主桁には一定間隔（50cm以下）にひびわれ（0.2mm程度）が発生している。
6	小柳橋	RC橋	III	・上部構造の主桁、横桁、床版に多くの鉄筋露出、剥離があり、主桁には一定間隔（50cm以下）にひびわれ（0.2mm程度）が発生している。 ・階段主桁にも多くの剥離、ひびわれが見られる。
7	みょうらい橋	PC橋	II	・橋台前面にひびわれが見られる。前回点検よりひび幅が0.2mm→0.7mmへの拡大が見られる。 ・地覆下面に鉄筋露出が見られる。 ・第三者予防措置で叩き落としを施した
8	中央道側道1号	RC橋	II	・主桁間詰め部（床版）に軽微な遊離石灰が見られる。また、橋台前面に影響の少ない縦ひびわれが見られる。 ・高欄の腐食が広がっている。
9	矢崎排水第三号橋	RC橋	II	・橋台前面に影響の少ない縦ひびわれが見られる。
10	256号	RC橋	II	・主桁間詰め部（床版）に軽微な遊離石灰が見られる。 ・防護欄に鉄筋露出が広がっている。
11	雑田橋	RC橋	II	・上流側に添架された歩道橋の主桁、横桁に軽微な腐食が見られる。 ・径間中央の橋脚（水路壁）にうき、剥離が生じている。
12	261号	RC橋	I	・主要な部材は健全であるが、地覆の一部が欠損している。
13	262号	RC橋	I	・主要な部材は健全、防護欄に腐食が見られる。
14	大山橋	RC橋	I	・支承のエラストイトが一部はみ出しているが、支承機能障害とはならない。
15	相模橋	RC橋	I	・主要な部材は健全であるが、防護欄に腐食が見られる。
16	264号	RC橋	II	・主桁中間部に直角方向のひびわれが数本見られる。 ・防護欄の栈材に欠損が見られる。
17	208号	RC橋	II	・主桁端部に部分的な剥離、鉄筋露出が見られる。 ・地覆、防護欄支柱に剥離、鉄筋露出が見られる。
18	265号	RC橋	I	・主要な部材は健全だが、防護欄が腐食し欠損が生じている。
19	火の見橋	RC橋	II	・主桁端部に部分的な剥離、鉄筋露出が見られる。 ・防護欄散在に腐食が見られる。
20	267号	RC橋	I	・主要な部材は健全、防護欄に腐食が見られる。 ・舗装面にひびわれが見られる。
21	270号	RC橋	II	・主桁（BOX頂版）、橋脚（BOX中央側壁）に剥離、鉄筋露出が見られる。 ・その他、袖擁壁にひびわれが見られる。

3-2-10

インフラの整備状況（橋りょう）

22	分倍1号橋	鋼橋	II	・橋脚下部に板厚減少をともなう腐食が見られる。 ・床版間詰め部からの遊離石灰が広範囲に見られる
23	武蔵台3丁目跨線橋	鋼橋	III	・床版に部分的に板厚減少をともなう腐食が見られる。 ・支承（102）著しい腐食により支承の機能障害が発生している。
24	第六小前歩道橋	鋼橋	III	・主桁、横桁は防食機能劣化の段階であるが、床版、階段部職上・踏板及び橋脚基部の腐食が進行している。
25	第九小前歩道橋	鋼橋	III	・上部構造の腐食は軽微であるが、階段部各部、その他で排水設備（排水樋）の腐食が進行している。
26	紅葉丘歩道橋	鋼橋	III	・端横桁、階段部職上、橋脚基部の損傷が進行している。
27	第五小前歩道橋	鋼橋	III	・路面からの雨水が箱桁内部に主桁添接部より浸入しており、主桁添接部の腐食が顕著である。 ・階段部主桁も部分的に腐食が進行している。 ・伸縮装置のシールゴムに劣化が見られる。
28	西府駅南側西府崖線歩道橋	鋼橋	II	・主桁のごく一部に点錆が見られるが、主要な部材は健全である。 ・A1橋台伸縮装置のシールゴムに劣化が見られる。
29	西武多摩川線横断歩道橋	鋼橋	II	・鋼材全体的に広範囲な腐食が見られる。 ・3径間、4径間は主桁、床版に板厚減少、膨張をともなう著しい腐食が見られる。
30	本町2丁目跨線人道橋	鋼橋	III	・5径間、6径間主桁、床版、職上げに板厚減少をともなう著しい腐食が見られる。 ・橋脚下部には孔食をともなう腐食が見られる。
31	車返団地横断歩道橋	RC橋	III	・跨道部桁、斜路部桁は概ね健全であるが、橋脚躯体の一部に剥離、鉄筋露出、橋脚梁付け根にひびわれが見られる。 ・階段主桁中間部に多くのひびわれ（幅0.2m以上、間隔0.5m未満）が見られる。
32	南白糸台横断歩道橋	鋼橋	III	・上部構造各部材、下部構造、階段部とも腐食が進行している。 ・路面の排水樋には土砂詰まりが生じている。
33	分倍河原駅人道橋	鋼橋	III	・階段地覆（5～6径間）に広範囲で鉄筋露出が見られる。 ・橋台側面にうき（800mm×300mm）が見られる。
34	府中スカイナード （府中駅北口歩道橋）	鋼橋	I	・主桁を覆う化粧板内部に雨水の漏水が部分的に見られ、床版に軽微な腐食の発生が認められたが、概ね健全の状態にある。
35	観月橋	RC橋	III	・主桁には多数のひびわれ（幅0.2m程度、間隔0.5m未満）、部分的な剥離、鉄筋露出が見られる。 ・A1橋台伸縮装置近傍に路面の凹凸（3cm）が見られる。

※「東芝町地内歩行者用通路階段橋」は平成25年度架設のため、初回の法定点検は未実施です。

3.2.10.5 地域別集計

市が管理する道路橋と歩道橋の、地域別の集計は次のとおりです。また、地域区分と橋りょう位置を示した位置図を次に示します。

表 3-2-10-8 地域区分と該当区分内の橋りょう

地域区分	種別	橋りょう名	地域区分	種別	橋りょう名
第1地域	道路橋	白糸橋1号	第5地域	道路橋	なし
		白糸橋2号		歩道橋	武蔵台3丁目跨線橋
		白糸橋3号			東芝町地内歩行者用通路階段橋
	歩道橋	紅葉丘歩道橋	第6地域	道路橋	富士見通り立体橋
第2地域	道路橋	鶴代橋		歩道橋	分倍1号橋
		小柳橋	分倍河原駅人道橋		
		中央道側道1号	第7地域		道路橋
		矢崎排水第三号橋		261号	
		256号	歩道橋	262号	
	歩道橋	西武多摩川線横断歩道橋	第8地域	道路橋	大山橋
		車返団地横断歩道橋			相模橋
南白糸台横断歩道橋		208号			
第3地域	道路橋	なし	264号		
	歩道橋	第六小前歩道橋	火の見橋		
		第九小前歩道橋	265号		
みょうらい橋		270号			
第4地域	道路橋	本町2丁目跨線人道橋	267号		
	歩道橋	府中スカイナード 府中駅北口歩道橋	歩道橋		第五小前歩道橋
					西府駅南側西府崖線歩道橋

3-2-10

インフラの整備状況（橋りょう）

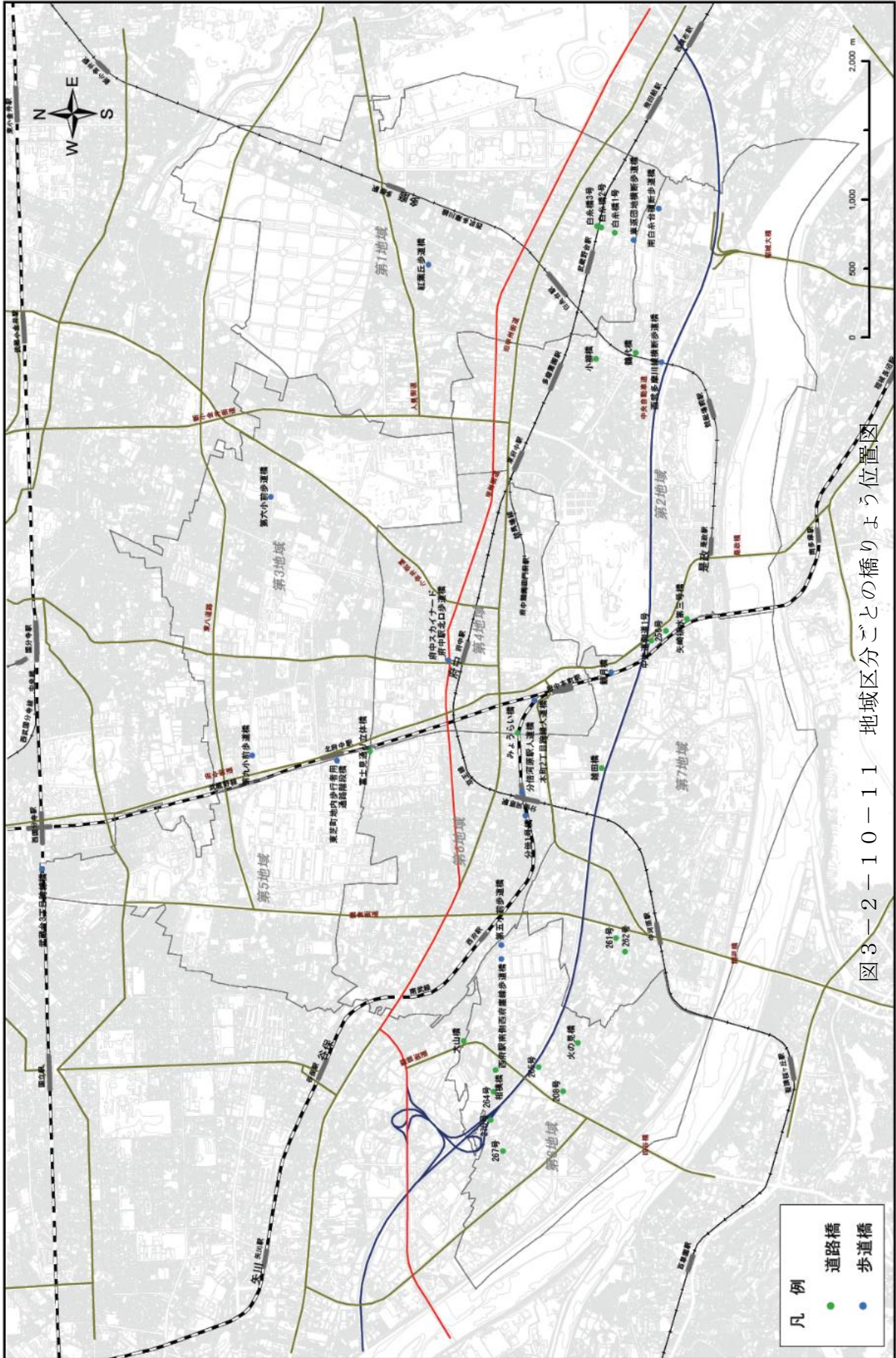


図3-2-10-1 地域区分ごとの橋りょう位置図